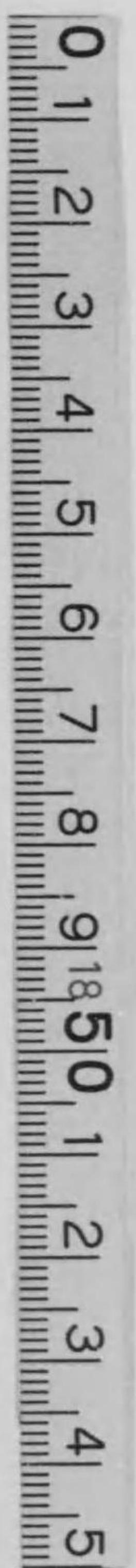


291
別冊
17



始



291
14

盛岡高等農林學校一覽

從大正二年
至大正三年

盛岡高等農林學校一覽

從大正二年
至大正三年

寄贈本

目錄

第一章	沿革	一
第二章	法令	五
第一	文部省直轄諸學校官制抄	五
第二	文部省直轄諸學校專任職員定員令抄	七
第三	文部省直轄諸學校長職務規程抄	七
第四	雇外國人使用方	八
第五	文部省直轄諸學校外國人特別入學規程抄	九
第六	學生生徒身體檢查規程抄	〇
第七	實業學校令抄	五
第八	專門學校令抄	五
第九	專門學校入學者檢定規程	六
第十	甲種農業學校卒業生入學ニ關スル件	八



第十一	二箇以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ關スル件	一八
第十二	實業學校教員養成規程抄	一九
第十三	文部省直轄實業專門學校委託生規程	二〇
第十四	陸軍召募規則中獸醫部依託生徒ニ關スル規程抄	二一
第十五	盛岡高等農林學校規程	二七

第三章 諸規則及細則

第一	學年曆	二八
第二	學則	二九
第三	事務規程	五八
第四	文書處理規程	七一
第五	物品會計細則	七二
第六	宿直規程	七八
第七	生徒訓育商議員會規程	八〇
第八	學部長教務監掌規程	八二
第九	學校醫職務規程	八三

第十	生徒制服	八三
第十一	授業料納期	八八
第十二	寄宿料徵收規程	八八
第十三	生徒心得	八九
第十四	生徒心得細則	九〇
第十五	級長規程	九一
第十六	寄宿舍規程	九三
第十七	通學生取締規程	九七
第十八	談話室ニ關スル規程	九八
第十九	圖書館規程	九八
第二十	實驗農場規程	一〇四
第二十一	農業傳習生規程	一〇六
第二十二	養蠶室規程	一一〇
第二十三	養蠶實習規程	一一一
第二十四	蠶種配布規程	一一一

第廿五	家畜病院規則	一一二
第廿六	牛馬預托規則	一一六
第廿七	演習林極印使用規則	一二〇
第廿八	煖爐ニ關スル規程	一二一
第廿九	非常手配規程	一二三
第三十	守衛及守衛補職務規程	一二七
第卅一	給仕心得	一二九
第卅二	守衛其他制服貸與規程	一二九
第卅三	小使服務心得	一三〇
第卅四	定農夫服務規程	一三一
第卅五	牧夫服務規程	一三三
第卅六	清潔方法	一三四
第卅七	構内風致委員規程	一三七
第卅八	衛生委員規程	一三八
第卅九	參觀人心得	一三九

第四十 品評會規程

第四章 職員

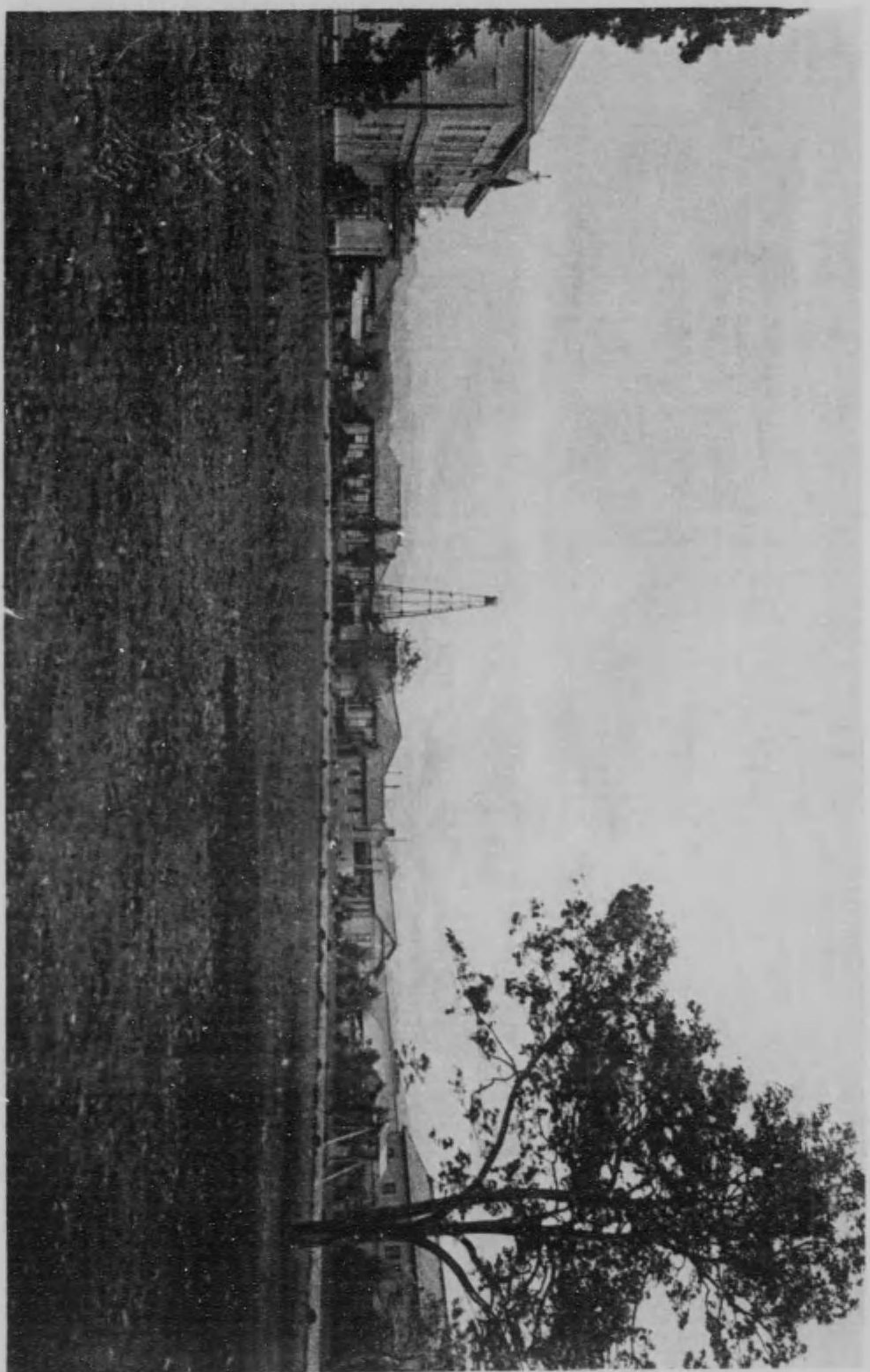
第五章 生徒及得業生

第一	生徒及得業生氏名	一五〇
第二	生徒年齡	一五〇
第三	在學生徒府縣別	一七八
第四	得業生府縣別	一八〇
第五	入學志願者出身學校種別	一八三
第六	入學試驗受験者ニ對スル合格者百分比例	一八三
第七	得業生得業後ノ狀況	一八四

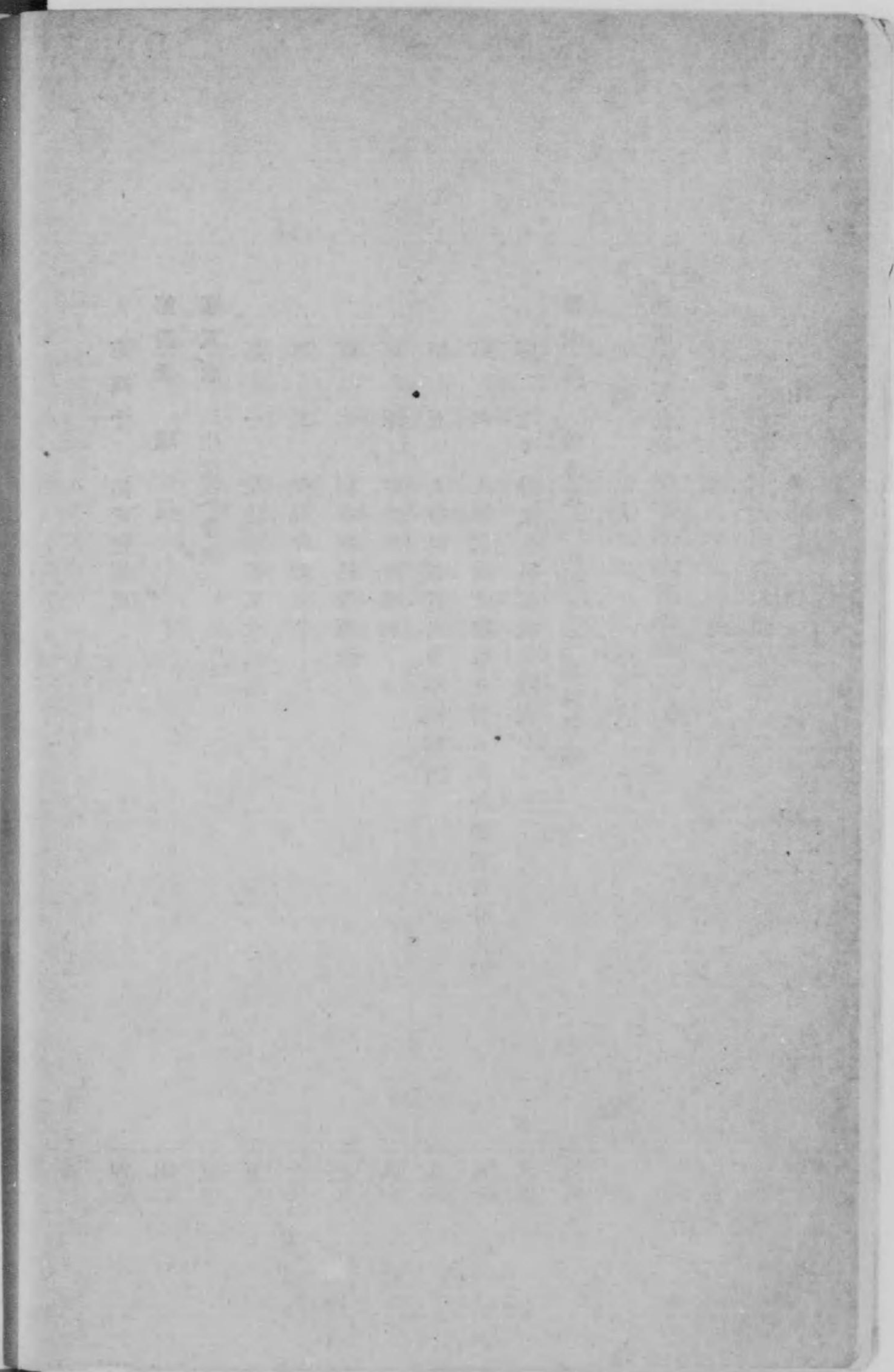
第六章 敷地建物、經濟農場及演習林

附 錄

盛岡高等農林學校校友會規則



盛岡高等農林學校



盛岡高等農林學校一覽

第一章 沿革

本校ハ明治三十五年三月二十七日勅令第九十八號ニ依リ設置セラレ同日勅令第九十九號ヲ以テ職員定員ヲ定メラル

明治三十六年一月十五日東京帝國大學農科大學教授農學博士玉利喜造校長ニ任セラレ

一月十六日文部省内ニ事務所ヲ設置シ事務ヲ開始ス

二月三日本校學則ヲ制定ス

三月二十四日勅令第五十六號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラレ

四月十五日文部省内本校事務所ヲ巖手縣盛岡市ニ新設ノ本校内ニ移ス

五月一日農學科ニ三十名林學科ニ三十名獸醫學科ニ二十四名計八十四名ニ入學ヲ許可シ授業ヲ始ム

六月十四日 聖上 皇后兩陛下ノ御眞影及教育ニ關スル親署ノ 勅語ヲ下賜セラレ

十月十二日家畜病院ヲ開院ス

明治三十七年四月九日本校學則ヲ改正ス

五月一日農學科ニ三十名林學科ニ三十名獸醫學科ニ十七名計七十七名ニ入學ヲ許可ス

五月十日勅令第四百十二號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

明治三十八年三月十四日學則中一部ノ改正ヲ爲ス

同月二十八日勅令第九十七號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

五月一日農學科林學科ニ各三十名獸醫學科ニ二十名計八十名ニ入學ヲ許可ス

五月二十八日開校式ヲ舉行ス久保田文部大臣臨場セラル

十月二十三日ヨリ同二十八日ニ至ル六日間野鼠驅除法講習會ヲ開設ス

十二月二十三日日本校所屬演習林トシテ巖手縣岩手郡御明神村所在地積百七十萬二千二百六十坪ヲ農商務省ヨリ讓受ク

十二月二十八日學則中一部ノ改正ヲ爲ス

明治三十九年四月二十一日學則中一部ノ改正ヲ爲ス

四月二十六日第一回得業證書授與式ヲ舉行ス田所文部省參事官文部大臣代理トシテ臨場セラル

五月一日農學科ニ三十名林學科ニ三十名獸醫學科ニ二十名計八十名ニ入學ヲ許可ス

十月三十日日本校所屬經濟農場敷地トシテ巖手縣岩手郡御明神村所在地積三十萬坪ヲ農商務省ヨリ讓受ク

明治四十年二月一日學則中一部ノ改正ヲ爲ス

四月三十日第二回得業證書授與式ヲ舉行ス

五月一日農學科ニ三十名林學科ニ二十九名獸醫學科ニ十九名計七十八名ニ入學ヲ許可ス

明治四十一年一月一日學則中一部ノ改正ヲ爲ス

三月三十日勅令第六十九號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

三月三十一日第三回得業證書授與式ヲ舉行ス

四月四日農學科林學科ニ各三十名獸醫學科ニ二十六名計八十六名ニ入學ヲ許可ス

五月十五日ヨリ同二十八日マテ二週間養蜂其他ニ關スル講習會ヲ開設ス

十月一日 皇太子殿下本校ニ行啓各科授業並ニ器械標本室等ヲ御覽アラセラレ特ニ 御寫眞ヲ下賜セラル

明治四十二年三月三十日第四回得業證書授與式ヲ舉行ス

四月五日農學科ニ三十名林學科ニ二十六名獸醫學科ニ三十名計八十六名ニ入學ヲ許可ス

四月六日勅令第八十八號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

五月八日校長農學博士玉利喜造鹿兒島高等農林學校長ニ任セラレ本校教授佐藤義長校長ニ任セララル

明治四十三年三月二十五日本校學則ヲ改正ス

三月二十八日第五回得業證書授與式ヲ舉行ス

三月二十八日勅令第六十七號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セララル
 四月五日農學科ニ三十名林學科ニ二十六名獸醫學科ニ二十五名計八十一名ニ入學ヲ許可ス
 明治四十四年三月二十八日學則中一部ノ改正ヲナス
 三月三十日第六回得業證書授與式ヲ舉行ス
 三月三十一日農學科林學科各々三十名獸醫學科ニ二十五名計八十五名ニ入學ヲ許可ス
 八月一日ヨリ同十四日マテ二週間作物病蟲害其他ニ關スル講習會ヲ開設ス
 九月九日學則中一部ノ改正ヲナス
 十一月十一日ヨリ同十三日マテ第一回品評會ヲ開ク
 明治四十五年三月三十日第七回得業證書授與式ヲ舉行ス
 四月一日農學科ニ三十三名林學科ニ二十八名獸醫學科ニ二十二名計八十三名ニ入學ヲ許可ス
 七月二十二日ヨリ同三十一日マテ十日間(第一種)獸醫學(第二種)養鷄其他ニ關スル講習會ヲ開設ス
 大正元年十一月四日學則中改正ヲナス
 十一月八日ヨリ同十一日マテ第二回品評會ヲ開ク
 大正二年三月廿二日第八回得業證書授與式ヲ舉行ス
 四月七日農學科第一部ニ二十三名農學科第二部ニ十二名林學科ニ二十五名獸醫學科ニ十七名計七十

七名ニ入學ヲ許可ス

七月二十一日ヨリ同二十七日マテ七日間(第一種)農業地質其他(第二種)獸醫學ニ關スル講習會ヲ開設ス

八月十六日學則中改正ヲナス

九月二十四日創立十周年記念式ヲ舉行ス

第二章 法令

第一 文部省直轄諸學校官制抄

(明治二十六年勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

- 東京高等師範學校 廣島高等師範學校 東京女子高等師範學校 奈良女子高等師範學校
- 盛岡高等農林學校 鹿兒島高等農林學校 上田蠶絲專門學校 東京高等商業學校
- 神戸高等商業學校 長崎高等商業學校 山口高等商業學校 小樽高等商業學校
- 第一高等學校 第二高等學校 第三高等學校 第四高等學校
- 第五高等學校 第六高等學校 第七高等學校造士館 第八高等學校

千葉醫學專門學校 岡山醫學專門學校 金澤醫學專門學校 長崎醫學專門學校
 新潟醫學專門學校 東京高等工業學校 大阪高等工業學校 京都高等工藝學校
 名古屋高等工業學校 熊本高等工業學校 米澤高等工業學校 秋田鐵山專門學校
 東京外國語學校 東京美術學校 東京音樂學校 東京盲學校
 東京聾啞學校

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
 教授
 生徒監
 助教
 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トシ文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教授ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ受ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

第二 文部省直轄諸學校專任職員定員令抄

(明治三十五年勅令第九十九號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

盛岡高等農林學校	校長	一 人	教授	十七 人	助教	十二 人	書記	六 人
----------	----	-----	----	------	----	------	----	-----

(明治四十五年勅令第三百三十號ヲ以テ改正)

第三 文部省直轄諸學校長職務規程抄

(明治三十三年文部大臣訓令)

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ

得

第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト

第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三 俸給月額四拾圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト

第五 教官以下ノ除服出仕、請假ニ關スルコト

第六 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト

第四條 前條ニ掲ケタルモノノ外總テ文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

第四 雇外國人使用方

(明治二十六年勅令第九十六號)

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニアタラシムルコトヲ得

第五 文部省直轄學校外國人特別入學規程抄

(明治三十六年文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限リニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

第六 學生生徒身體檢查規程抄

(明治四十五年
文部省令第一號)

第一條 學生生徒ノ身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ
學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ學生生徒ニ就キ臨時身體檢查ノ全部若クハ一部ヲ施行スルコトヲ得

第二條 明治三十一年勅令第二號第一條第二項ニ依リ學校醫ヲ置カサル町村立學校及私立ノ小學校及各種學校ハ本令ノ身體檢查ヲ行ハサルコトヲ得

第三條 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ但シ學校醫ヲ置カサル場合ニ於テハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四條 身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

- 一身 長
- 二體 重
- 三胸 圍
- 四脊 柱
- 五體 格
- 六視 力
- 七眼 疾
- 八聽 力
- 九耳 疾
- 十齒 牙
- 十一疾 病

小學校生徒ニ在リテハ視力及聽力ノ二項目ヲ檢查スルコトヲ要セス但シ著シキ障害アリト認ムル者ハ此ノ限リニアラス

第五條 身體檢查ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

- 一 檢查ノ表記ニハ度ハ尺衡ハ貫ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡ハ分ニ止ムベシ
 - 二 身長ヲ測定スルニハ足袋靴ヲ脱セシメ兩蹠ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ髻アル者ハ小捍ヲ髻下ヨリ水平ニ横ヘテ測定スヘシ
 - 三 體重ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其著衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ
 - 四 胸圍ハ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ自然ノ位置ニ在ラシメ乳頭ノ水平線ニ於テ常時ヲ測定スヘシ充盈、空虛ノ差ヲ測定スルトキ亦同シ但シ小學校生徒ニ在リテハ常時ノミヲ測定スルモノトス
 - 五 脊柱ハ正、左彎、右彎、前屈、後屈ヲ檢查シ屈彎ニ就キテハ其程度ニ依リ各強中弱ノ三種ニ區別スヘシ
 - 六 體格ハ強健中等薄弱ノ三等ニ區別スヘシ
 - 七 視力ハ中心視力ヲ兩眼ニ就キテ各別ニ檢查スヘシ
 - 八 聽力ハ其ノ障害ノ有無ヲ檢查スヘシ
 - 九 齒牙ハ齲齒ニ就キ檢查スヘシ
 - 十 疾病ハ腺病、營養不良、貧血、脚氣、肺結核、頭痛、衄血、神經衰弱、鼻疾、咽喉病、傳染性皮膚病其ノ他慢性疾患等檢查ノ際ニ發見シタルモノヲ記入スヘシ
- 前各號ノ外身體檢查上必要ト認メタル事項ハ特ニ檢查ヲ行フヘシ

第二章 法 令
第六條 身體検査ヲ施行シタルトキハ左ノ様式ニ依リ身體検査票ヲ調製スヘシ

第二章 法 令

二二

検査年月	体格	脊柱	胸圍 盈虚ノ差	胸常時	體重	身長	姓名		學年	出生地
							校何			
							姓	名		
検査醫姓名印	本人ニ對スル注意事項	疾名	齒上顎齒數 下顎齒數	耳疾	聽力	眼疾	視力 右左	學年	出生地	

第六條ノ二 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ各本人ニ關スル検査ノ結果ヲ學生生徒又ハ其保護者ニ示スヘシ

第七條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ左ノ様式ニ依リ統計表ヲ調製シ翌月限り文部省直轄學校長ニ在リテハ文部大臣ニ其他ノ學校長ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ
地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之レヲ取纏メ其年六月限り文部大臣ニ報告スヘシ

(校名)學生生徒身體検査統計表 (男女)(大正 年四月検査)

年	齡	何年									
		何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年
身長	總長										
	最大										
	最小										
體重	總重										
	最大										
	最小										
胸圍	常時總長										
	最大										
	最小										
脊柱	正										
	左彎										
	右彎										
體格	強中										
	健等										
	弱										
視力	兩眼										
	左眼										
	右眼										
眼疾	トヲホーム										
	其ノ他										
	力障害アル者										
耳疾	耳疾										
	齒齦アル者										
	牙齒齦										
疾病											
検査人員											

- 一 本表ハ男生徒女生徒ヲ置クモノ及學科ノ部類ヲ異ニスルモノハ各別ニ調製スベシ
- 一 年齡ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其他之ニ準ス
- 一 身長、胸圍ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ孰モ同一年齡ニ於ケル各検査人員ノ身長、胸圍又ハ體重ノ各合計ヲ掲ゲ最大、最小ノ各欄ニハ其ノ検査人員中ノ最大、最小ナルモノヲ掲ゲ平均ノ各欄ニハ其検査人員ヲ以テ身長、胸圍ノ總長又ハ體重ノ總重ヲ除シタル商ヲ掲クベシ
- 一 視力ニ就キテハ兩眼ノ欄ニハ兩眼トモ正視、遠視、近視又ハ其ノ他(亂視、斜視、弱視等)ノ者ノ人員ヲ掲ゲ左眼又ハ右眼ノ欄ニハ左眼又ハ右眼ノ一方ノミ正視、遠視、近視又ハ其ノ他(亂視、斜視、弱視等)ノ者ノ人員ヲ掲クベシ但シ失明者ニ關シテハ兩眼又ハ片眼ニ區別シ備考ノ欄ニ於テ其數ヲ示スヘシ
- 一 検査スベキ項目ノ一部ノ検査ヲ欲キタル者ハ之ヲ表中ニ計入スベカラズ
- 一 外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入スベカラズ
- 一 備考欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スベシ
- 一 學校ニ於ケル重ナル疾病ノ原因及豫防等ニ關シ學校醫等ノ意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スベシ

ベシ

第七 實業學校令抄

(明治三十二年勅令第二十九號)

- 第一條 實業學校ハ工業農業商業等ノ實業ニ従事スル者ニ須要ナル教育ヲ爲スヲ以テ目的トス
- 第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校及實業補習學校トス
- 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
- 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル
- 蠶業學校山林學校獸醫學校及水産學校等ハ農業學校ト見做ス
- 徒弟學校ハ工業學校ノ種類トス
- 第八條 實業學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第十四條 實業學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得
- 第十五條 本令施行ノ爲メニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第八 專門學校令抄

(明治三十六年勅令第六十一號)

- 第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校ト稱ス

專門學校及特別學規定ニ依ル場合ヲ除キ外學規規定ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ

之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ

關スル學術技藝教授スル專門學校ニ關シハ文部大臣ニ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣ニ之ヲ定ム

第六條 專門學校ハ修業年限ハ三ヶ年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文

部大臣之ヲ定ム公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其程度並豫科、研究科及別

科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ

之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

第九 專門學校入學者檢定規程

(明治三十六年 文部省令第十四號)

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校

ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス

第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス

一 年齢男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト

二 身體健全ナルコト

三 品行方正ナルコト

四 現ニ中學校若クハ高等女學校ニ存學セサルコト

第三條 檢定ヲ分テ試驗檢定、無試驗檢定ノ二トシ試驗檢定ハ官立、公立ノ中學校若クハ修業年限

四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ

行フ

第四條 試驗檢定ノ學科目及其程度ハ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ各學科目及其卒

業ノ程度トス但シ中學校若クハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試驗檢定ニ合格シタル者ニハ試驗檢定合格

證書ヲ交付スヘシ

第六條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試驗檢定ノ問題、答案及成績表ハ五ヶ年以

上保存スヘシ

第七條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ハ試驗檢定手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第八條 左ニ掲クル者ハ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタルモノ
- 二 明治三十五年文部省告示第八十二號ニ依リ高等學校入學ノ豫備試驗ニ合格シタル者

第十 甲種農業學校卒業者入學ニ關スル件

(明治三十六年 文部省告示第七十六號抄)

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ルモノヲ指定スルコト左ノ如シ

- 一 盛岡高等農林學校ノ入學ニ關シテハ甲種農業學校卒業者

第十一 二個以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ關スル件

(明治三十六年 文部省告示第九十六號)

同一人ニシテ文部省直轄諸學校中ノ二箇以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其最前ニ入學ヲ許可セラレタル學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二箇以上ノ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學校ハ本人ノ選擇ニ任ス

第十二 實業學校教員養成規程抄

(明治三十五年 文部省令第九號)

實業教育費國庫補助法第七條ニ基キ實業教員養成規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一條 東京帝國大學農科大學本科若ハ實科、東北帝國大學農科大學本科、農學實科、土木工學科、林學科、水產學科、官立實業專門學校、東京美術學校、商船學校及水產講習所ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ従事スヘキ者並東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所、官立實業專門學校附設商業教員養成所及官立實業專門學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

補給スヘキ金額ハ一箇月六圓以内トス但シ官立實業專門學校附設工業教員養成所研究生ニ補給スル學資ハ六圓ヲ超過スルコトヲ得

第二條 前條ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル年限ニ一箇年ヲ加ヘタル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ従事スヘキ義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ヘ他ノ教職ニ従事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第二條ノ二 學資ノ補給ヲ受ケタル者ニシテ前條ノ義務期間内ニ於テ私費ヲ以テ學校ニ入學シ若クハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ因リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若クハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第二條ノ三 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲メ任意就職シタル者ハ其旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前項ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若クハ歸朝シタル時ハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第三條 學資ノ補給ヲ受クル者半途ニシテ退學シ若クハ第二條ノ義務ヲ盡ササルトキ又ハ第二條ノ二第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若クハ留學シタルトキハ補給シタル學資ヲ償還スヘキモノトス但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第四條 第一條ノ學生生徒ノ員數及各養成所ニ募集スヘキ員數ハ毎年文部大臣之ヲ定ム

第十三 文部省直轄實業專門學校委託生規程

(明治四十年 文部省令第二十三號)

第一條 北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ従事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得

第二條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委囑スルコトヲ得

第三條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ一箇月十圓以上トス

第四條 委託生ニハ授業料ヲ徴收セス

第五條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ従事スヘキ義務ヲ有ス

第六條 委託生ニシテ在學中半途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其補給ヲ受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

- 一 前條ノ義務ヲ盡サ、ルトキ
- 二 懲戒免職ニ處セラレタルトキ
- 三 免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

第七條 學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

第十四 陸軍召募規則中獸醫部依託生徒ニ關スル規定抄

(明治四十四年 陸軍省令第十一號)

第六十條 獸醫部依託學生及依託生徒ノ要員ハ陸軍大臣陸軍補充令第二十七條第一號第二號、同令第三十二條第一號第二號ニ該ル分科大學長又ハ學校長ニ通牒シ志願者ヲ召募ス

第六十一條 志願者ハ第九條ニ定ムル書類ニ證書(第八様式)ヲ添ヘ本籍地市町村長ニ差出スヘシ

第六十二條 市町村長ハ前條ノ書類ヲ調査シ證印ヲ爲シ身元明細書(第三様式)ヲ作り之ニ添付シ町

村長ハ志願者ヨリ該書類ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ郡長ニ差出シ郡市長ハ速ニ之ヲ當該分科

大學長又ハ學校長ヲ經テ當該分科大學又ハ學校所在地所管師團ノ軍醫部長軍醫部長ニ在リテハ師團醫部長以

下同ニ差出スヘシ

師團軍醫部長ハ前項ノ書類ヲ審査シ本人ノ學力、志操、性行等ヲ調査シ師團長ノ認可ヲ受ケ志願

者ヲシテ最寄部隊附軍醫ノ身體検査ヲ受ケシメ其體格検査表及一切ノ書類ヲ取纏メ師團長ニ提出

シ師團長ハ之ニ意見ヲ附シ速ニ陸軍大臣ニ提出スヘシ

第六十三條 陸軍大臣ハ志願者中採用スヘキ者ヲ定メ當該分科大學又ハ學校所在地所管ノ師團長、

當該分科大學長又ハ學校長ヲ經テ本人ニ達シ且之ヲ公示ス

第六十四條 依託學生ハ當該分科大學、依託生徒ハ當該學校一般ノ規程ニ從ヒ修學セシム

第六十五條 依託學生又ハ依託生徒ハ情願ヲ以テ依託學生又ハ依託生徒ヲ辭スルコトヲ許サス

第六十六條 依託學生又ハ依託生徒ニシテ左記各號ノ一ニ該ル者アリタルトキハ當該分科大學又ハ

學校所在地所管師團ノ軍醫部長ハ當該分科大學長又ハ學校長ヨリ其通報ヲ受ケ師團長ニ上申シ師

團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ上申スヘシ

一 品行不正、學業懈怠若クハ規則違反等ノ故ヲ以テ帝國大學總長若ハ當該學校長ニ於テ退學ノ處分ヲ爲スヘキ者

二 成業ノ目途ナキ者

三 傷痍若ハ疾病ノ爲休學六月以上ニ至リ仍治愈ノ見込ナキ者

第六十七條 陸軍大臣ハ依託學生、依託生徒中前條ニ該ル者又ハ其性行見習醫官、見習藥劑官又ハ

見習獸醫官ト爲スニ適セズト認メタル者アルトキハ依託學生又ハ依託生徒ヲ免ジ當該分科大學又

ハ學校所在地所管ノ師團長、當該分科大學長又ハ學校長ヲ經テ本人ニ達シ且之ヲ公示ス

第六十八條 依託學生又ハ依託生徒ニハ授業其他一切ノ費用ニ充ツル爲メ左ノ金額ヲ支給ス

依託學生 月額 貳拾圓

依託生徒 同 拾五圓

第六十九條 依託學生又ハ依託生徒ニシテ第六十八條第一號ニ該リ依託學生又ハ依託生徒ヲ免ゼラ

レタル者アル時ハ其翌月盡日迄ニ依託學生又ハ依託生徒間前條ニ依リ支給シタル金額ヲ返納セシ

ム

第七十條 依託學生又ハ依託生徒ノ身上其ノ他戶籍ニ異動ヲ生ジタルトキハ本人若クハ保證人ヨリ

最初願出ノ順序ニ依リ之ヲ陸軍大臣ニ届出ヘシ

第七十一條 依託學生又ハ依託生徒其ノ課程ヲ卒ヘ卒業試験ヲ終リタルトキハ當該分科大學又ハ學校所在地所管師團ノ軍醫部長ハ當該分科大學長又ハ學校長ヨリ其ノ試験ノ成績等ニ關スル通報ヲ受ケ速ニ師團長ニ上申シ師團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ上申スヘシ

願書書式 (用紙美濃白紙)

獸醫部依託生徒願

附

書

氏

名 儀

獸醫部依託生徒志願ニ付御許可被成下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ従事可仕候
仍テ戸籍謄本、履歷書、卒業證書寫(卒業證書ヲ有スル者ニ限ル)相添ヘ此段奉願候也

本籍地 府(縣)郡(市)町(村)番地

現住地 府(縣)郡(市)町(村)番地

戸主戸主ニアラサルトキハ誰子弟 族稱、職業(官職等)

年 月 日

氏

名 印

年 月 日 生

本籍地 府(縣)郡(市)町(村)番地

現住地 府(縣)郡(市)町(村)番地

族稱、職業(官職等)

親權者又ハ後見人(二十歳未満ノ志願者ニ限ル)

保證人

名 印

同

保證人

名 印

陸軍大臣 爵 氏

名 殿

氏

名 印

年 月 日

府(縣)郡(市)町(村)長

氏

名 印

(陸軍部内ノ志願者ニ在リテハ市町村長ノ證明及保證人ヲ要セス)

履歷書書式 (用紙美濃白紙)

履 歷 書

- 一 何年月日何學校へ入學何年月日同校卒業
- 一 何年月日何學校何年學級ヨリ何學校何年學級ニ入學何年月日同校卒業
- 一 何年月日何所ニ於テ何研究
- 一 何年月日何ニ従事ス
- 一 何年月日何ニ依リ賞(罰)等

(右ノ例ニ依リ履歷ニ關スル事項ハ悉ク記スヘシ)

右之通相違無之候也

年 月 日

本人	氏	名印
保證人	氏	名印
保證人	氏	名印

(參照)

第九條 志願者ハ本人ノ父母其他ニシテ一家ヲ爲シ身元確實ナル者二人ヲ以テ保證人ト爲シ願書第一様式第二ニ月籍謄本及歴履書第二様式ヲ添

ユベシ但シ志願者ハ相互ニ保證人ト爲ルコトヲ得ズ

出願當時二十歳未満ノ志願者ニ在リテハ保證人ノ中一人ハ親權者又ハ後見人ナルコトヲ要ス

第三項略

第八様式 (用紙美濃白紙)

證 書 (收入印紙貼用)

氏 名 儀

獸醫部依託生徒被命候後陸軍召集規則第六十九條ニ依リ納金ヲ被命候節ハ御規定ノ通可相納萬ニ事情ニ依リ納兼候節ハ保證人ニ於テ可相納候

本籍地	府(縣)郡(市)町(村)番地
現住地	府(縣)郡(市)町(村)番地

族稱、職業(官職等)

本人 氏

名 印

年 月 日

本籍地	府(縣)郡(市)町(村)番地
現住地	府(縣)郡(市)町(村)番地
族稱、職業(官職等)	

何某親權者(後見人) 保證人 氏

名 印

同

保證人 氏

名 印

陸軍大臣 爵 氏 名 殿

(保證人ハ願書ニ記載シタル保證人ト同一ノ者ナルコトヲ要ス)

第十五 盛岡高等農林學校規程

第一條 盛岡高等農林學校ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 學科ハ分チテ農學科、林學科及獸醫學科トシ農學科ニ第一部及第二部ヲ置ク

第三條 各學科ノ學科目及其程度ハ左ノ如シ

學科目等略之

第四條 卒業者ニシテ既修ノ學科ニ就キ更ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ二箇年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ撰擇シテ學修セントスル者ハ撰科生トシテ入學セシムルコトヲ得

附 則

本令ハ大正二年四月一日ヨリ施行ス

本令施行ノ際現ニ第二學年以上ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ハ其卒業ニ至ルマテ從前ノ規定ニ依ル

第三章 諸規則及細則

第一學 年 曆

四月一日	春期休業始
四月七日	春期休業終
四月八日	第一學期授業始

四月十六日 入 學 式

五月二十八日 開校記念日

七月二十日 第一學期授業終

七月二十一日 夏期休業始

九月十日 夏期休業終

九月十一日 第二學期授業始

秋分ノ日 休業(秋季皇靈祭)

十月十七日 休業(神嘗祭)

十月三十一日 休業(天長節祝日)

十一月二十三日 休業(新嘗祭)

十二月二十四日 第二學期授業終

十二月二十五日 冬期休業始

一月十五日 冬期休業終

一月十六日 第三學期授業始

二月十一日 休業(紀元節)

春分ノ日 休業(春季皇靈祭)
 三月三十一日 第三學期終

第二學則

第一章 總則

- 第一條 本校ハ農業林業及獸醫ニ必要ナル高等ノ教育ヲ施ス所トス
- 第二條 本校ニ農學科第一部、農學科第二部、林學科及獸醫學科ヲ置キ之ヲ本科トシ別ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ
- 第三條 農學科第一部、農學科第二部、林學科及獸醫學科ノ修業年限ハ三箇年トス
- 第四條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第五條 學年ヲ分チテ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ一月一日ヨリ三月卅一日ニ至ル
- 第六條 休業日ハ左ノ如シ但休業日ト雖モ實習、實驗等ヲ課スルコトアルヘシ
- 一日 曜日
- 一大祭祝日

一開校記念日

(五月二十八日)

一春期休業

(自四月一日起至同月七日)

一夏期休業

(自七月二十一日至九月十日)

一冬期休業

(自十二月廿五日至一月十五日)

第七條 研究生及選科生ニ關シ特ニ定ムルモノノ外本科生徒一般ノ規程ヲ準用ス

第二章 學科目、授業時數

第八條 各學科ノ學科目及毎週教授時數ハ左ノ如シ

但シ實習又ハ實驗等ノ都合ニ依リ毎週教授時數ヲ臨時増減スルコトアルヘシ

農學科第一部

科 目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修 身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
作 物	二	二	二	二	二	二	(11)	(11)	(11)
園 藝	一	二	二	二	二	二	(11)	(11)	(11)

經濟	農政	農業經濟	農產製造	養蠶	酪農	家畜飼養	畜產	測量及製圖	土地改良	農具	土壤及肥料	礦物及地質
				二				(一) 二		二		二
				二				(一) 二		一		二
				二				(一) 二				
				(無定時) 二			二					
二				一			二				三	
二				(三) 一			二				三	
二				(三) 一			二				三	
		隔週(三)同	三			隔週(三)同	三					
	一	隔週(三)同	三			隔週(三)同	三					
	一	隔週(三)同	三			隔週(三)同	三		一			
	一	隔週(三)同	三			隔週(三)同	三		(三) 一			

農場實習	實驗及實習	合計	體操	國文	外國語	林學大意	植物營養論	植物及植物病理	動物及昆蟲	化學及分析	物理及氣象	法律
無定時	(二)	二六	一	一	四			二	二	三	二	
同上	(二)	二六	一	一	四			二	二	三	二	
同上	(六)	二四	一	一	四		(二)	(二)	三	三	二	
同上	(無定時)	二七	一	一	四		三	三			一	
同上	(五)	二七	一	一	四		(三)	三	(三)	一	一	
同上	(六)	二六	一	一	四		三	(三)	三		一	
同上	(一一)	二五	一		五	一	二	(三)	(三)			一
同上	(一二)	二四	一		五	一		(三)	(三)			一
同上	(一五)	二二	一		五	一		(三)	(三)			一

第三學年ニ於テハ科外トシテ志望者ニ每週一時間教育學ヲ課ス

第三章 農學科第二部

三四

科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
作物	二	二	二	二	二	二	二	二	二
園藝		一	二	二	二	二			
礦物及地質			二						
土壤及肥料					三	三			
農具	二								
土地改良									
家畜飼養								三	三
酪農									
養蠶	二								
農產製造		二	二				三	三	三

科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
農業經濟								二	二
農政								一	二
經濟					二	二			
法律						二			
物理及氣象	二			二			二		二
化學	四			四			九		
分析化學									
食品化學						六	六	二	二
動物及昆蟲					二	一	一		
植物及植物病理	二			三	三				
植物營養論					二	三	三		
細菌學									
外國語	四	四	四	四	四	四	五	五	五

第三章

諸規則及細則

三五

國文	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	二五	二五	二五	二六	二七	二五	二三	二三	二三
實驗及實習			(四)		(八)	(二五)	(一九)	(二八)	(二七)
農場實習	無定時	同上	同上	同上	同上				

第三學年ニ於テハ科外トシテ志望者ニ每週一時間教育學ヲ課ス

林學科

科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
造林學	(三)	(六)	(六)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)
森林保護學					一				
森林數學				(三)	(三)				
森林經理學						三	四	(六)	

科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
森林利用學				(二)	(二)	(二)	一	一	
林產製造						二	(三)	(三)	一
森林土木學				(三)	(三)	(三)	(三)	(三)	(三)
林政學							三	五	
森林管理學							(一)	(一)	
森林法規							二	二	
測量及製圖	(九)	(九)	(九)	(六)	(六)	(六)			
數學	四	四	四						
經濟				二	二	二			
財政				一	一	二			
法律及行政大意				二	二	二	一		
物理及氣象	二	二	二	一	一	一			
化學及分析	三	三	三			(三)			

科目	第一學年			第二學年			第三學年			全學期間
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	
森林動物及昆蟲	二	二	二							
森林植物及樹病	(二)二	二	二				二			
地質及土壤	二	二	三							
狩獵										
農學大意									二	二
國文	一	一	一	一	一	一				
外國語	六	六	六	五	五	五	四	四		
體操	一	一	一	一	一	一	一	一		
森林事務見習										
合計	二八	二八	二九	二八	二九	二九	二九	二八		
實驗及實習	(二四)	(二五)	(二五)	(二三)	(二三)	(二五)	(二〇)	(二六)		
森林演習				無定時	同上	同上	同上	同上		

第三學年ニ於テハ科外トシテ志望者ニ每週一時間教育學ヲ課ス

獸醫學科

科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
解剖及組織	三	(一)三	(一)三						
生理	四	四	四	(一)	(一)	(一)			
藥物及調劑法				三	三	三			
病理通論	二	二	二	一	一	一			
蹄鐵及蹄病	(三)一	(三)一	(三)一	(三)一	(三)一	(三)一			
寄生動物	二	二	二						
內科				三	三	三	二	二	二
外科				四	(四)四	(四)四	二	二	二
胎生學				一	一	一			
產科							二	二	二

畜産	衛生學	細菌學	病體解剖學	馬學	獸醫警察	農學大意	物理及氣象	化學及分析	動物	外國語	國文	病院實習
				(一)			二	四	二	四	一	
				(一)			二	四	二	四	一	
				(一)			二	四	二	四	一	
二		二		二		一	(三)	一		四	一	(一)
二		二		二		一	(一)			四	一	(一)
二		二		二		一				四	一	(一)
隔週(三)	一	(二)	(隨時)			一				五		(六)
同(三)	一	(二)	(同)		三	一				五		(六)
同(三)	一	(二)	(同)		(隨時)	一				五		(六)

體操	合計	實驗及實習	牧場實習
一	二七	(五)	無定時
一	二七	(一七)	同上
一	二七	(一七)	同上
一	二八	(九)	同上
一	二七	(一二)	同上
一	二七	(二〇)	同上
一	二三	(九、五)	同上
一	二四	(三、五)	同上
一	二三	(九、五)	同上

第三學年ニ於テハ科外トシテ志望者ニ毎週一時間教育學ヲ課ス
各學科授業時數中括弧ヲ付スルモノハ實驗及實習ノ時數トス

第三章 生徒

第一 入學、在學、退學

第九條 入學ノ期ハ每學年ノ始トス但臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ
第十條 本校ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ品行端正身體強壯年齡滿十七歲以上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ

- 一 該當シ入學檢定ニ合格シタル者タルヘシ
- 一 中學校ヲ卒業シタル者
- 二 甲種農業學校ヲ卒業シタル者

三 專門學校入學者檢定規程ニ依レル試験檢定ニ合格シタル者

四 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者

第十一條 入學檢定ヲ分テ無試験檢定及試験檢定ノ二トス

第十二條 無試験檢定ハ本校ニ於テ適當ト認メタル中學校ヲ卒業シタル入學志願者ニシテ最終ノ三學年間其學級ノ及第者中首位ヨリ起算シ全數ノ十分ノ一ニ至ル迄ノ席次ヲ有スル者ノ學業成績其他ノ要件ヲ考查シテ入學ヲ許可ス但其入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ約三分ノ一トス前項無試験檢定志願者ノ體格ハ先ツ體格檢査證ニ依リ檢定シ入學前更ニ本校ニ於テ檢査ヲ行フモノトス

第十三條 試験檢定ノ學科目ハ國語及漢文、英語、數學、物理及化學、動物及植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行ヒ別ニ體格檢査及口頭試問ヲ行フ

甲種農業學校ヲ卒業シタル入學志願者ニシテ最終ノ二學年間其學級ノ及第者中首位ヨリ起算シ全數ノ十分ノ一ニ至ルマテノ席次ヲ有スル者ハ前項ノ試験科目中英語、數學ノ二科目ニ就テノミ之ヲ行フ但本項ノ規定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ約六分ノ一トス

第十四條 第十二條及第十三條第二項ノ入學志願者ニシテ入學ヲ許可セラレザリシ者ハ第十三條第一項ノ試験ニ應スルコトヲ得但此場合ニハ入學手数料ノ納付ヲ要セス

第十五條 入學手数料ハ金參圓トス入學願書ト共ニ納付スヘシ

入學手数料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖トモ之ヲ返付セス

第十六條 本校生徒ハ校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校若クハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

第十七條 入學志願者ハ左ノ書類ニ入學志願前六ヶ月以内ニ撮影シタル寫眞(脱帽半身手札形)ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

一 入學願書

一 履歷書

一 當該學校長ノ卒業(若クハ卒業見込又ハ專門學校入學者試験檢定合格)證明書

一 成績證明書(第十二條及第十三條第二項ノ受験者ニ限ル)

一 體格檢査證(第十二條ノ受験者ノミニ限ル)

入學願書式

入 學 願 書

私儀今般御校何學科ニ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書並ニ入學手数料相添此段相願候也

年 月 日

族籍住所(戸主又ハ誰何男又ハ弟等)

氏

名 印

生 年 月 日

盛岡高等農林學校長 氏 名 殿

履歷書式

履 歷 書

族籍(戸主又ハ誰何男又ハ弟等)

氏

名

生 年 月 日

學 業

一何年何月ヨリ何年何月マテ何地何學校ニ入り又ハ何某ニ就キ何學修業

一何年何月何日何學校ニ於テ何課程卒業

一何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定合格證明書ヲ受ク

職 業

一何年何月何日何官職拜命若クハ何々業ニ從事

兵 役

一何年何月何日何隊入營何年何月滿期(歸休)除隊若クハ補充國民軍編入等

賞 罰

一何年何月何日何處ニ於テ何賞罰ヲ受ク

右ノ通相違無之候也

右

年 月 日

氏

名 印

成績證明書式

成 績 證 明 書

族 籍

姓

名

生 年 月 日

學 年	科 目	修 身	何 々	何 々			各 學 科	操 行	席 次
							平 均 點		

學位(若クハ資格) 何 某團

第十八條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ十日以内ニ左式ノ在學證書及戶籍謄本ヲ差出スヘシ

在學證書式 (用紙美濃紙)

印紙 在 學 證 書

私儀今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ御規則等堅ク相守リ猥リニ退學致間敷候仍テ證書如此候也

年 月 日

族籍住所(戶主又ハ誰何男弟等)

氏 名 印

生 年 月 日

盛岡高等農林學校長 氏 名 殿

第十九條 生徒疾病又ハ事故ニ依リ退學セント欲スルトキハ其事由ヲ具シ願出ツヘシ但シ疾病ノト

キハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十條 生徒左ノ各號ノ一ニ觸ルル者ハ學籍ヲ除名ス

- 一 無届ニテ二ヶ月以上引續キ缺課シタル者
- 二 學業不進歩ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者
- 三 授業料ヲ納付セサル者

第二十一條 生徒校規命令ニ違背シ其他生徒タルノ本分ヲ失フ者ハ其輕重ニ依リ戒飭、謹慎、停學又ハ放校ニ處スヘシ

第二 特 待 生

第二十二條 學術優等品行方正ナル生徒ヲ選拔シ特待生ト爲ス但シ特待生ニハ授業料ヲ徴收セス

第二十三條 特待生其資格ヲ失フト認ムルトキハ直ニ之ヲ免ス

第三 休 學

第二十四條 生徒疾病又ハ事故ニ依リ二ヶ月以上修學スルコト能ハサルトキハ詮議ノ上該學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十五條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ヨリ其原級ニ復スルモノトス

第二十六條 休學ノ期間内ト雖トモ其事故消滅シタルトキハ出願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第四 試験、得業及稱號

第二十七條 試験ヲ分チテ臨時試験及學年試験ノ二種トス

第二十八條 臨時試験ハ學年中教官ノ見込ヲ以テ臨時ニ之ヲ行ヒ學年試験ハ學年ノ終ニ於テ之ヲ行フモノトス

第二十九條 試験ハ口述筆記又ハ實驗ヲ以テ之ヲ行ヒ其成績ヲ按シ之ニ評點ヲ附シ一科目一百ヲ最高點トス

第三十條 實習點ハ一學年間ノ成績ヲ按シ一百ヲ最高點トス

第三十一條 各學科目學年評點ハ臨時試験評點ノ和ヲ其採點回數ヲ以テ除シタルモノニ學年試験評點數ヲ加ヘ二分シテ定ムルモノトス

第三十二條 學年ノ成績ハ學科點實習點及平素ノ勤惰、行狀等ヲ參酌シテ之ヲ定メ其及落ヲ決ス

第三十三條 試験ニ缺席シタル者ハ零點ヲ附ス但シ疾病又ハ事故ノ爲メニ缺席シタル者ハ詮議ノ上追試験ヲ行フコトアルヘシ

第三十四條 第三學年ノ試験ニ及第シタル者ヲ受験生トシ得業試験ヲ行フ但シ得業試験ニ合格セザ

ル者ニハ再試験ヲ行フコトアルヘシ

第三十五條 得業試験ニ合格シタル者ニハ得業證書ヲ授與ス

第三十六條 本校得業生ハ其學科ニ從ヒ農學得業士、林學得業士、獸醫學得業士ト稱スルコトヲ得

第五 服制

第三十七條 生徒ハ本校制定ノ被服ヲ着用スヘシ但シ新入學生徒ハ其入學ノ日ヨリ一ヶ月以内ニ本文ノ被服ヲ着用スヘシ

實習ノ際特別ノ服裝ヲ要スル場合ハ前項ノ限りニアラス

第四章 研究生

第三十八條 本校得業生中學業優良ナル者ニシテ既修ノ學科ニ就キ更ニ研究セント欲スル者ニハ出願ニ依リ研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十九條 研究生ノ在學期ハ二個年トス

第四十條 研究生ハ在學期ノ終ニ於テ研究報文ヲ作り指導教官ヲ經テ之ヲ學校長ニ提出スヘシ

第四十一條 研究報文ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第五章 選科生

第四十二條 本校學科ノ一科目若シクハ數科目ヲ選擇專修セントスル者アルトキハ選科生トシテ在

學セシムルコトアルヘシ

第四十三條 選科生ハ教授上差支ナキ場合ニ限り學年ノ始メニ於テ試験ノ上入學ヲ許可スルモノトス

第四十四條 選科生ニシテ修學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六章 授業料

第四十五條 授業料ハ左ノ通之ヲ定メ研究生ニハ之ヲ徴收セス

本科 (一學年ニ付) 選科 (一學年ニ付)

金貳拾五圓 金拾五圓

外國人 金五拾圓 外國人 金參拾圓

但明治四十三年以前ノ入學者ハ從前ノ規定ニ據ル

第四十六條 本科生徒中得業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニシテ學校長ノ選定ヲ得タル者及實業學校教員養成規程ニ依ル學資補給生ニ對シテハ授業料ヲ徴收セス

前項前段ノ選定ヲ得タル者ハ得業ノ日ヨリ二ケ年間實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第四十七條 授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始メニ於テ之ヲ徴收ス

本科 選科

第一期 自八月 至四月 外國人 金貳拾圓

第二期 自九月 至十二月 外國人 金拾圓 外國人 金六圓

第三期 自一月 至三月 外國人 金貳拾圓 外國人 金五圓

外國人 金拾圓 外國人 金四圓

外國人 金八圓

第四十八條 授業料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖トモ之ヲ返付セス

第四十九條 停學ヲ命シ若クハ休學ヲ許可シタル者ハ次期ヨリ授業料ヲ徴收セス

第五十條 休學又ハ停學ヲ解除シタルトキハ其期ヨリ授業料ヲ徴收ス

第五十一條 授業料ハ定日ニ納付スヘシ其定日以後ニ入學シタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ

之ヲ納ムルモノトス

第五十二條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ第十七條ニ依リ處分

ス

附則

本則ハ大正二年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ第三學年以上ニ在ル生徒ニ課スヘキ各學科ノ學科目及每週教授時數ハ左ノ如シ

科目	學年	第一學期			第二學期			第三學期		
		週	授	時	週	授	時	週	授	時
修身	第一	一			一			一		
植物	第一	二			一			一		
園藝	第一	二			一			一		
農具及土地改良	第一	二			一			一		
畜產	第一	三			二			二		
農產製造	第一	三			二			二		
農業經濟及農政	第一	三			二			二		
植物營養論	第一	一			三			三		
細菌學	第一	一			三			三		
林學大意	第一	一			三			三		
外國語	第一	五			五			五		

體操	合計	實習
一	二五	無定時
一	二四	同上
一	二二	同上

第三學年ニ於テハ科外トシテ志望者ニ每週一時間教育學ヲ課ス
 第三學年實驗、左ノ如ク分科シ各種實驗中ヨリ二科目以上ヲ選修セシム
 作物、園藝、畜產、農業經濟及農政、化學、物理、農產製造、動物、植物

林學科

科目	學年	第一學期			第二學期			第三學期		
		週	授	時	週	授	時	週	授	時
修身	第一	一			一			一		
造林及保護	第一	二			一			一		
森林經理學	第一	四			二			二		
森林利用學	第一	一			四			一		

科目	年		
	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一
內科	二	二	二
外科	二	二	二
胎生學	一	一	一
產科	二	二	二
畜產	二	三	二
衛生學	(一)	(一)	(一)
細菌學	(二)	(三)	(二)
病體解剖	(隨時)	(同)	(同)
獸醫警察	(二)	(二)	(二)
農學大意	一	一	一

第三學年ニ於テハ科外トシテ志望者ニ每週一時間教育學ヲ課ス

科目	第一學期	第二學期	第三學期	全學期間
林產製造	(三)	(三)	(二)	(八)
森林土木學	(三)	(三)	(二)	(八)
森林政學	(三)	(三)	(二)	(八)
森林管理及森林法規	(三)	(三)	(二)	(八)
行政大意	(一)	(一)	(一)	(三)
狩獵	(一)	(一)	(一)	(三)
農學大意	(二)	(二)	(二)	(六)
外國語	(四)	(四)	(四)	(十二)
體操	(一)	(一)	(一)	(三)
森林事務見習	(二)	(二)	(二)	(六)
合計	(二〇)	(二七)	(二二)	(六九)
實習及演習	無	同	上	

外 國 語	五	五	五
家 畜 病 院 實 習	(六)	(六)	(六)
體 操	一	一	一
合 計	(一〇三)	(一〇四)	(一〇三)
實 習	無 定 時	同 上	同 上

第三學年ニ於テハ科外トシテ志望者ニ毎週一時間教育學ヲ課ス
各學科授業時數中括弧ヲ付スルモノハ實驗ノ時數トス

第三章 事務規程

第一章 總 則

第一條 校務ヲ處理スルタメ本校ニ事務部、教務部、農學第一部、農學第二部、林學部、獸醫學部
並ニ圖書館、經濟農場、演習林、實驗農場ヲ置ク

第二條 事務部ニハ庶務、會計ノ二課教務部ニハ教務、生徒ノ二課ヲ置キ農學第一部ニハ植物園ヲ
附屬セシメ林學部ニハ林學實習場、獸醫學部ニハ家畜病院ヲ附屬セシム

第三條 各部ニハ部長各課ニハ課長ヲ置キ圖書館、經濟農場、演習林、實驗農場ニハ各其長ヲ置キ
植物園、林學實習場、家畜病院ニハ主事ヲ置ク

第四條 部長、圖書館長、經濟農場長、演習林長、實驗農場長及主事ハ教官ヲ以テ之ニ充テ課長ハ
書記又ハ教官ヲ以テ之ニ充テ生徒課長ハ生徒監ヲ以テ之ニ充ツ學校長ハ時宜ニ依リ部長ノ職務ヲ
掌理スルコトアルヘシ

第五條 校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例
アルモノハ部長、圖書館長、經濟農場長、演習林長、實驗農場長、課長、主事ニ於テ之ヲ專行ス
ルコトヲ得

第六條 部長、圖書館長、經濟農場長、演習林長、實驗農場長、課長、主事ハ其名ヲ以テ相互ニ文
書ノ往復ヲナスコトヲ得

第七條 部長及主事ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ノ勤怠ヲ監督シ意見アルトキ
ハ學校長ニ具申スヘシ

第八條 部長、圖書館長、經濟農場長、演習林長、實驗農場長、課長、主事ニ事故アルトキハ所屬
首席者其事務ヲ代理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第九條 所屬職員ハ上官ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ處理シ取扱事項ニ關シ其責ニ任ス

第十條 主管事務ニシテ他ノ所屬ト關聯スルトキハ渾テ合議スヘシ

第十一條 事務ノ所屬不明ナルトキハ上官ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

第二章 分 掌

第十二條 事務部庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 御眞影及 勅語ニ關スル事項
- 二 學校長ノ官印及學校印ノ監守ニ關スル事項
- 三 公文書類ノ接受、發送、審議、立案及其整理保管ニ關スル事項
- 四 統計報告ニ關スル事項
- 五 儀式ニ關スル事項
- 六 官吏及雇員等ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
- 七 叙位及叙勳ニ關スル事項
- 八 規則ノ制定及命令傳達ニ關スル事項
- 九 法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
- 十 名簿、履歷書、出勤簿ニ關スル事項
- 十一 當直ニ關スル事項

十二 文書(學校長名ヲ署スルモノニ限ル)淨書及印刷ニ關スル事項

十三 會議ニ關スル事項

十四 庶務課ニ屬スル公文書類及物品ノ整理保管ニ關スル事項

十五 他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項

第十三條 事務部會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 學校經濟ニ關スル事項
- 二 經費及諸收入ノ豫算及決算ニ關スル事項
- 三 金錢ノ收支及保管ニ關スル事項
- 四 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 五 官有財産及資金ノ監理ニ關スル事項
- 六 校舍ノ建築修繕ニ關スル事項
- 七 本校内外ノ掃除及除雪等ニ關スル事項
- 八 校舍校地ノ警備取締ニ關スル事項
- 九 官舎貸渡ニ關スル事項
- 十 傭人ノ進退賞罰取締ニ關スル事項

- 十一 不用物品ノ處分ニ關スル事項
 - 十二 門鑑ニ關スル事項
 - 十三 會計課ニ屬スル公文書類及物品ノ整理保管ニ關スル事項
 - 十四 前各號ノ外會計ニ關スル一切ノ事項
- 第十四條 教務部教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 教室、教具、教材ノ設備保管ニ關スル事項
 - 二 標本室ニ關スル事項
 - 三 授業及學課ニ關スル事項
 - 四 生徒募集ニ關スル事項
 - 五 生徒ノ入學退學休學及學籍ニ關スル事項
 - 六 試驗ニ關スル事項
 - 七 教官會議ニ關スル事項
 - 八 修學旅行及學事報告等ニ關スル事項
 - 九 教務ニ屬スル文書ノ起案及整理保管ニ關スル事項
 - 十 教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

十一 前各號ノ外教務ニ關スル一切ノ事項

第十五條 教務部生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 生徒ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項
- 二 生徒ノ風紀取締ニ關スル事項
- 三 生徒ノ衛生及體格検査ニ關スル事項
- 四 生徒ノ集會及印刷物ニ關スル事項
- 五 生徒ノ入退舍、外泊、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
- 六 生徒ノ願届等ニ關スル事項
- 七 寄宿舎ノ取締及管理ニ關スル事項
- 八 寄宿舎ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
- 九 生徒課ニ屬スル公文書類ノ起草整理保管ニ關スル事項
- 十 寄宿舎ニ屬スル物品整理保管ニ關スル事項
- 十一 前各號ノ外生徒取締ニ關スル一切ノ事項

第十六條 農學第一部ニ於テ監掌スル事項左ノ如シ

- 一 作物、園藝、畜産、農學大意、養蠶、農業經濟及農政、法律及經濟、動物及昆虫、植物及植

物病理、教育學ノ教授ニ關スルコト

二 前號ノ學科目ニ伴フ建物物品ノ整理保管ニ關スルコト

三 教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト

四 教授分擔ニ關スルコト

五 事業功程ニ關スルコト

六 前各號ノ外部内ニ於ケル整理ニ關スルコト

第十七條 農學第二部ニ於テ監掌スル事項左ノ如シ

一 地質土壤及土地改良、肥料、農具、農産製造、物理及氣象、化學、分拆化學、植物營養論、

細菌學、外國語、國文ノ教授ニ關スルコト

二 前號ノ學科目ニ伴フ建物物品ノ整理保管ニ關スルコト

三 教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト

四 教授分擔ニ關スルコト

五 事業功程ニ關スルコト

六 前各號ノ外部内ニ於ケル整理ニ關スルコト

第十八條 林學部ニ於テ監掌スル事項左ノ如シ

一 造林及保護、森林數學、森林經理學、森林利用學、林産製造、森林土木學、經濟學、財政學、
林政學、森林管理及森林法規、法律及行政大意、數學、測量及製圖、狩獵、林學大意ノ教授
ニ關スルコト

二 前號ノ學科目ニ伴フ建物物品ノ整理保管ニ關スルコト

三 教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト

四 教授分擔ニ關スルコト

五 事業功程ニ關スルコト

六 前各號ノ外部内ニ於ケル整理ニ關スルコト

第十九條 獸醫學部ニ於テ監掌スル事項左ノ如シ

一 解剖及組織、生理、藥物及調劑法、病理通論、內科學、外科學及外科手術學、胎生學、產科、
獸醫學大意、蹄鐵及蹄病、衛生學、細菌學、寄生動物、病體解剖、馬學、獸醫警察、羅甸ノ
教授ニ關スルコト

二 前號ノ學科目ニ伴フ建物物品ノ整理保管ニ關スルコト

三 教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト

四 教授分擔ニ關スルコト

五 事業功程ニ關スルコト

六 前各號ノ外部内ニ於ケル整理ニ關スルコト

第二十條 修身ハ校長、體操ハ生徒監ニ於テ之ヲ監掌ス

第廿一條 圖書館ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 圖書ノ出納及保管ニ關スル事項

二 圖書貸付ニ關スル事項

三 閱覽室整理ニ關スル事項

第廿二條 經濟農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 經濟農場經營ニ關スル事項

二 所屬建物及物品ノ管理ニ關スル事項

三 生産物處分ニ關スル事項

四 其他經濟農場ニ於ケル管理上一切ノ事項

第廿三條 演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 演習林經營ニ關スル事項

二 所屬建物及物品ノ管理ニ關スル事項

三 生産物處分ニ關スル事項

四 其他演習林ニ於ケル管理上一切ノ事項

第廿四條 實驗農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 農場ノ管理ニ關スル事項

二 農事實驗實習ニ關スル事項

三 家畜飼養管理ニ關スル事項

四 農産製造ニ關スル事項

五 生産物處分ニ關スル事項

六 所屬建物管理ニ關スル事項

第廿五條 植物園ハ植物園ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル

第廿六條 林學實習場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 林學實驗實習ニ關スル事項

二 生産物處分ニ關スル事項

三 所屬建物及備付品ノ管理ニ關スル事項

第廿七條 家畜病院ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 病院實驗實習ニ關スル事項
- 二 診察治療ニ關スル事項
- 三 削蹄裝鐵ニ關スル事項
- 四 所屬建物管理ニ關スル事項
- 五 病院ノ整備ニ關スル事項

第三章 服 務

第廿八條 職員登校スルトキハ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ上官ノ命ニ依リ休暇日ニ出勤スル時モ亦同シ

第廿九條 職員病氣其他ノ事故ニ依リ缺勤セントスルトキハ出勤時前ニ其旨届出ツヘシ

但シ病氣缺勤七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第三十條 職員登校ノ時ハ必ス洋服若シクハ袴ヲ着用スヘシ

第卅一條 職員住所ヲ移轉シ姓名印章ヲ變更シタルトキハ其都度届出ツヘシ

第卅二條 職員病氣其他ノ事故ニ依リ居住地ヲ離レントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

但シ賜暇中ハ旅行日數及塲所ヲ記シ届出ツヘシ

第卅三條 職員官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直チニ辭令書ヲ受ケタル時其事項ノ履歷上ニ關係

アルモノハ其都度届出ツヘシ

第四章 會 議

第卅四條 校務ヲ處理スル爲メ本校ニ教授會議並ニ部局會議ヲ設ク

第卅五條 教授會議ハ校務上重要ナル事項ニ關シ學校長ノ諮問ニ應シ之ヲ審議ス

第卅六條 教授會議ノ議員ハ教授並ニ專任講師ヲ以テ之ニ充ツ

但シ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ其他ノ職員ヲ列席セシムルコトアルベシ

第卅七條 學校長ハ教授會議ヲ召集シ其議長トナル

第卅八條 教授會議員ハ校務ニ關シ本會ノ議ニ附セントスル事項アルトキハ學校長ニ提議スルコトヲ得

第卅九條 教授會議ノ記録ハ庶務課長之ヲ掌ル

第四十條 部局會議ハ各部局ニ於テ監掌スル事項ニ關シ審議、研究スルモノトス

第四十一條 部局會議ハ左ノ各部局ニ之ヲ分ツ

- 一 農學第一部(植物園ヲ含ム)
- 二 農學第二部

- 三 林學部(林學實習場ヲ含ム)

- 四 獸醫學部(家畜病院ヲ含ム)
- 五 實驗農場
- 六 事務部(庶務課會計課)
- 七 教務部(教務課生徒課)
- 八 圖書館
- 第四十二條 部局會議ノ議員ハ其所屬職員(除助手)ヲ以テ之ニ充ツ
- 第四十三條 部局長ハ部局會議ヲ召集シ其議長トナル
- 第四十四條 部局會議員ハ其監掌事項ニ關シ本會ノ議ニ附セントスル意見アルトキハ之ヲ部局長ニ提議スルコトヲ得
- 第四十五條 部局會議ヲ開カントスルトキハ部局長ヨリ豫メ其日時ヲ學校長ニ報告シ且ツ臨席ヲ申請スヘシ
- 第四十六條 學校長ハ部局會議ニ於テ意見ヲ陳述シ又ハ必要ニ依リ諮問案ヲ發スルコトアルヘシ
- 第四十七條 部局會議ニ於テ決議セル事項ハ之ヲ學校長ニ報告スヘシ
- 第四十八條 部局會議ニ於ケル議案ノ整理及決議ノ記錄ハ部局長之ヲ掌ル
- 第四十九條 部局長ハ學校長ノ許可ヲ受ケ其會ノ議事細則ヲ設クルコトヲ得

第四 文書處理規定

- 第一條 本校ニ到達シタル文書ハ親展書類ヲ除クノ外ハ庶務課ニ於テ收受開封シ件名簿ニ登錄ノ上各其主務課ニ配付シ主任者ノ受領檢印ヲ受クヘシ
- 第二條 學校長宛親展書ハ親展書收受簿ニ登記シ之ヲ提出スヘシ
- 第三條 收受シタル文書ハ速ニ主務課ニ於テ審議調査ヲ了シ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ乞フヘシ但シ事ノ簡易ニシテ先例アルモノハ主務課ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得
- 第四條 決裁済ノ文書ニシテ校長名ヲ以テ發スルモノハ總テ庶務課ニ於テ淨書シ校名ヲ以テ發スル文書ハ主務課ニ於テ之ヲ淨書シ庶務課ニ差出スヘシ但シ學校長ノ名ヲ以テ發スル文書ト雖トモ其浩澣ナルモノハ主務課ニ於テ淨書スルヲ要ス
- 第五條 金員、數量等總テ計算ヲ要スル書類ハ主務課ニ於テ淨書シ欄外末尾ニ檢査済ノ證印ヲ捺スヘシ
- 第六條 同一事件ノ往復文書ハ必ス之ヲ合綴スヘシ
- 第七條 起案ハ一定ノ用紙ヲ用ヒ起首ニ其要旨ヲ摘記スヘシ
- 第八條 閱覽ニ止ムヘキ文書ハ其餘白ニ提供スヘキ各官名ヲ記シ回覽ニ付スヘシ

- 第九條 處分ヲ要スル文書ト雖トモ事ノ簡單ナルモノハ餘白ニ處分案ヲ具シ提出スルコトヲ得
- 第十條 成規定例アルモノハ便宜帳簿ヲ製シ回議案ニ代用スルコトヲ得
- 第十一條 各主務課ニ於テ淨書シタル文書ヲ庶務課ニテ受領シタルトキハ直チニ番號ヲ付シ捺印ノ上發送ノ手續ヲナスヘシ
- 第十二條 發送濟ノ文書ハ其發送ノ月日ヲ起案用紙相當欄ニ記入シ且捺印スヘシ
- 第十三條 文書ハ總テ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ關係員外ニ示スコトヲ得ス
- 第十四條 收受發送ノ文書ニハ左ノ例ニ依リ符號及番號ヲ付スヘシ
番號ハ毎年一月ニ始マリ十二月ニ終ルモノトス

盛	第	號	例	庶務課ニ係ルモノハ	盛庶第	號
盛	第	號	會計課ニ係ルモノハ	盛會第	號	號

第五 物品會計細則

第一章 總 則

- 第一條 本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本細則ニ據リ處理スヘシ
 - 第二條 物品ヲ大別シテ備品、消耗品トノ二種トス
 - 第三條 備品ニハ總テ番號ヲ付記スヘシ、尤モ物質又ハ形狀等ニ依リ記號シ難キモノハ此ノ限リニアラス
- 第二章 出 納
- 第四條 物品ノ出納ハ凡テ校長ノ命令ヲ經テ執行スヘシ
 - 第五條 物品ノ受入ハ左ノ書類ヲ以テ受入命令ヲ受クヘシ
 - 一 購入物品ニ對シテハ物品購入並ニ受入伺書
 - 二 生産及製造物品ニ對シテハ生産若クハ製造品報告書
 - 三 寄贈物品ニ對シテハ寄附者ノ願書若クハ其ノ決議書類
 - 四 各應ヨリ保管轉換物品ニ對シテハ物品引繼書
 - 第六條 物品ノ支給ハ左ノ書類ヲ以テ支給命令ヲ受クヘシ
 - 一 消耗品支給ニ對シテハ消耗品請求及領收證書

二 備品支給ニ對シテハ備品請求及領收證書

第七條 所要物品ハ物品監守者ノ請求ニ依リ會計主任之ヲ勘査シ校長ノ命令ヲ經テ之ヲ支給スヘシ若シ其ノ必要ヲ認メサルトキハ意見ヲ具シ校長ノ裁決ヲ請フヘシ

第八條 物品ハ凡テ物品監守者又ハ代理者ニ交付シ領收證書ヲ徴スヘシ

第九條 物品ノ購買修理賣却ハ制規ニ依リ之ヲ執行スヘシ

第十條 不用品ハ會計主任之ヲ審査シ使用ニ堪フルモノハ之ヲ保存シ又將來所要ナキモノト認メタルモノハ其處分案ヲ付シ學校長ノ裁決ヲ請フヘシ

第十一條 不用物品若クハ生産製造物品ノ拂下ヲ爲サントスルトキハ會計主任該調書ヲ作り校長ノ裁決ヲ經テ處理スヘシ

拂下物品ノ交付ヲ爲サントスルトキハ代價領收證書(金庫若クハ主任收入官吏ノ領收證書)ヲ檢シ物品領收證書ヲ得ルニアラサレハ何等ノ場合ト雖モ現品ヲ交付スルコトヲ得ス

第三章 帳簿

第十二條 物品出納ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿及用紙ヲ置ク

一 消耗品請求及領收證書用紙

二 備品請求及領收證書用紙

三 備品返付證書用紙

四 消耗品出納簿

五 備品出納簿

六 物品監守簿 但シ圖書監守簿ハ圖書原簿ヲ以テ之ニ充ツ

七 消耗品受拂簿

八 郵便切手受拂簿

九 生産物受拂簿

前項ノ外適宜補助簿ヲ設クルハ妨ケナシ

第十三條 帳簿記入上誤謬シタルトキハ朱ニテ二線ヲ引キ訂正ノ證印ヲ爲スヘシ

第四章 保管及監督

第十四條 受入物品ハ倉庫若クハ適當ノ場所ニ藏置シ物品會計官吏之ヲ保管スヘシ但シ其ノ容積及重量ノ都合ニ依リ一定ノ場所ニ藏置シ難キモノハ相當ノ方法ヲ以テ之ヲ保管スヘシ

第十五條 使用中ノ物品ハ物品監守者之ヲ監守スヘシ

第十六條 物品會計官吏ハ毎年一回以上各監守者ニ就キ使用中ノ物品ヲ查閲シ其ノ狀況ヲ校長ニ上申スヘシ

第十七條 物品監守者ハ毎月一回以上該監守物品ヲ帳簿ニ照合シ點檢スヘシ

第十八條 物品監守者交替ノトキハ前任者及後任者ニ於テ監守簿ニ對照シ物品會計官吏立會ノ上物品ノ受授ヲ爲スヘシ

物品ノ受授ヲ了シタルトキハ監守簿ニ年月日及署名捺印シ其ノ旨校長ニ届出ツヘシ但シ物品監守者病氣其ノ他事故アルトキハ其ノ次席者若クハ特ニ命セラレタル者本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十九條 前條ノ手續ヲ了セサル間ハ物品ノ支給ヲ停止スヘシ

第二十條 備付物品ハ猥リニ他ニ移轉スルコトヲ得ス若シ其ノ移轉ノ必要アルトキハ規定ノ手續ヲ爲スヘシ

但シ授業上又ハ一時ノ必要ニ依リ他ニ移轉ヲ要スル場合ハ此ノ限リニアラス

第廿一條 物品會計官吏保管ノ物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ速ニ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り校長ニ上申スヘシ

第廿二條 使用中ノ物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ物品監守者ハ速ニ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り物品會計官吏ヲ經テ校長ニ上申スヘシ

第廿三條 第廿一條、第廿二條ノ亡失毀損ニ對シテハ會計主任之ヲ調査シ其ノ實況ヲ校長ニ具申スヘシ

第廿四條 物品監守者ニ於テ不用ニ屬シタル物品ハ速ニ之ヲ返付スヘシ

第五章 檢 閱

第廿五條 物品ノ保管、使用並ニ消費ノ適否ヲ檢査セシムル爲物品檢閱委員若干名ヲ置ク

第廿六條 物品檢閱委員ハ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第廿七條 物品檢閱委員ハ學校長ノ命ヲ承ケ檢閱事務ヲ掌理スヘシ

第廿八條 物品檢閱委員ノ檢査スヘキ概要左ノ如シ

一 物品保管ノ適否

一 物品使用ノ適否

一 消耗品消費ノ適否

一 物品毀損ノ有無

第廿九條 檢閱ヲ分チテ定期、臨時ノ二トス

第三十條 定期檢閱ハ毎年七月トシ臨時檢閱ハ臨時之ヲ執行スヘシ

第卅一條 物品檢閱ノ期日ハ學校長ノ決議ヲ經テ豫メ庶務課ヨリ物品會計官吏及物品監守者ニ通牒スヘシ

第卅二條 物品檢閱ノ際ハ在庫品ニ於テハ物品會計官吏、使用物品ニ對シテハ物品監守者其席ニ列

シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘシ

第卅三條 物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認定シタルトキハ監守簿ニ記名捺印シ之ヲ證明スヘシ

但シ監守簿ニ記シ難キ場合ハ監守者ニ證明書ヲ交付スヘシ

第卅四條 物品檢閲上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閲委員ニ於テ當該責任者ヨリ補填ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徵收スヘシ

第卅五條 物品檢閲委員其檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ狀況、物品保管及使用並ニ消耗品消費ノ適否等ニツキ意見ヲ具シ一週間以内ニ學校長ニ申報スヘシ

但シ始末書徵收ノ際ハ該書ヲ添付スヘシ

第六 宿直規程

第一條 本校判任官以下(課長ヲ除ク)一名宛輪番ニ宿直スヘシ

但シ雇員ハ特ニ指名セラレタルモノニ限ル

第二條 宿直時限ハ平日ニ在リテハ當日退廳時限ヨリ翌日出勤時限マテ休日ニ在リテハ當日出勤時限ヨリ翌日出勤時限マテトス

第三條 宿直ハ其ノ前日マテニ庶務課ヨリ本人へ通知シ認印ヲ徵スヘシ

當直者自己ノ都合ニ依リ宿直シ能ハサルトキハ代人ヲ立ツヘシ

第四條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ宿直ヲ免ス

一 出張ノ前日及歸校ノ翌日

二 父母ノ看病及祭典等ニ依リ賜暇中ノモノ

三 缺勤ノモノ

第五條 新任ノ者ハ到着ノ日ヨリ七日ヲ經テ宿直セシム

第六條 宿直室ニ備フヘキ帳簿器具等左ノ如シ

一 御眞影奉護用鍵箱

二 宿直員名簿

三 宿直日誌

四 文書收受簿

五 文書交付簿

六 職員住所録

七 郵便切手受拂簿

八 暗號電信符號

九 狀箱及公文書入

第七條 宿直員ハ退廳時限前ニ於テ主務課ニ就キ前條ニ示ス諸帳簿器具及郵便切手等ヲ受取り翌日主務課又ハ次直者ニ引繼クヘシ

第八條 退廳時限ヨリ出勤時限マテニ到着シタル至急文書及至急發送スヘキ文書ハ宿直員ニ於テ假ニ收受發送ノ手續ヲナシ翌日庶務課ニ引繼クヘシ

第九條 收受シタル公文書中急ヲ要スルモノニシテ學校長宛ノモノハ直チニ學校長ニ送付シ認印ヲ受ケ學校宛ノモノハ宿直員ニ於テ開封ノ上臨機ノ處置ヲナシ翌日庶務課ニ報告スヘシ

但シ本條前項ノ場合ニ於テ學校長不在ノ時ハ庶務課員ニ送付シ認印ヲ受クヘシ
他ノ職員ニ宛テタル至急文書ハ受信者ニ送付スヘシ

第十條 宿直員ハ常ニ火元其ノ他一般ノ取締ニ任スヘシ

第十一條 宿直員ハ門限外及休日ニ於ケル出入ノ職員氏名並ニ其出退ノ時間ヲ日誌ニ記入スヘシ

第十二條 宿直中ニ起リタル事件ハ總テ其ノ顛末ヲ日誌ニ記載スヘシ

第七 生徒訓育商議員會規程

第一條 生徒訓育上學校長ノ諮詢ニ應センカ爲メ商議員ヲ設ク

第二條 商議員會ノ會長ハ學校長之ニ當ル

第三條 商議員ハ教務部長、農學第一部長、農學第二部長、林學部長、獸醫學部長、圖書館長、經濟農場長、演習林長、實驗農場長、林學實習場主事、家畜病院主事及生徒監ヲ以テ之ヲ組織ス
但シ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ商議員以外ノ職員ヲ列席セシムルコトアルヘシ

第四條 商議員會ニ於テ商議スヘキ事項ノ要目左ノ如シ

- 一 生徒訓育ノ目的並ニ方法ニ關スル事項
- 一 生徒ノ賞罰ニ關スル事項 但シ輕微ナルモノヲ除ク
- 一 生徒ノ操行監査ニ關スル事項
- 一 生徒ノ風紀取締ニ關スル事項
- 一 生徒ノ衛生ニ關スル事項
- 一 其ノ他學校長ニ於テ必要ト認メタル事項

第五條 商議員會ノ議案ハ學校長之ヲ發ス

商議員ニ於テ商議員會ノ議ニ付セント欲スル事項アルトキハ隨時之ヲ提出スルヲ得

第六條 商議員會ハ毎月第一木曜日ニ於テ之ヲ開ク

但シ時機ニ依リ之ヲ變更スルコトアルヘシ

學校長ニ於テ必要ト認メタルトキハ臨時會ヲ開クコトアルヘシ

第七條 商議員會ニ幹事一人ヲ置キ庶務課長ヲ以テ之ニ充ツ

第八 學部長教務監掌規程

第一條 部長ハ各學部ノ學科、實驗、實習等ニ關シ整一進歩ヲ謀リ之レカ實施ノ責ニ任ス

第二條 部長ハ每學年ノ初メニ於テ各學年ノ教授要旨ヲ整理シ學校長ニ提出スヘシ

第三條 部長ハ每學年ノ終若クハ學課終了後ニ於テ教授成績ヲ學校長ニ報告スヘシ

第四條 部長ハ教授分擔並ニ時間割等ニ關シ意見アルトキハ學校長ニ開陳スヘシ

第五條 部長ハ生徒出席簿ヲ整理シ每週土曜日教務部ニ報告スヘシ

第六條 部長ハ教授用物品ヲ整理シ購入請求ニ對シ其採否ヲ審査スヘシ

第七條 部長ハ教授上ニ要スル圖書器械、標本、藥品、材料等ニ關スル經費豫算ヲ調製シ毎年十二

月限リ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

第八條 部長ハ部務整理ノタメ學校長ノ許可ヲ受ケ施行細則ヲ設クルコトヲ得

第九條 本規程ニ依ル部長ハ農學第一部、農學第二部、林學部、獸醫學部ノ各部長トス

第九 學校醫職務規程

第一條 學校醫ハ學校長ノ命ヲ受ケ學校衛生ニ關スル職務ニ從事ス

第二條 學校醫ハ隨時學校ヲ視察シ當該事務官又ハ教官ニ衛生上ノ意見ヲ陳示スヘシ

第三條 學校醫ハ生徒ノ疾病ヲ診察治療シ其病症ニ依リ缺課、休學又ハ入院ヲ爲サシムヘキコトヲ

學校長ニ申告スヘシ

第四條 校內ニ傳染病患者アリタルトキハ其情況ニ依リ學校ノ一部若クハ全部ノ閉鎖ヲ學校長ニ申

告スヘシ
第五條 學校醫ハ明治四十五年文部省令第一號學生生徒身體檢查規程ニ依リ生徒ノ身體ヲ檢查スヘ

シ
第六條 學校醫ハ生徒ノ入退學等ニ關シ學校長ノ請求ニ應シ其生徒ノ身體ヲ檢查スヘシ

第七條 學校醫ハ生徒ノ體育ニ注意シ、衛生統計ヲ作り學校長ニ報告スヘシ

第八條 前各條ニ規定セル學校長ヘノ申告ハ總テ生徒課長ヲ經由スルヲ要ス

第十 生徒服制

第一條 生徒ノ制服ハ左ノ如シ

本科 生

帽子

地質 黒絨

前章 金色如圖

眼底 黒革

願紐 黒革 幅四分

横章 黒ノ三線縫込

制式 如圖

衣

地質 黒絨 但シ夏ハ霜降セル

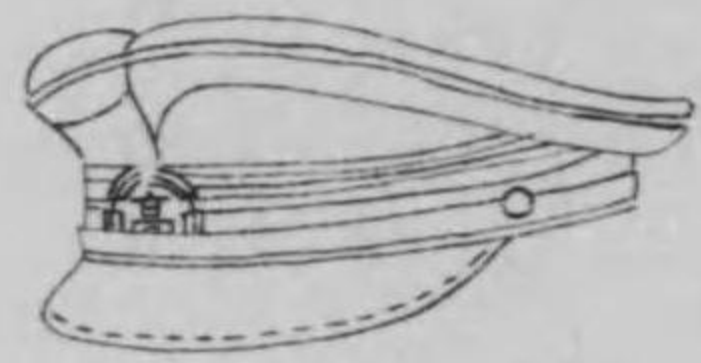
卸 金色如圖

襟章 左襟ニ農學科ハA、林學科ハF、獸醫學科ハV、右襟ニハ第一學年生

ハI、第二學年生ハII、第三學年生ハIIIノ金字ヲ附ス

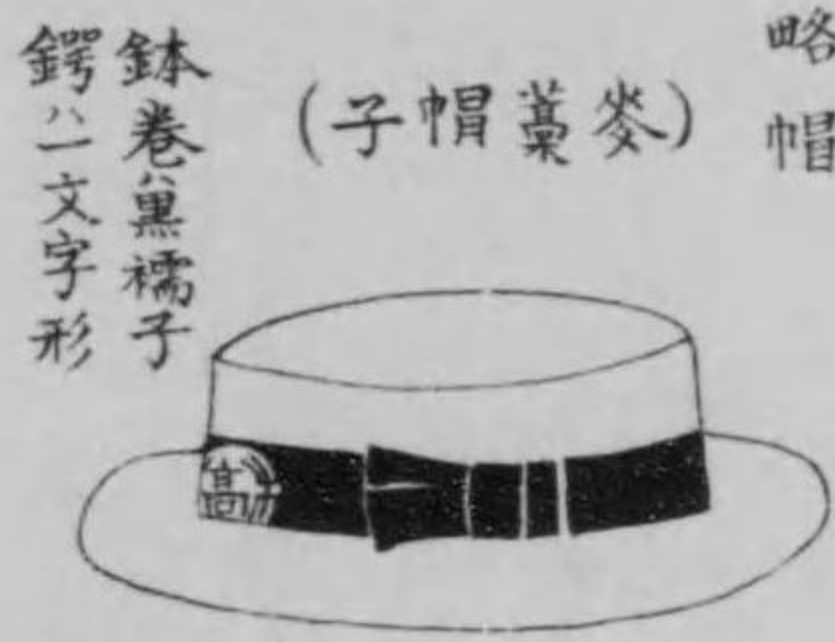
制式 如圖

子帽



略帽

(子帽藁麥)



鉢卷無襷子
鐔ニ文字形

前章 (金色)



選科生 釦 (黒色)



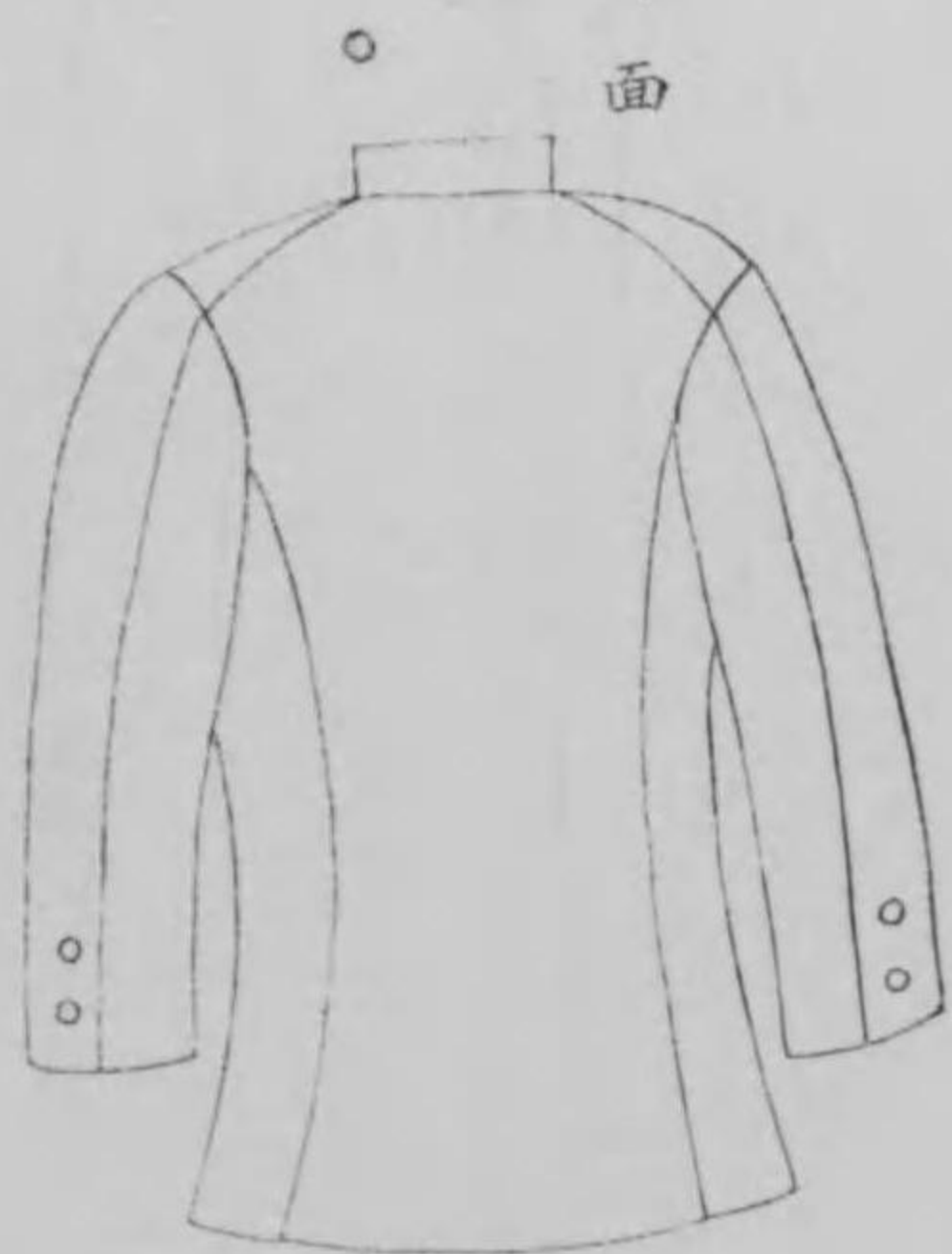
釦 (金色)



衣 前 面



背 面



帽子

地質 黑絨
 前章 金色如圖
 眼底 黑革

選科生

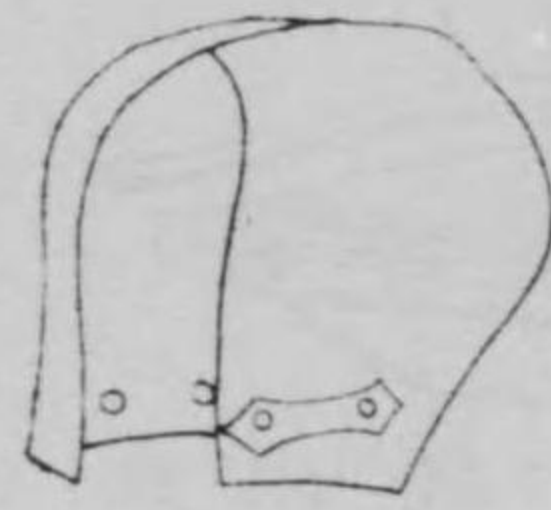
制式 如圖
 卸鈕 隱シ卸
 襟 折襟
 長サ 膝下二寸
 頭巾 短緒付
 地質 黑絨
 但シ裏ハ黑緋子

(袖口卸二個付)

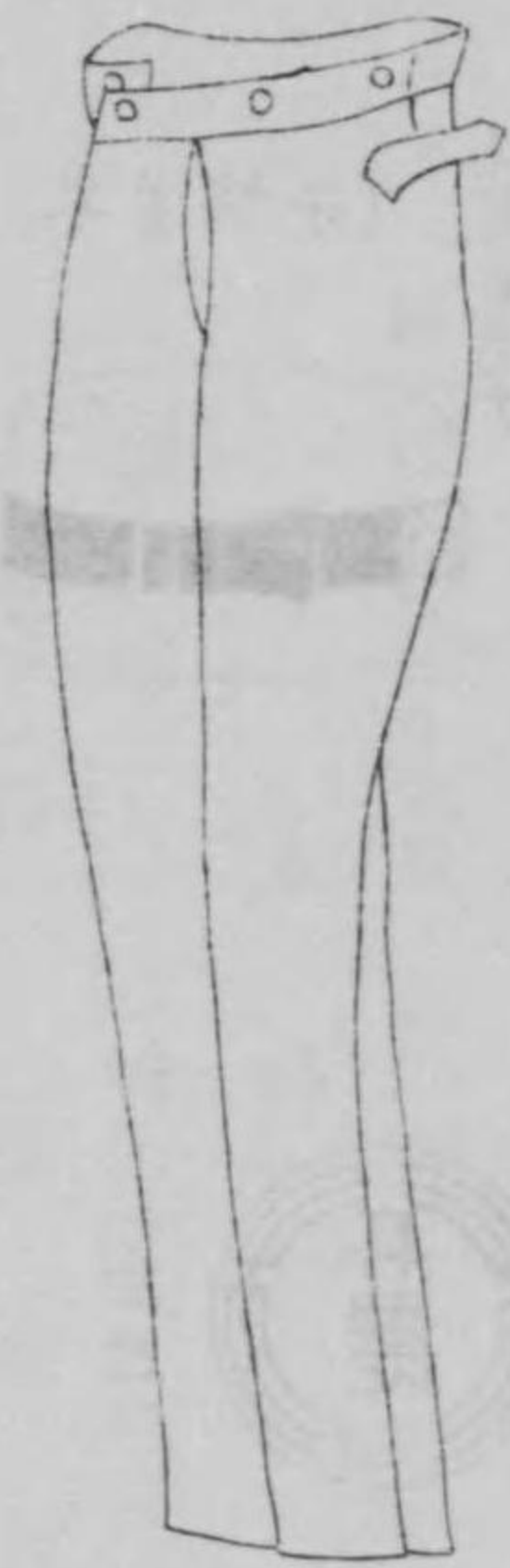
外套

制式 如圖
 地質 衣ニ同シ

袴



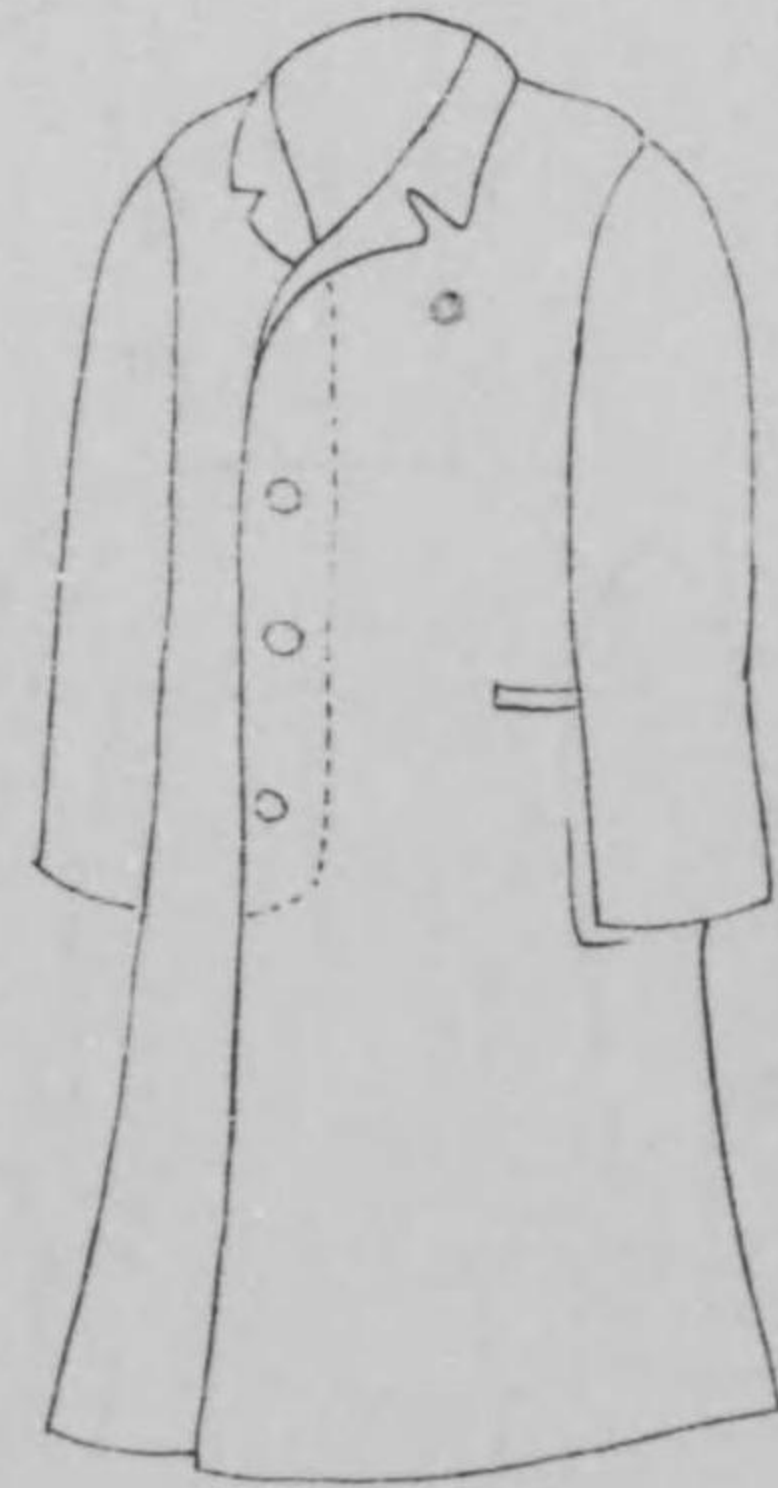
外套ノ頭巾



袴



外套ノ背面



外套ノ前面

願 紐 黑 革 幅四分 釦 白色貝
制 式 如 圖

衣

地 質 黑 絨 但夏ハ霜降セル

釦 黑色如圖

襟 章 左襟ニ農學科ハA、林學科ハF、獸醫科ハVノ金字ヲ附ス

制 式 如 圖

袴

地 質 衣ニ同シ

制 式 如 圖

外 套

地 質 黑 絨

頭 巾 短緒付

長 サ 膝下二寸

襟 折 襟

釦 隱シ釦 (袖口釦二個付)

制 式 如 圖

第二條 制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一 本校ニ出入スルトキ 但シ寄宿舎生ノ舎内ニ在ルトキハ此ノ限リニアラス

二 本校生徒タルヲ表スルトキ

三 其他特ニ本校ヨリ指定セラレタルトキ

第三條 體操、實習、製圖等實地ノ演習ニ就事スルトキハ作業服ヲ着用セシムルコトアルヘシ

第四條 疾病其他ノ事故ニ依リ制服ヲ着用シ難キトキハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 制服ノ着用期間ハ左ノ如シ

但シ場合ニ依リ特ニ服種ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

夏 服 自六月一日 至九月三十日

冬 服 自十月一日 至五月三十一日

第六條 夏服ヲ着用スルトキハ帽子ニ白布ノ日覆ヲ付スヘシ

炎暑ノ際ニハ略帽ニ麥藁帽子(如圖)ヲ着用スルコトヲ得

第七條 新入學生徒ハ五月三十一日迄ニ制服ヲ調製着用スヘシ

第十一 授業料納期

授業料ハ第一期分ハ四月一日ヨリ二十日マテ第二期分ハ九月十一日ヨリ十五日マテ第三期分ハ一月十六日ヨリ二十日マテニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第十二 寄宿料徴收規程

第一條 本校寄宿舎ニ入舎スルモノハ寄宿料ヲ納付スベシ

但特待生ニハ之ヲ徴收セス

第二條 寄宿料ハ一ヶ月金壹圓トス

第三條 寄宿料ハ入舎カ其月十五日迄ナルトキハ壹ヶ月分ヲ徴收シ十六日以後ナルトキ若クハ十五日マテニ閉舎スルトキハ半ヶ月分ヲ徴收ス

但シ一月十五日ニ入舎スルモノニ對シテハ其日ノ寄宿料ヲ免除ス

第四條 寄宿料ハ毎月五日迄ニ納付スヘシ

月ノ半ハニ於テ入舎スルモノハ入舎ノ日ヨリ五日間以内二十日以後ニアリテハ入舎ト同時ニ納付スヘシ

第五條 一旦納付シタル寄宿料ハ半途ニ退舎スルト雖トモ之ヲ返付セス

第六條 寄宿料ヲ定日ニ納付セサル者アルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ本校學則第三章

第二十條ニ準シ處分ス

第十三 生徒心得

第一條 本校生徒タルモノハ教育ニ關スル勅語ノ聖旨ヲ奉體シ須臾モ之ヲ忘ルヘカラス

第二條 本校生徒タルモノハ左ノ事項ヲ服膺恪守スヘシ

第一 忠孝ノ大義ヲ明ニシ立身報國ノ基ヲ建ツヘシ

第二 學業ヲ勵ミ品行ヲ慎ミ以テ智徳ヲ碎礪スヘシ

第三 信義ヲ重シ廉耻ヲ尙ヒ輕佻浮薄ノ行爲アルヘカラス

第四 校則ヲ遵守シ師長ヲ尊敬シ學友ヲ信愛スヘシ

第五 禮讓ヲ重シ威儀ヲ正クシ暴慢放肆ノ舉動アルヘカラス

第六 衣食起居ヲ慎ミ體力ヲ鍊磨シ身心ヲ健全ニスヘシ

第七 質素勤儉ヲ旨トシ華奢遊逸ノ風ヲ避クヘシ

第八 校ノ内外ヲ問ヘス苟モ本校生徒タルノ體面ヲ汚ス如キ言行アルヘカラス

第十四 生徒心得細則

- 第一條 本校生徒心得ヲ服膺シ學校長及職員ノ訓誡ヲ遵守スヘシ
- 第二條 本校職員ニ對シテハ勿論生徒ハ互ニ敬禮ヲ行フヘシ
- 第三條 告示ハ之ヲ揭示シタル日ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ能ク注意スヘシ
- 第四條 校舎内ニ在リテハ高聲ニ誦讀談笑シ或ハ疾走スル等渾テ喧囂ノ行爲アルヘカラス
- 第五條 校内ニ在リテハ所定ノ場所ノ外飲食喫煙又ハ吐唾スヘカラス
- 第六條 疾病又ハ事故ニ依リ缺課スルトキハ其授業時間迄ニ事由ヲ詳記シ届出ツヘシ
- 第七條 疾病ノ爲メ缺課五日以上ニ亘ルトキハ其届書ニ學校醫ノ診斷書ヲ添付スヘシ
但シ止ムヲ得サル場合ニ限リ他ノ醫師ノ診斷書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 第八條 授業時間ニハ遲滞ナク所定ノ場所ニ到リ其席ニ着クヘシ
- 第九條 授業時間中ハ受持教官ノ許可ヲ得スシテ教室實驗室等ニ出入スヘカラス
- 第十條 授業時間外ニ於テハ教官ノ許可ナクシテ教室實驗室等ニ出入スヘカラス
- 第十一條 戸障子ノ開閉並ニ階段ノ昇降ハ靜ニスヘシ
- 第十二條 本校所屬ノ建物物品樹木等ヲ汚染、亡失、毀損スヘカラス

但シ情狀ニヨリテハ之ヲ辨償セシム

- 第十三條 生徒ハ猥リニ金錢物品ノ貸借ヲナスヘカラス
- 第十四條 常ニ衛生ニ注意シ身體衣服等ヲ清潔ニスヘシ
- 第十五條 學友相親ミ時々高尚ナル娛樂ヲナシ、快活ノ氣風ヲ養フヘシ
- 第十六條 諸願届書類ハ總テ學校長ニ宛テ通學生ニ在リテハ組長、寄宿舎生ニアリテハ舎長ヲ經テ生徒監ニ差出スヘシ
- 第十七條 集會又ハ揭示ヲナサントスルトキハ必ス生徒監ヲ經テ學校長ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十八條 新入學生ハ特ニ生徒監ヨリ自宅通學ノ許可ヲ受ケタルモノノ外總テ寄宿舎ニ入ルヲ要ス
- 第十九條 生徒卒業後ハ母校ヲ敬愛シ身分ノ異動等ハ必ス之ヲ庶務課ニ報告スヘシ

第十五 級長規程

- 第一條 各學科各年級ニ級長、副級長各一人ヲ置ク
- 第二條 級長、副級長ハ級ノ統一親和ヲ圖リ、秩序ヲ保チ風紀取締ニ注意スヘシ
- 第三條 級長ハ其級ヲ代表シ命令傳達等ヲ司リ其學級ニ係ル事項ヲ處理スヘシ
- 第四條 副級長ハ級長ヲ補佐シ級長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第五條 級長、副級長ハ毎學年ノ始メニ於テ其級ノ生徒ヲシテ記名投票ニ依リテ撰舉セシム
同點者ヲ出シタルトキハ決撰投票ヲ行フ

第六條 第一學年ノ級長、副級長ハ第一學期間ニ限リ學校長之ヲ指名ス

第七條 級長、副級長ノ撰舉ハ生徒監臨檢ノ上ニアラサレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第八條 級長、副級長ノ撰舉結了シタルトキハ其結果ヲ詳記シタル書類ヲ添付シ生徒監ヨリ其任命
ヲ學校長ニ申請スヘシ

第九條 學校長ニ於テ前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ適任ト認メタルモノニハ辭令ヲ交付シ否ラサル
モノニ對シテハ更ニ撰舉ヲ行ハシム

第十條 現ニ級長又ハ副級長ノ職ニアルモノト雖モ學校長ニ於テ其任ニ適セスト認メタルモノアル
トキハ其任命ヲ取消シ更ニ撰舉ヲ行ハシムルコトアルヘシ

第十一條 級長、副級長ハ所定ノ徽章ヲ制服ノ右襟學年ヲ表示セル數字ノ右ニ之ヲ附スヘシ

第十二條 級長、副級長ノ徽章ヲ定ムルコト左ノ如シ

級長	M	徑四分、金色
副級長	VM	徑四分、金色

第十六 寄宿舍規則

第一條 寄宿舍内ニ舍長二名、副舍長二名、室長若干名ヲ置ク

第二條 舍長ハ生徒監及生徒課員ノ指揮ヲ承ケ其舍内一般ノ風紀取締ニ任シ兼テ命令其他ノ事項ヲ
傳達スルコトヲ掌ル

第三條 副舍長ハ舍長ヲ補佐シ舍長事故アルトキハ其任務ヲ代理ス

第四條 室長ハ其室内掃除整理ノ責ニ任ス

第五條 起床就褥喫飯人員點檢及自修始終ノ時間ハ喇叭其他ノ時間ハ半鐘又ハ擊柝ヲ以テ之ヲ報ス

第六條 起床號報ニテ速ニ寢具ヲ整ヘ盥嗽ヲナシ室内ヲ掃除シ就褥號報ニテ燈火ヲ滅シ就褥スヘシ

第七條 人員點檢ハ臨時ニ之ヲ行フ

第八條 人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ整列シ生徒監又ハ生徒課員ノ點呼ニ應スヘシ

第九條 就褥後ハ談話發聲等安眠ヲ妨害スル所爲アルヘカラス

第十條 燈火及煖爐ノ取扱ニ注意シ危險ノ所爲アルヘカラス

第十一條 舍内ニ談話室ヲ設ケ一定ノ時間ニ於テ其室内ニ出入スルヲ許ス

第十二條 談話室ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 談話室ノ外猥リニ他室ニ往來シ又他ノ自修ニ妨ケアル舉動ヲナスヘカラス

第十四條 食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條 入浴ハ定時間内ニ於テ之ヲナスヘシ若シ定時外入浴ヲ要スル者ハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 疾病ニ罹リタル者アルトキハ本人又ハ室長ヨリ生徒監ニ届出指揮ヲ受クヘシ

第十七條 火災其他非常ノ事變アル場合ニハ生徒協力シテ生徒監及職員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ヲ防止スルコトニ盡力スヘシ

第十八條 外來人ニ面會スルニハ談話室ニ於テシテ決シテ舍内ニ誘引スヘカラス

但シ病氣其他止ムヲ得サル場合ニハ願出テ依リ許可スルコトアルヘシ

第十九條 舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者亡失者判明セザルトキハ舍内又ハ室内ノ一同ヲシテ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十條 談話室外ノ諸室ニ於テ飲食喫煙スヘカラス

但シ疾病ノ爲メ特ニ許可ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス

第廿一條 舍内ニ於テ金錢物品ノ紛失シタルトキハ速ニ生徒監ニ届出ツヘシ

第廿二條 修業上必要ノ書類及物品ノ外ハ生徒監ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帯スルヲ許サス

第廿三條 荷物ヲ門外ニ持チ出サントスルトキハ生徒監ノ許可證ヲ受クヘシ

第廿四條 沐浴及衣服ノ洗滌等ヲ怠ルヘカラス

第廿五條 喫飯及入浴中ハ殊ニ靜肅ニシテ決シテ喧囂ノ舉動アルヘカラス

第廿六條 盥嗽ハ必ス一定ノ場所ニ於テナフヘシ

第廿七條 舍内ニ於テ不潔汚穢ノ所爲ヲナシ又窓ヨリ流動物其他ノ物品ヲ投棄スヘカラス

第廿八條 舍内ノ履物ハ上草履ノ外用フヘカラス

第廿九條 被服書籍其他ノ物品ハ都テ所定ノ場所ニ整頓スヘシ

第三十條 在舍生ハ毎月一回指定ノ日時ニ於テ大掃除ヲナシ押入、窓硝子、棚等總テ清拭シ生徒監ノ検査ヲ受クヘシ

第卅一條 外出時間ハ左ノ如シ

一 平日 放課時限後ヨリ夕食時マテ

一 土曜日 放課後ヨリ午後九時マテ

一 休業日 朝食後ヨリ夕食時マテ

但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第卅二條 臨時外出歸省又ハ外泊セントスル者ハ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第卅三條 外泊許可ヲ得タル者ハ歸校ノトキ宿泊先ヲ證明セル保證人ノ届書ヲ生徒監ニ差出スヘシ

第卅四條 飲課シタル者及疾病ニ罹リタル者ハ其當日ハ外出ヲ許サス

但シ生徒監ノ許可ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス

第卅五條 外出出課等自室ヲ離ル、場合ニハ室内ノ取締特ニ火ノ元ニ注意スヘシ

第卅六條 外出中止ムヲ得サル事故ノ爲メ歸舍時限ニ遅レタルトキハ事實ヲ認め得ヘキ證明書ヲ生徒監ニ差出シ指揮ヲ受クヘシ

徒監ニ差出シ指揮ヲ受クヘシ

第卅七條 外出ノ際ハ自己ノ名札ヲ門衛ニ渡シ置キ歸舍ノ際ハ門衛ヨリ受取り舍内所定ノ場所ニ掲

ケ置クヘシ

第卅八條 起床就褥喫飯自修人員點檢及入浴ノ時間ハ別ニ之ヲ定ム

第卅九條 食料及諸雜費ハ毎月二十五日限リ炊事會計委員ニ支拂フヘシ

但シ中途退學ノ場合ニハ其際支拂フヘシ

第四十條 疾病ニ罹リタルトキハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療セシム

但シ輕病ノ者ハ此限ニ在ラス

第四十一條 病室ニ於テ治療スル者一週間ヲ經ルモ全治セス又ハ重病及傳染病ニ罹リタルトキハ最

寄病院ニ入ラシムルコトアルヘシ

第十七 通學生取締規則

第一條 通學生ハ生徒監ノ認可ヲ得タル宿所ニ寄宿スルモノトス

第二條 通學生ハ四人以上同宿スヘシ

但シ自宅親戚若クハ嚴格ナル家庭ニシテ生徒監ノ適當ト認めタルモノハ此限リニ在ラス

第三條 既定ノ宿所不適當ナリト認めタルトキハ直ニ轉宿セシムルコトアルヘシ

第四條 同宿生ハ互撰ヲ以テ組長ヲ定メ生徒監ニ届出テ認可ヲ受クヘシ

第五條 組長ハ生徒監及生徒課員ノ指揮ヲ承ケ風紀取締ニ任シ兼テ命令其他ノ事項ヲ傳達スルモノ

トス

第六條 組長ハ宿舍日誌ヲ整理シ生徒課員出張ノ際ハ之レカ點檢ヲ受クヘシ

第七條 通學生外出ノ際ハ制服若クハ和服ニ袴ヲ着用スヘシ

但シ帽ハ本校規定ノモノニ限ル

第八條 起床、就褥、自修、外出等ニ關シテハ總テ寄宿舍規則ニ準スヘシ

第九條 通學生ハ本校規定ノ標札ヲ其宿所ニ掲ケ置クヘシ

第十條 本校ノ學籍ヲ脱シタルトキ又ハ休學、停學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ退去セントスルトキハ速ニ標札ヲ生徒課ニ返付スヘシ

第十一條 通學生ハ轉宿、歸省、旅行其他ノ異動ニ際シ總テ組長ヲ經テ願出ツヘシ

第十八 談話室ニ關スル規程

第一條 談話室ハ修學ノ餘暇精神上ノ娛樂ヲ得セシムルヲ以テ目的トス

第二條 談話室ノ定員ハ十五人以内トシ一人ヲ在室時間ハ三十分以内トス

第三條 談話室ノ分室トシテ縦覽室ヲ設ク

第四條 談話室内ニ於テハ茶菓ヲ飲食スルモ妨ナシ

第五條 談話室ヲ開ク時間ハ左ノ如シ

休業日 朝食後ヨリ午後九時ニ至ル

其他ノ日 午後六時ヨリ午後九時ニ至ル

第六條 前條ニ定メタル時間ノ外談話室ニ入ルヲ許サス

第十九 圖書館規則

第一章 總 則

第一條 本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管スル所トス

第二條 本館所藏ノ圖書ヲ別テ左ノ二種トス

第一 貴重圖書

第二 普通圖書

第三條 本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ許サス

第二章 圖書貸付

第四條 公用トシテ圖書ヲ借受クルコトヲ得ルモノハ各學部及各課長トシ部長課長各其責ニ任ス

第五條 公用借受ノ圖書ハ其學科ニ依リ教授上特ニ必要ナル所屬圖書ニ限ル執務上特ニ必要ナルモノ亦同シ

但其借受冊數ヲ制限セス

第六條 前條ノ外圖書ヲ借受クルコトヲ得ルモノハ職員及生徒トシ其借受冊數左ノ如シ

教授 助教授 講師 五冊以内

其他ノ職員 二冊以内

生徒 一冊

但擔任教官ノ證明ヲ經テ圖書館長ノ承諾ヲ得タルモノハ此限ニアラス

第七條 貴重圖書及本館ニ於テ指定シタル圖書ハ一切之ヲ貸出スルコトヲ得ス

第八條 新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ貸付セス

第九條 借受シタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

但公用借受ノ圖書ハ第十六條ノ手續ヲ準用シ各學部ニ於テ更ラニ他ニ貸付スルコトヲ得

第十條 公用ニアラサレハ一部ノ外同一ノ圖書ヲ借受スルコトヲ得ス

第十一條 生徒ニシテ圖書ヲ借受シタルモノハ一週間以内ニ必ス返納スヘシ

但引續キ借受ノ必要アリテ擔任教官ノ證明ヲ得タル者ニハ期間ヲ定メ引續キ貸付スルコトアルヘシ

第十二條 總テ借受シタル圖書ハ夏期及冬期休業前必ス返納スヘシ

但公用借受ノモノハ此限ニアラス

第十三條 夏期及冬期休業中圖書ヲ借受ケントスルトキハ更ラニ借受ノ手續ヲ爲シ生徒ハ特ニ二冊ヲ限リ借受クルコトヲ得

第十四條 夏期及冬期休業中借受シタル圖書ハ夏期ニ於テハ九月十五日マテ冬期ニ於テハ一月二十日マテニ必ス返納スヘシ

第十五條 職員退職轉任ノ際、生徒卒業、退學、休學セントスルトキハ其借受シタル圖書ヲ必ス返納スヘシ

第三章 借受閱覽手續

第十六條 圖書ヲ借受若クハ閱覽セントスル者ハ圖書館ニ就キ定式ノ證書用紙ニ相當記入ヲ爲シ記名捺印ノ上圖書館員ニ之ヲ差出スヘシ

第四章 閱覽

第十七條 本校職員生徒ハ本館所藏ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第十八條 諸官廳學校及公私團體ノ官公吏役員若クハ箇人ニシテ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ本館閱覽室ニ於テ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第十九條 前二條ニ依リ圖書ヲ閱覽セントスルトキハ閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ過クルコトヲ得ス

第二十條 圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ圖書及定期刊行物ハ定メタル別席ニ於テ閱覽シ閱覽シ了レハ直チニ所定ノ棚ニ納メ置クヘシ

第二十一條 貴重圖書ハ閱覽室内ノ特ニ定メタル別席ニ於テ閱覽セシム

第二十二條 閱覽室内ニ於テハ一切音讀談話喫煙等ヲ禁ス

第二十三條 閱覽室ニ出入スル者ハ圖書文房具ノ外他ノ物品ヲ携帯スルヲ許サス

第五章 閱覽時間

第廿四條 本館閱覽室ハ左記ノ日ヲ除クノ外之ヲ開ク

但臨時之ヲ開閉スルコトアルヘシ

一 大祭 祝日

一 開校記念日

一 毎月一日

一 自七月二十一日
至七月三十一日

一 自十二月二十五日
至一月五日

第廿五條 閱覽時間ハ學校長ノ許可ヲ經テ圖書館長之ヲ定ム

第六章 檢索

第廿六條 教官及課長ハ公務上必要ノ場合ニ於テハ書庫内ニ入りテ圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

第廿七條 五人以上同時ニ書庫内ニ入りテ圖書ノ檢索ヲナスコトヲ得ス

第廿八條 書庫内ニ入りテ圖書ヲ檢索セントスル者ハ掛員ヨリ檢索證ヲ受取リタル後書庫ニ入り檢

索シテラハ直チニ庫外ニ出テ檢索證ヲ掛員ニ返付スヘシ

第廿九條 書庫内ニ入り圖書ヲ檢索スルノ際圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ノ障礙ヲナサ、

ル様深ク注意スヘシ

第七章 點檢

第三十條 貸付シタル圖書ハ臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ

第卅一條 點檢ノ際ハ三日以前ニ其旨ヲ通告スヘシ

但公用借受ノ圖書ニ對シテハ本館員出張ノ上點檢スルコトアルヘシ

第八章 制裁

第卅二條 借受シタル圖書ハ借受者其保存ノ責ニ任シ紛失汚損等ノ行爲アリタルトキハ其損害ノ多

少ニヨリ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ修補セシム

但時宜ニ依リ代價ヲ以テ償ハシムルコトアルヘシ

第卅三條 本則ニ違背シタル者アルトキハ其輕重ニ從ヒ一定ノ期間若クハ無期限ニ圖書ノ閱覽及借

受ヲ禁スルコトアルヘシ

第卅四條 除名停學放校ノ處分ヲ受ケタル者ハ直チニ其借受シタル圖書ヲ返納セシメ及閱覽ヲ停止

スヘシ

第卅五條 圖書ヲ辨償セシメ若クハ貸付閱覽ヲ停止スヘキ者アリト認ムルトキハ圖書館長意見ヲ具

シテ學校長ニ稟申スヘシ

第二十 實驗農場規程

第一條 實驗農場ノ事務ヲ普通栽培部、特別栽培部、農舍部トニ分チ各部ニ主任ヲ置キ教官ヲ以テ之ニ充ツ

第二條 主任ハ實驗農場長ノ命ヲ亨ケ各部整理ノ責ニ任シ日誌其他帳簿ノ記載等ヲ掌ル

第三條 普通栽培部ニ於テ處理スル業務左ノ如シ

- 一 水田、桑園、牧草地及普通作物畑ノ整理、作付、肥培、管理、收穫ニ關スル一切ノ事項
- 一 農夫取締ニ關スル事項

第四條 特別栽培部ニ於テ處理スル業務左ノ如シ

- 一 果樹園、蔬菜園、見本園、生徒試作地ノ整理、作付、肥培、管理、收穫ニ關スル一切ノ事項

第五條 農舍部ニ於テハ左ノ業務ヲ處理ス

- 一 家畜ノ繁殖飼養及管理
- 一 畜舎ノ整頓及厩肥ノ堆積
- 一 農産製造ニ關スル一切ノ事項
- 一 農具ノ取締

一 農場建物及其周圍一般ノ整頓

第六條 普通栽培部主任、特別栽培部主任ハ每學年ノ終ニ於テ左ノ事項ニ關スル報告書ヲ作成シ實驗農場長ヲ經テ學校長ニ提出スヘシ

一 該年度間ニ於ケル各作物ノ收穫成績並ニ收支報告

一 次年度ニ於テ作付スヘキ作物種類及面積(圖面添付)

一 次年度ニ於ケル各作物ノ種子並ニ之ニ施スヘキ肥料ノ數量價格

一 次年度ニ於ケル各作物ノ栽培ニ必要ナル人夫並ニ其備人夫賃金

第七條 農舍部主任ハ每年度ノ終ニ於テ左ノ事項ニ關スル報告書ヲ作成シ實驗農場長ヲ經テ學校長ニ提出スヘシ

一 該年度間ニ於ケル事業ノ成績並ニ收支報告

一 次年度ノ計畫ニ關スル報告

第八條 實驗實習ニ關スル事項及生産物處分ニ關スル事項ハ其所屬各部ニ於テ之ヲ行フモノトス

第九條 農學第一部、農學第二部、林學部、獸醫學部ノ部員ニシテ實驗農場ニ於テ實驗セントスル時ハ豫メ各主任ノ認諾ヲ經ルヲ要ス

第十條 實驗農場長ハ每週豫メ其授クヘキ實驗實習ノ豫定表ヲ調製シ前週中ニ學校長ニ提出スヘシ

第二十一 農業傳習生規程

- 第一條 作物、園藝、畜産又ハ農産製造等ニ關スル技術ヲ實地ニ就キ修メント欲スル者ノ爲メニ農業傳習生ヲ置ク
- 第二條 傳習ノ期間ハ一年七ヶ月トシ毎年四月ニ始リ翌年十一月ニ終ル
- 第三條 傳習生ハ實驗農場ニ於テ執業シ掛員ノ指導ニ從フヘシ
但技術ハ實地ニ練習セシメ講義ハ隨時之ヲ課ス
- 第四條 傳習生ヲ許可スヘキ者ハ年齢滿十七歲以上ニシテ品行方正身體健全實地ノ勞働ニ堪エ得ルモノトシ甲種農業學校卒業以上ノ學力ヲ有シ府縣知事、府縣農會長、甲種農業學校長、府縣農事試驗場長又ハ本校教官ノ推薦シタル者タルベシ
- 第五條 傳習生タラント欲スル者ハ願書(第一號書式)ニ履歷書(第二號書式)ヲ添ヘ差出スベシ
- 第六條 傳習生志願者豫定人員數ヲ超過シタル場合其他必要ニ應シ撰拔試驗ヲ行フコトアルヘシ
- 第七條 傳習生ヲ許可セラレタル者ハ第三號書式ノ身元引受証ヲ差出スヘシ
- 第八條 授業料ハ之ヲ徴收セス
- 第九條 傳習生疾病其他事故アリテ執業シ能ハサルトキハ始業時刻前其旨掛員ニ届出ツヘシ

- 第十條 怠惰ニシテ上達ノ見込ナキ者品行不良ノ者又ハ屢々欠課スル者ハ之ヲ除名スヘシ
- 第十一條 傳習滿期ニ至リ其成績良好ナル者ニハ傳習證書ヲ與フ

第一號書式

傳 習 願 書

私儀御校農業傳習生トシテ作物(園藝)(畜産及農産製造)專修致度志望ニ付御許可相成度別紙履歷書相添此段相願候也

年 月 日

原籍地 何府(縣)何郡(市)何村(町)番地族稱(戸主又ハ誰何 男又ハ弟等)

現住所 何府(縣)何郡(市)何村(町)番地何某方

本人 氏

名 氏

生 年 月 日

原籍地 何府(縣)何郡(市)何村(町)番地

現住所 何府(縣)何郡(市)何村(町)番地

本人トノ關係 父、兄等

保證人 氏

生年月日 名

盛岡高等農林學校長 何 某殿

第二號書式

履 歷 書

原籍地 何府(縣)何郡(市)何村(町)番地

氏

名(右方ニ片假名ニテ訓方ヲ付スヘシ)

生年月日

學 業

- 一 何年何月ヨリ何年何月迄何地何學校ニ入り又ハ何某ニ就キ何學修業
 - 一 何年何月何日何學校ニ於テ何課程卒業
 - 一 何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定合格證ヲ受ク
- 兵 役、職 業
- 一 何年何月何隊ニ入隊、何年何月滿期退營又ハ何ノ爲除隊、現在ノ役種官等等

一 何年何月何々ニ任命又ハ何職ニ從事等

賞 罰

- 一 何年何月何日何處ニ於テ何賞罰ヲ受ク
- 右之通相違無之候也

年 月 日

氏

名

第三號書式

參 錢 紙 印

身 元 引 受 證

姓

名

右何某ハ拙者ノ(身分續柄)ニシテ御校農業傳習生修業中本人ニ係ル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引受可申候

年 月 日

原 籍 地

現 住 所

職 業

姓

名

盛岡高等農林學校長 氏 名 殿

前書何某ハ當部内ニ居住スル成年以上ノ戸主ニシテ身元確實ノモノナルコトヲ證明ス

年 月 日

市、區、町、村 長

何

某 團

第二十二 養蠶室規則

- 第一條 養蠶中ハ特ニ火元ニ注意シ室内ノ爐火ハ勿論夜間就業中蠟燭ヲ點スルトキハ一層注意周到ナルヲ要ス
- 第二條 飼育室内ニ在リテハ石炭油ヲ用ユルコトヲ禁ス
- 第三條 各室ニ室長及副室長ヲ置キ室内一切ノ整理ヲ爲サシム
- 第四條 室長及副室長ハ各室生徒間ノ撰擧ニ依リ主任教官之ヲ命ス
- 第五條 室内ニ在リテハ勉メテ靜肅ヲ守リ高聲奔走等ハ勿論苟モ喧騒ノ舉動アルヘカラス
- 第六條 室内ニ主任教官ノ許可ナクシテ濫リニ他人ヲ誘ヒ入ルベカラス
- 第七條 室内備付ノ器具ヲ使用シ終ラハ必ス所定ノ場所ニ整頓シ置クヘシ
- 第八條 土足又ハ靴ノ儘ニテ室内ニ入ルヘカラス必ス備付ケノ草履ヲ穿ツヘシ

第九條 休眠ハ階上ニ在ル生徒宿直室内ニ於テ爲スヘシ

第二十三 養蠶實習規程

- 第一條 農學科第一部第二學年生ニハ專ラ蠶兒飼育ノ實習ヲ課シ消毒、催青、摘桑、飼育、殺蛹、製種等ヲ爲サシム
- 第二條 農學科第一部第三學年生ニハ試驗育ヲ爲サシム
- 第三條 農學科第一部第二學年生ニハ三齡以後飼育期間ハ他ノ學科ヲ課セザルコトアルヘシ
- 第四條 飼育日誌ハ日々綿密ニ記載シ時々係官ノ閱覽ヲ受クルモノトス
- 第五條 毎日始業時間十分前ニ各自擔當ノ蠶室ニ入り其準備ヲ爲スヘシ
- 第六條 養蠶實習ニ關シテハ主任教官及實習教官ノ指揮命令ニ從フヘシ

第二十四 蠶種配布規程

- 第一條 本校ニ於テ製造スル蠶種ハ原種トシテ希望者ニ之ヲ配付ス
- 第二條 蠶種ハ框製トシ蠶糸業法並ニ蠶絲業法施行規則ノ定ムル所ニヨリ検査ヲ行ヒタルモノトス
- 第三條 蠶種ノ配付ヲ受ケントスル者ハ毎年九月十日マテニ名稱及蛾數ヲ明記シタル書面ヲ以テ願

出ツヘシ

第四條 蠶種ノ配付ヲ受ケントスル者ハ實費トシテ一蛾ニ付金貳錢ノ割合ヲ以テ納付スヘシ
但シ學校、講習所、其ノ他學術上研究ノ爲メ配付ヲ受クル者ハ此限リニアラス

第五條 蠶種ノ配當ハ願出ノ順序ニ依リ之ヲ定メ十二月三十一日迄ニ發送スヘシ

第二十五 家畜病院規則

第一條 本院ノ診察時限ハ休日ヲ除キ毎日午前八時ヨリ午後三時迄トス
但臨時急病ハ此ノ限リニアラス

第二條 患者ノ治療ヲ受ケントスル者ハ畜名及畜主ノ住所氏名ヲ申出ツヘシ

第三條 患者ノ入院治療ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ入院願書ヲ差出スヘシ

第四條 本院ニ於テ患者ノ入院ヲ承諾シタルトキハ第二號書式ノ入院證ヲ交附スヘシ

第五條 患者入院中避クヘカラサル災害若クハ施術中死傷又ハ狂奔スルモ本院ハ其辨償ノ責ニ任セ
ス

第六條 入院中ノ患者全治又ハ斃死シタルトキハ其旨畜主又ハ保證人ニ通知スヘシ

第七條 畜主又ハ保證人ニ於テ患者全治ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ入院證ヲ返付シ家畜ヲ引取ル

ヘシ

第八條 畜主又ハ保證人ニ於テ患者斃死ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ其屍體ヲ引取ルヘシ若シ二十四時間以内ニ之ヲ引取ラサルトキハ本院ニ於テ之ヲ處分ス其處分ニ付畜主ハ異議ノ申立ヲ爲スコ
トヲ得ス

第九條 患者ノ屍體學術實驗上特ニ必要アリト認メタルトキハ畜主又ハ保證人ノ承諾ヲ得テ之ヲ解剖スルコトアルヘシ

第十條 入院料、施術料、藥價、皮下注射料、灌腸料及處方料ハ別ニ之ヲ定ム

第十一條 病症ニヨリ特別ノ費用ヲ要スルトキハ畜主之ヲ負擔スヘシ

第十二條 學術實驗上特ニ必要ノ患者ニ限り治療費ノ全部若クハ幾部ヲ免除スルコトアルヘシ

第十三條 本院ハ往診ノ依頼ニ應スルコトアルヘシ

但往診ニ要スル實費ハ畜主之ヲ負擔スヘシ

第十四條 入院料ハ十日毎ニ又半途退院若クハ斃死等ノ場合ニハ其際之ヲ納付スベシ

但當日休日ナルトキハ繰下トス

第十五條 畜主ニ於テ患者入院中ニ要スル飼養料ヲ持參セントスル者ハ前以テ其旨願出テ許可ヲ受
クヘシ

但此場合ニ於テハ藥價ノミヲ徵收ス

附 則

第十六條 本院ハ裝鐵ノ依頼ニ應ス

但其費用ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條 裝鐵ヲ依頼セントスル者ハ休日ヲ除キ毎日午前八時ヨリ正午マテニ申出ツヘシ

第十八條 裝鐵中避クヘカラサル災害若クハ死傷又ハ狂奔スルモ本院ハ其辨償ノ責ニ任セス

第一號書式

入院願書

一 患畜名

右今般御院ニ入院治療相願候ニ就テハ御院ノ規則並ニ御命令等遵守可致ハ勿論萬一畜主ニ於テ入院料等ノ納付ヲ怠ルトキハ保證人ニ於テ一切相引受速ニ處辨可仕候仍テ保證人連署ノ上此段相願候也

年 月 日

畜主 氏 名
住 所

保證人 氏 名 印

盛岡高等農林學校家畜病院 御 中

(保證人ハ岩手縣盛岡市内居住者ニシテ一家計ヲ立ツル者ニ限ル)

第二號書式

第 號

入 院 證

畜 主

患 畜 名
附 屬 品

一 此證券ハ患畜入院ノ證トシテ交附ス退院ノ節ハ之ヲ返付シテ家畜ヲ引取ルヘシ

一 此證券ヲ紛失シタルトキハ速ニ其事由ヲ届出テ更ニ證券ヲ申受クヘシ

一 此證券ヲ持參セサルトキ又ハ入院料ヲ皆納セサルトキハ家畜ヲ引取ルコトヲ得ス

一 入院料ハ一日トス
但特別ノ費用ヲ要スルトキハ別ニ其費用ヲ徵收ス

大正 年 月 日

盛岡高等農林學校家畜病院

第二十六 牛馬預托規則

- 第一條 本校ニ於テ飼養スル牛馬ヲ預托セシムルトキハ此規則ニ依ル
但シ羊豚モ此規則ヲ準用スルコトヲ得
- 第二條 受托人ハ牛馬ノ飼養ニ熟達シ身元確實ナルモノニ限ル
受托人ハ身元確實ナル保證人ヲ要ス
- 第三條 牛馬預托期間及飼養料ハ本校ニ於テ之ヲ定ム
但シ行使ヲ許シタルトキハ飼養料ヲ給セサルコトアルヘシ
- 第四條 牛馬預托飼養料ハ牛馬返納ノ後交付ス
但シ時宜ニ依リ數回ニ交付スルコトアルヘシ
- 第五條 牛馬預托中疾病負傷ノ爲メ治療ヲ要シタルトキハ本校ハ其實費ヲ仕拂フ
但其原因故意若クハ受托人ノ不注意ニ出ツルモノハ此限ニアラス
- 第六條 牛馬預托中受托人ハ左ノ各項ヲ確守スルモノトス
- 一 常ニ衛生ニ注意シ飼料ヲ選ミ誠實ニ管理飼養スルコト
 - 二 適當ノ運動ヲナサシムルノ外使役セサルコト

但第三條但書ノ場合ハ此限リニアラス

- 三 疾病ニ罹リ又ハ負傷シタルトキハ速ニ獸醫ノ治療ヲ受ケシメ同時ニ本校ニ急報スルコト
 - 四 傳染病發生シ若クハ蔓延ノ兆アルトキハ速ニ適當ノ所置ヲ爲スコト
 - 五 斃死流産等ノ場合ニ於テハ其狀況ヲ詳記シ診斷書及證明書類ヲ添ヘ速ニ本校ニ届出テ指揮ヲ受クルコト
 - 六 預托牛馬逸走シ又ハ盜奪セラレタルトキハ直ニ最寄警察署警察分署若クハ巡查駐在所ニ届出テ同時ニ本校ニ急報スルコト
 - 七 前項ノ外本校ヨリ特ニ指定シタル事項ヲ遵守スルコト
- 第七條 本校ハ隨時ニ預托牛馬ノ検査ヲ行フ
- 第八條 預托中ト雖モ本校ノ便宜ニ依ルカ若クハ受托人ニ於テ此規則ヲ遵守セザル行爲アリト認ムルトキハ何時タリトモ預托ノ牛馬ヲ返納セシム
- 第九條 第六條第五項第六項ノ場合ニ於テ損失ノ原因受托人ノ故意又ハ不注意ニ出タルモノト認ムルトキハ相當ノ代價ヲ辨償セシム
- 第十條 受托人牛馬受取ノ際ハ左記書式ノ預證ヲ差出スヘシ

一號書式

種類毛色牝牡年齡 預 證

一 種類毛色牝牡年齡

何 頭

一 預托飼養期間

自大正 年 月 日 何 日 間
至大正 年 月 日

一 預托飼養方法

何 々

一 預托飼養料

金 何 程

右者御校牛馬預托規則承諾ノ上正ニ預リ候也

年 月 日

族 籍 住 所

受 托 人

氏 名 印

族 籍 住 所

保 證 人

氏 名 印

盛岡高等農林學校長宛

前書受托人何某ハ當(區町村)内ニ住シ土地(家屋)ヲ所有スルモノニ相違無之候也

年 月 日

縣郡市町村長 氏 名 印

前書保證人何某(以下同上)

二號書式

預 證

一 種類毛色牝牡年齡

何 頭

一 預托飼養期間

自大正 年 月 日 何 日 間
至大正 年 月 日

一 預托飼養方法

何 々

一 預托牛馬行使ノ範圍

何 々

右者御校牛馬預托規則承諾ノ上正ニ預リ候也

年 月 日

族 籍 住 所

受 托 人

氏 名 印

族 籍 住 所

保 證 人

氏 名 印

盛岡高等農林學校長宛

前書受托人某ハ當(區町村)内ニ住シ土地(家屋)ヲ所有スルモノニ相違無之候也

年 月 日

縣郡市町村長 氏 名 印

前書保證人何某(以下同上)

第二十七 演習林極印使用規則

- 第一條 演習林ノ立木又ハ木材ノ検査及引渡等ニ用ユル極印ハ第一號第二號及第三號離形ノ通相定メ本規則ニヨリ使用スルモノトス
- 第二條 第一號査印ハ立木又ハ木材ノ賣渡讓與ヲナスニ當リ豫メ其検査ヲ爲シ若クハ之カ伐跡検査ヲ爲シタルトキ其證トシテ之ヲ打印ス
- 第三條 第二號農林印ハ立木又ハ木材ノ賣渡讓與ヲ爲シタルトキ其證トシテ之ヲ打印ス
- 第四條 第三號改印ハ盜、誤伐木、境界木其他區域ヲ定メ拂下ケタル林野中存置ヲ要スヘキ立木及其境木等總テ收得存置ノ證トシテ之ヲ打印ス
- 第五條 豫メ検査ヲナストキハ樹幹目通ニ査印根株ニ改印ヲ打印シ引渡ノトキハ樹幹ニ農林印ヲ打印シ伐採検査ノ時ハ其伐跡断面ニ査印ヲ打印シ根株拂下ノ時ハ伐跡ニ農林印ヲ打印スヘシ
- 第六條 演習林監守者ハ極印ヲ摘宜封印シ嚴重ニ保管スヘシ
- 附則 極印ヲ使用シタルトキハ其箇所立木又ハ木材ノ本數等ヲ演習林長ニ報告スヘシ

第一號

第二號

第三號



第二十八 煖爐ニ關スル規程

第一章 教 舍

- 第一條 左ノ諸室ハ出勤時間三十分前ニ煖爐ヲ焚キ始ムヘシ
事務官室、教官室、通學生控室、講堂、教室
- 第二條 前條以外ノ諸室ハ別ニ指定スル時刻ニ煖爐ヲ焚クヘシ
- 第三條 講堂及教室ハ課業ナキニ至レハ煖爐ノ火ヲ滅スヘシ
- 第四條 第一條ノ(講堂及教室ヲ除ク)退出後直ニ煖爐ノ火ヲ滅スヘシ

第五條 煖爐ヲ焚ク間ハ守衛及守衛補ハ午後七時ヨリ翌日午前五時ニ至ルマデ一時間毎ニ本校並ニ寄宿舎ヲ見廻リ火ノ元ヲ警戒スヘシ

第六條 守衛ハ各室煖爐ノ火ヲ滅シタルトキハ之ガ検査ヲ爲シ検査後一時間ヲ經テ更ニ再検査ヲナスヘシ

第二章 寄宿舎

第七條 寄宿舎内ノ諸室ハ毎朝起床ノ時刻ニ至レハ煖爐ヲ焚キ始ムベシ

第八條 消燈時刻ニ至レハ各室煖爐ノ火ヲ滅スヘシ

第九條 生徒課、病室、談話室ノ煖爐ヲ焚ク時刻ハ當直生徒課員ノ指定スル所ニ據ル

第十條 舎内ニ於テ煖爐ヲ焚ク間ハ當直小使ハ一時間毎ニ各室ヲ見廻ハリ火ノ元ヲ警戒スヘシ

第十一條 當直生徒課員ハ毎日少クトモ二回以上見廻リ消燈後煖爐ノ火ヲ滅シタルトキハ之カ検査ヲ爲スヘシ

第十二條 小使、守衛及守衛補消燈後一時間毎ニ寄宿舎内各室ヲ巡視シ異狀アルトキハ之ヲ當直生徒課員ニ申告スヘシ

第三章 雜則

第十三條 煖爐ヲ焚キ又ハ其火ヲ滅スルハ小使ヲシテ之ヲ爲サシムヘシ

第十四條 煖爐煙筒ノ掃除ハ每週一回以上之ヲ行フモノトス

第十五條 煖爐並煙筒ニ異狀アルヲ認ムルトキハ燃料ノ投入ヲ止メ直チニ會計課又ハ當直員若クハ守衛ニ告知スヘシ

第二十九 非常手配現程

第一條 本校失火若クハ近火等事變ノ節ハ守衛又ハ小使其他之ヲ知リタル者ヨリ執務時間内ハ庶務課會計課及生徒課ニ其他ハ當直員ニ急報スヘシ

第二條 庶務課會計課生徒課及當直員ニ於テ前條ノ報ニ接シタルトキハ直チニ手後レナキ様相當ノ手配ヲ爲シ特ニ 御眞影並ニ 勅語ノ保安ニ留意スヘシ

但當直員ニアリテハ同時ニ急使ヲ以テ學校長課長主事及生徒課員ニ報知スヘシ

第三條 事變ノ節多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニ於テハ前條職員ハ守衛補ヲシテ火災ハ火災號音ヲ其他ノ事變ハ集合ノ號音ヲ吹奏セシムヘシ

第四條 前條信號ヲ報シタルトキハ職員以下諸備人ニ至ルマテ各自常詰所ニ在リテ上官ノ指揮ヲ受クヘシ

生徒ハ第二寄宿舎北方道路上ニ集合シ生徒課員ノ指揮ヲ受クヘシ

但寄宿舎失火ノ際ハ生徒課員ニ於テ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

第五條 非常手配ヲ分テテ左ノ三掛トシ非常事變ノ節夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

- 一 警戒掛
- 二 防火掛
- 三 運搬掛

第六條 警戒掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

- 一 表裏門共直ニ之ヲ閉鎖シ出入者アルトキハ小脇門ヲ閉閉スヘシ
但馬車唧筒等通行ノ節ハ本門ヲ開閉スヘシ
- 二 一名宛各門ノ内側ニ立チ嚴重ニ出入ヲ監視シ本校其他諸官衙ノ職員及警官消防夫並ニ本校諸
傭人若シクハ出入ノ諸商人職工等ノ外ハ通門ヲ禁止スヘシ
- 三 始終校内ヲ巡邏シテ盜賊等ヲ戒ムヘシ
- 四 表立關ニ見張シテ出入ヲ監視シ且駈付人氏名等ヲ書留メ置クヘシ
- 五 校内ヲ巡廻シ窓ノ外戸ヲ閉チ風孔ヲ塞キ倉庫ハ目塗ノ用意ヲナシ物品運搬濟ノ上又ハ其運搬
ヲ待タヌ直ニ入口非常戸ヲ締切ル等適宜ノ手配ヲナスヘシ
- 六 夜中ニアリテハ當直員ノ指揮ヲ受ケ表門及表立關等ニ高張提灯ヲ點シ其他所要ニ點燈シ又各

所入口開扉ノ用意ヲ爲スヘシ

七 爰炬點燈其他一般火氣ノ存スル所ニハ特ニ警戒ヲ加ヘ其必要ト認メタルモノノ外ハ總テ消滅
スヘシ

第七條 防火掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

- 一 校内失火ノ節ハ直ニ備付ノ唧筒及消火器ヲ使用シ專ラ消防ヲ爲スヘシ
- 二 近火ノ節ハ適宜ノ場所ニ唧筒ヲ引キ出シ防禦ノ用意ヲ爲シ若シ延燒ノ虞アルトキハ水ヲ建物
ニ注キ充分ノ豫防ヲ爲スヘシ

第八條 運搬掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

- 一 校内失火シテ消止メ難キカ或ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ校内書類圖書其他ノ
物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スヘシ
- 二 物品ヲ運搬スルニハ火元最寄ノ個所ヨリ始メ且貴重品及書類ヨリ先ニシ次ニ圖書其他一般ノ
物品ニ及フヘシ
- 三 物品ヲ運搬スルニハ先以テ倉庫ニ入ルルハ勿論ナリト雖モ倉庫ニ入ルルヲ得サルトキハ延燒
ノ虞ナキ場所ニ運フヘシ但何シモ監視者ヲ附シテ嚴重ニ取締ヲ爲スヘシ

第九條 校長室危險ノ虞アル場合ニハ當直員ニ於テ先ツ 御眞影並ニ 勅語ヲ構内安全ノ場所ニ奉

遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第十條 非常手配掛員ハ別ニ指定ス但掛員駆付サル間ハ在校者ニ於テ上官ノ指揮ヲ受ケ夫々手配ニ從事スヘシ

第十一條 左ノ非常用具ハ各掛員ニ於テ夫々整頓シ唧筒消火器其他ハ時々之ヲ使用シテ其具合ヲ試ミ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

- (一) 唧筒
- (二) 消火器
- (三) 玄蕃桶
- (四) 鳶口
- (五) 梯子
- (六) 運搬用擔架及ズツク袋
- (七) 高張提灯
- (八) 蠟燭及摺付木

第十二條 倉庫ノ入口及窓ノ非常戸等ハ掛員ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミテ其完備ヲ計リ目塗用土ハ常ニ所定ノ場所ニ整頓シ臨時使用ニ差支ナキ様注意スヘシ

第十三條 隔月一回寄宿舍生徒ヲシテ唧筒使用ノ演習ヲ爲サシムヘシ但本文演習ノ外第三條ノ信號ヲ報シ臨時ニ演習セシムルコトアルヘシ

第十四條 事變ノ際ニ於ケル寄宿舍生徒ノ部署ヲ定ムルコト左ノ如シ但生徒課員ヲ以テ各其指揮者トス

一 警戒手配

各學科第三學年生徒

二 防火手配

第一號唧筒

農學科第一學年生徒

第二號唧筒

林學科第一學年生徒

消火器及手唧筒

獸醫學科第一學年生徒

三 運搬手配

各學科第二學年生徒

第十五條 事變ニ際シ駆付タル通學生徒ハ生徒課員ノ指揮ニ從ヒ部署ニ就クヘシ

第三十 守衛及守衛補職務規程

第一條 本校ニ守衛及守衛補若干名ヲ置ク

第二條 守衛ハ會計課ニ屬シ守衛補以下ノ傭人ヲ監督シ校舍内外ノ取締ヲ掌ル

第三條 守衛補ハ守衛ノ職務ヲ補佐シ兼テ時刻ヲ報スルコトヲ掌ル

第四條 毎朝出勤シタルトキハ會計課ニ備ヘタル出勤簿ニ捺印スヘシ

第五條 病氣等ニテ出勤シ難キモノハ出勤時刻迄ニ學校長宛欠勤届ヲ會計課ニ差出スヘシ
但病氣欠勤三日以上ニ亘ルトキハ病名ヲ記入シ尙一週間以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付ス
ヘシ

第六條 守衛及守衛補ハ規定セラレタル時刻ニ構内ヲ巡視シ異狀アリタルトキハ總テ日誌ニ記錄シ
事ノ急ヲ要スルモノハ直ニ宿直員又ハ會計課ニ申告スヘシ

第七條 構内ニ於テ遺失物ヲ發見シタルトキハ塲所時刻等ヲ明記シ現品ヲ會計課ニ差出スヘシ

第八條 非常手配規程煖炉取締規程等ハ常ニ之ヲ服膺シ取締上遺憾ナキニ注意スヘシ

第九條 非常若シクハ近火ノ際ハ非番守衛以下ハ直ニ出校スヘシ

第十條 日曜及祭日ヲ除キ毎日午前七時ニ本門ヲ開キ午後五時之ヲ閉ツヘシ

但學校長退出セサルトキハ其退出ヲ待チ之ヲ閉ツヘシ

第十一條 本校職員並ニ外來人ニ對シテハ丁寧親切ニ應待シ無禮ノ舉動アルヘカラス

第十二條 外來人ニシテ胡亂ナリト認ムル者ハ通門ヲ拒絕スヘシ

第十三條 本校ヨリ搬出スル物品ニシテ出門証ナキモノハ通過セシムヘカラス

但職員ノ携帶品ハ此限ニアラス

第十四條 第六條ノ巡視時刻ハ會計課ノ指示ニ從フヘシ

第三十一 給仕心得

第一條 給仕ハ會計課ニ屬シ同課ノ指揮ヲ受ケテ勤務スルモノトス

第二條 給仕ハ學校長及事務部職員ニ招呼セラレタルトキハ速ニ之ニ應ジ其使命ヲ奉スヘシ

第三條 給仕ハ文書等送達ニ際シ之ヲ披閱スル等ノ所爲アルヘカラス

第四條 給仕ハ其職務ノ爲メニアラサレハ濫リニ其席ヲ離ルヘカラス

第五條 給仕ハ常ニ行儀作法ヲ正クシ本校職員ハ勿論外來人ニ對シテハ丁寧ヲ旨トシ決シテ無禮ノ
行爲アルヘカラス

第六條 命セラレタル事ハ速ニ之ヲ辨シ途中又ハ使先キニ於テ時間ヲ空費スヘカラス

第七條 書類及器具類ハ丁寧ニ取扱ヒ汚損、破壊若クハ紛失セサル様注意スヘシ

第八條 御用ナキトキハ讀書、算術、習字等ヲ練習スヘシ

第三十二 守衛其他制服貸與規程

第一條 守衛、守衛補、給仕、小使ヲ命シタルモノニハ規定ノ制服ヲ貸與ス

但給仕ニハ外套ヲ省キ小使ニハ法被及股引ノミヲ貸與ス

第二條 貸與品ノ保存年限左ノ如シ

外 套	三ヶ年
守衛衣、袴	二ヶ年
帽	二ヶ年
守衛補及給仕衣、袴	一ヶ年
法被、股引	一ヶ年

第三條 外套、帽及冬衣袴、冬法被股引ハ其年十月夏衣袴、夏法被股引ハ其年六月ニ貸與ス
新ニ備入シタルモノノ貸與期ハ前項ノ限リニアラス

第四條 靴ハ一ヶ月參拾錢ノ割ヲ以テ毎年三月九月ノ二期ニ支給ス

支給期前ニ解備シタルトキハ其時之ヲ支給ス

第五條 解備ノ場合ニハ保存年限ヲ經過セサル貸與品ハ都テ之ヲ返納セシム

第三十二 小使服務心得

第一條 小使ハ會計課ノ指揮監督ヲ受ケ本校内外ノ雜役ニ從事スヘシ

第二條 出勤時間ハ午前七時ヨリ午後五時マテトス

但時宜ニヨリ時間ヲ變更スルコトアルヘシ

第三條 登校ノ際ハ出勤簿ニ捺印スヘシ

第四條 病氣其他ノ事故ニ因リ出勤シ能ハサルトキハ登校時限前其旨ヲ届出ツヘシ

第五條 休業日ニシテ特別ノ校用ナキトキニ限り宿直者ノ外便宜休暇スルコトヲ得

第六條 小使ハ交代ヲ以テ宿直勤務スヘシ

第七條 小使勤務中ハ必ス制服ヲ着用スヘシ

第八條 各室掃除ノ際遺失品若クハ散亂シタル書類ヲ見出シタルトキハ宿直員ニ届出ツヘシ

第九條 建築物、器具、機械等ハ勿論火ノ取扱ヲ最モ鄭重ニスヘシ

第三十四 定農夫服務規程

第一條 定農夫ハ勿論臨時傭農夫ハ一般農業勞役者ノ模範トナリ苟モ本校ノ體面ヲ汚ス所爲アル可
カラス

第二條 定農夫中ヨリ定農夫長一名ヲ置ク

定農夫長ハ實驗農場員ノ指揮ニ從ヒ定農夫及臨時農夫ヲ監督シ兼テ農場全般ノ取締ニ任スルモノ
トス

第三條 定農夫ハ實驗農場員ノ指揮ニ從ヒ農場ノ業務ニ服役スルモノトス

第四條 定農夫ハ服務時間中安リニ校内ヲ離レ又ハ服役時間後ト雖モ許可ナクシテ退場スルコトヲ

得ス

第五條 定農夫ハ日々出勤簿ニ捺印スルモノトス但欲勤ノ場合ニハ始業前ニ口頭又ハ書面ヲ以テ其旨實驗農場員ニ届出ツヘシ

第六條 定農夫ハ終業後一名ツツ交番ニ宿直シ農場畜舎並ニ農舎ノ監視ヲナスモノトス

第七條 定農夫ハ宿直中ノ狀況ヲ翌朝實驗農場員ニ報告スヘシ

第八條 定農夫ハ宿直中ニ事故生シタルトキハ直ニ之ヲ實驗農場員ニ報告シ指揮ヲ受ク可シ

但事ノ急速ヲ要スル場合ニハ相當ノ處置ヲ施シ後實驗農場員ニ報告スヘシ

第九條 定農夫ノ服務時間ヲ定ムルコト左ノ如シ

月	日	出勤並退場時間	休憩時間
自三年一月三十一日	至五月三十一日	出勤 午前七時三十分 退場 午後五時三十分	午前午後三十分ツツ 晝食時一時間
自六月三十一日	至八月三十一日	出勤 午前七時 退場 午後六時	午前午後三十分ツツ 晝食時一時間
自九月三十一日	至十一月三十一日	出勤 午前七時三十分 退場 午後五時三十分	午前午後三十分ツツ 晝食時一時間
自十二月二十八日	至一月二十八日	出勤 午前八時 退場 午後四時	午前三十分

第十條 園丁及林夫ハ本規程ニ準シ服務スルモノトス

第三十五 牧夫服務規程

第一條 牧夫ハ獸醫學部職員ノ指揮ニ從ヒ當該學部ノ業務ニ服役スルモノトス

第二條 牧夫服役時間ハ午前七時半ヨリ午後五時マテトス但業務ノ繁閑ニ依リ獸醫學部長ニ於テ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第三條 牧夫ハ日々出勤簿ニ捺印スルモノトス但欲勤ノ場合ニハ出勤ノ時間前其旨ヲ口頭又ハ書面ヲ以テ獸醫學部ニ届出ツヘシ

第四條 牧夫ハ終業後一名ツツ交番ニ宿直シ獸醫學部ニ屬スル一切ノ建物ヲ監視シ併セテ實驗並ニ入院動物ノ飼與ヲナスモノトス

第五條 牧夫ハ宿直中ノ狀況ヲ翌朝獸醫學部職員ニ報告スルモノトス

第六條 牧夫ハ宿直中ニ急速ヲ要スル事故ノ生シタルトキハ相當ノ處置ヲ施シ直チニ獸醫學部職員ニ報告スヘシ

第七條 臨時傭人夫ノ服務ハ本規程ニ準ス

第三十六 清潔方法

第一條 清潔方法ハ別チテ日常清潔方法及臨時清潔方法トス

日常清潔方法

- 第二條 日常舍内ノ掃除ハ窓戸ヲ開キ塵拂ヲ以テ四周ノ壁戸障子及机卓子等ヲ拂ヒ如露ヲ以テ牀板階段及廊下等ニ撒水シテ(冬期ハ撒水ヲ除ク)掃キ出シ濕布ヲ以テ机卓子等ヲ拭フヘシ
- 第三條 教室ハ授業ノ終リタル後事務室ハ退廳後ニ於テ毎日掃除ヲ爲スヘシ
- 第四條 教室事務室ノ牀面及廊下ハ毎朝及毎日午後一時乃至二時ニ撒水ヲ爲スヘシ
- 第五條 寄宿舎ノ廊下階段ハ毎朝掃除ヲ爲シ及午後ニ於テ一回撒水ヲ爲スヘシ
- 第六條 寄宿舎ノ室内ハ生徒ニ於テ小使ノ廊下掃除ヲ爲ス以前ニ掃除ヲ爲スヘシ
- 第七條 教室及寄宿舎ノ廊下ハ每週一回洗拭スヘシ
- 第八條 食堂炊事場浴室洗面所ハ毎日掃除シ且ツ時々窓戸ヲ開キテ空氣ヲ流通セシメ惡臭ノ鬱滯ナキヲ務ムヘシ殊ニ食堂ハ使用ノ前後ニ濕布ヲ以テ食卓ヲ拭ヒ及牀面ニ撒水スヘシ
- 第九條 倉庫ハ毎日窓戸ヲ開キ塵拂ヲ以テ四壁戸棚其他ノ器具ヲ拂ヒテ掃キ出タシ且ツ每週一回牀面及戸棚等ヲ洗拭スヘシ

第十條 各室ニ備附アル痰壺ハ毎日掃除シ夏期ハ消毒液ヲ入レテ配置スヘシ

第十一條 靴拭ハ毎日掃除スルノ外棧梘製等ノモノハ快晴ノ日ニ於テ乾燥セシメタル上土芥ヲ拂フヘシ

第十二條 便所ノ尿溝及注壁等ハ毎日水ヲ以テ洗ヒ固房ハ濕布ヲ以テ拭ヒ夏期ハ時々糞壺内ニ防臭藥ヲ(生石灰末又ハ石灰乳)ヲ撒布スヘシ

第十三條 下水ハ常ニ疏通セシメ炊事場浴室洗面所等ノ下水ハ毎月二回以上浚渫スヘシ

第十四條 毎年四月一日ヨリ積雪アル迄ノ期間毎日小使二名ヲシテ校舎外不潔ノ場所ヲ掃除セシムヘシ

但炊事場食堂浴室洗面所ハ炊夫、門衛所ハ守衛補、獸醫科教室ハ牧夫ヲシテ常ニ其舍外近傍ノ不潔場所ヲ掃除セシムヘシ

第十五條 塵芥及下水溝渠ヲ浚渫シタル汚泥其他ノ不潔物ハ適當ノ場所ニ於テ埋没又ハ燒却スヘシ

定期清潔法

第十六條 定期室内大掃除ハ左ノ方法ニ依ル

- 一 室内ニアル机卓子腰掛戸棚等ヲ室外ニ搬出シ戸障子窓掛ヲ外シ及敷物ヲ剝キタル後牀板及廊下ニ撒水シ天井四壁ヲ拂ヒテ後牀面廊下ヲ洗拭シ器具等ハ塵ヲ拂ヒ濕布ヲ以テ洗拭シ得ヘ

カラサルモノハ日光ニ曝シテ刷掃スヘシ

但器械標本及藥品等ヲ配列シアル室ハ其主任教官ノ指揮ニ從ヒテ掃除スヘシ

二 傳染病患者アリタル室ハ牀下ヲ掃除シ消毒藥(生石灰末又ハ石灰乳)ヲ撒布シ且ツ必要ト認ムルトキハ其他ノ消毒法ヲ行ヒタル上前項ノ掃除ヲ爲スヘシ

但其塵芥ハ必ス燒却スヘシ

三 前二項ノ掃除ヲ爲シタル後各室及廊下等ノ窓硝子ヲ内外ヨリ透明ニ拭ヒ窓掛敷物等ハ洗濯シ其洗濯シ得ヘカラサルモノハ日光ニ曝シテ刷掃スヘシ

四 前三項ハ毎年七月、十二月中之ヲ施行スヘシ

第十七條 毎年八月上旬ヨリ校内下水溝渠及井水ノ浚渫ヲ爲スヘシ

臨時清潔法

第十八條 臨時清潔法ハ傳染病流行ノ際全校舎又ハ一部分ニ定期清潔法又ハ其他ノ方法ニ依リ施行スルモノトス

附 則

本方法ハ實驗農場、植物園及家畜病院ニ施行セス

第三十七 構内風致委員規程

第一條 構内ノ風致ヲ維持増進スル爲風致委員若干名ヲ置キ職員中ヨリ校長之ヲ命ス

第二條 風致委員ヲ分チテ樹木係、花卉係ノ二トナシ本則ニ據リ事務ヲ分掌スルモノトス但事務ノ關聯セルモノハ互ニ合議スヘシ

第三條 風致委員ノ管掌區域ハ本校構内ニシテ各學部、實驗農場、林學實習場、植物園及寄宿舎ノ管掌ニ屬セサル地區トス但官舎ニ屬スル庭園ハ此限リニアラス

第四條 委員ノ管掌ニ屬スル樹木、花卉、芝草等ハ濫リニ之ヲ伐採シ又ハ現狀ヲ變更スルヲ得ス

第五條 樹木係ハ樹木原簿及樹木配置圖ヲ保管整理シ樹木ノ増減並ニ保存ノ狀況ヲ明ニスヘシ

第六條 花卉係ハ栽植配置圖簿ヲ保管整理シ花卉芝草等ニ關シ適當ノ取扱ヲナスヘシ

第七條 學校ニ於テ新タニ購入シ又ハ寄贈寄附若クハ本校所産ニ係ル樹木花卉等ヲ受領シタルトキハ學校長ノ指定シタル地點ニ之ヲ栽植配置シ前二條ノ圖簿ニ其要項ヲ記入スヘシ

第八條 前條ノ樹木花卉等ハ時宜ニ依リ本校ノ部局ニ之ヲ讓與スルコトヲ得

第九條 記念ノ目的ヲ以テ寄附シタル樹木ハ特ニ其保存ニ注意シ若シ其枯損ヲ發見シタルトキハ其趣ヲ寄附者ニ通告スヘシ

前項ノ通告ニ對シ寄附者ヨリ更ニ樹木ヲ差出シ又ハ相當費用ヲ添ヘテ補植ヲ請求シタルトキハ委員ハ其請求ニ應スルコトヲ得

第十條 樹木花卉ノ果實種子枝葉等ハ委員ノ承諾ナクシテ濫リニ採收スルコトヲ得ス

第十一條 樹木花卉等ノ生産物及枯損木ニシテ價值アルモノハ生産物處分ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 委員ハ時々事務ノ狀況ヲ學校長ニ報告スヘシ

第三十八 衛生委員規程

第一條 校内ノ衛生ヲ監督スル爲衛生委員若干名ヲ置ク

第二條 衛生委員ハ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第三條 衛生委員ハ本校所定ノ清潔方法實施ノ狀況ニ注意シ校内衛生狀態ニツキ意見アルトキハ其都度學校長ニ申告スヘシ

第四條 衛生委員ハ毎年七月、十二月會議ヲ開キ校内衛生事項ニ關シ協議スヘシ但臨時會議ヲ開クコトアルヘシ

第五條 衛生委員ハ定期清潔方法及臨時清潔方法ノ檢査ヲ行ヒ其結果ヲ學校長ニ報告スヘシ

第三十九 參觀人心得

第一條 本校ヲ參觀セントスル者ハ庶務課ニ住所職業ヲ詳記シタル名刺ヲ差出シ指揮ヲ受クヘシ

第二條 參觀人ハ總テ案内者ノ指揮ニ從ヒ猥リニ諸室ニ入ルヘカラス

第三條 校舎内ニ在リテハ帽子外套ヲ着用シ又ハ杖傘ノ類ヲ携帯スルヲ許サス

第四條 寄宿舎及養蠶室内ニハ土足又ハ靴ノ儘入ルヘカラス

第五條 許可ナクシテ校内ノ物品並ニ草木等ニ手ヲ觸ルヘカラス

第六條 校内參觀中ハ喫煙スルヲ許サス

第七條 校舎内ニ於テハ啖壺以外ニ啖唾ヲ吐クヘカラス

第八條 教室ニ在リテハ談論雜話等教授ノ障礙トナルヘキ舉動アルヘカラス

第九條 農業實習地ヲ參觀スルトキハ猥リニ道路以外田園内ニ立ち入ルヘカラス

第十條 本校ノ都合ニ依リ參觀ヲ謝絶スルコトアルヘシ

第四十 盛岡高等農林學校品評會規程

- 第一條 各科生徒ノ製作品、試作物等ノ優劣ヲ品評シ兼テ一般審査方法ヲ習得セシムル爲品評會ヲ開ク
- 第二條 品評會ノ開季ハ毎年十一月トシ開會期間ヲ四日ト定ム
- 第三條 品評會ニ出陳シ得ヘキ種類ハ左ノ如シ
 - 第一門 普通作物、特用作物、蔬菜、菌蕈、果實、花卉、繭生絲及蠶種、家禽、種子、苗木等
 - 第二門 設計、製圖、統計、標本、調査報告
 - 第三門 農林工藝品、畜産製造物、各種醸造物、林産製造物、蹄鐵等
 - 第四門 參考品(第一種參考品(卒業生及生徒出品) 第二種參考品(職員及定備人出品))
- 第四條 前條第一門乃至第三門ノ出品ハ生徒各自若クハ共同シテ生産又ハ作成シタルモノニ限ル
- 第四門ノ出品ハ總テ會長ノ許可ヲ得テ出陳スルモノトス
- 第五條 各學科第三學年生ハ各自必ス一點以上ヲ出品スルノ義務アルモノトス
- 第六條 第三條第四門以外ノ出品ニハ審査ヲ行ヒ其優良ナルモノニ對シ褒賞ヲ與フ
但第四門ノ出品ト雖モ出品者ノ希望ニ依リテハ特ニ審査ヲ行ヒ其優良ナルモノニ對シ協贊賞ヲ與

フルコトアルヘシ

第七條 會務ヲ處理スル爲本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長 一名
- 一 審査長 一名
- 一 審査員 若干名
- 一 審査補助員 若干名
- 一 事務員 若干名
- 一 事務補助員 若干名

第八條 會長ハ學校長之ニ充リ審査員、事務員ハ職員中ヨリ之ヲ命シ審査補助員並ニ事務補助員ハ各學科第三學年生徒ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 會長及事務員ヘ之ヲ常置シ其他ノ役員ハ會期ノ終了ト共ニ解囑ス

第四章 職員

大正三年一月

學校長

正五位勳四等 農學士

佐藤義長

庶務部

庶務課

書記

杉村孝治

書記

千葉常樹

(兼)書記

陸軍歩兵中尉從七位勳六等

澤田兼三

會計課

會計主任、主任收入官吏、歲入歲出外現金出納官吏、

書記

正七位勳六等

一戸武雄

書記

勳七等

太田千五郎

(兼)囑託

勳八等

阿部景毅

雇

加藤正五郎

雇

保泉忠三郎

雇

佐々木吉雄

教務部

教務課

長(兼)書記

杉村孝治

(兼)書記

千葉常樹

書記

陸軍歩兵中尉從七位勳六等

澤田兼三

雇

小岩井是非雄

生徒課

長生徒監

教授

陸軍砲兵中尉正六位勳六等功五級

上村勝爾

生徒監

教授

正七位 農學士

松井謙吉

生徒監

教授

從七位 獸醫學士

三宅隆人

(兼)助教

助教授

正八位

横川隆太

(兼)書記

書記

正七位勳六等

一戸武雄

體操
擊劍

(兼) 助教
(兼) 助教

林學得業士
獸醫學得業士

三浦 第二郎
小西 要

教師

陸軍歩兵少尉正八位

龜橋 清三

教師

田卷 欣次

雇

久慈 勝人

雇

瀬山 陽吉

學校醫

岩手病院長

醫學士

杉立 義郎

醫學得業士

醫學得業士

後藤 尙五郎

農學 第一部

畜産、同上實驗、獨語

長 教授

正六位 農學士

八 嶽 儀七郎

外國留學中

教授

從五位 農學士

山田 玄太郎

園藝、同上實驗、作物、農學大意、農場實習

教授

正七位

柘植 六郎

養蠶、同上實驗、動物、同上實驗、植物

教授

正七位 農學士

松井 謙吉

昆虫、養蠶、同上實驗、植物病理

助教授

農學得業士

門前 弘多

植物、同上實驗

教師

農學得業士

西門 義一

雇 (助手)

内田 輝太郎

雇 (助手)

熊谷 直一

雇 (助手)

高橋 秀松

講 師

藤澤 藤之助

教育學

巖手縣師範學校長

正六位勳六等

小林 鼎

農學經濟

衆議院議員

正六位

農學士

木村 良

蠶業汎論

東京蠶業講習所長

正五位勳五等

農學士

本多 岩次郎

農業經濟及農政、全上實驗、農學大意

從七位

農學士

木村 修三

園藝、作物、同上實驗、農學大意、英語

從七位

農學士

龍村 清光

農學 第二部

物理、同上實驗、氣象、土地改良、地質及礦物、土壤

長 教授

從五位

農學士

關 豐太郎

農産製造

兼 教授

正五位勳四等

農學士

佐藤 義長

植物營養論

東京帝國大學農科大學教授

兼 教授

從五位勳六等

農學博士

鈴木 梅太郎

化學、同上實驗、分析化學、全上實驗、農產製造、細菌學、地質、土壤及肥料、分析化學、同上實驗、農學大意、外國語

講師

土壤及肥料

正五位勳五等 農學博士

恒藤規隆 山邊英太郎

林學部

森林土木、同上實習、森林利用、同上實習、數學、森林數學、同上實習、造林、林產製造、同上實習、行政大意、外國留學中、測量及製圖、同上實習、造林、同上實習、森林保護、林學大意、狩獵、樹病

長 教授 陸軍步兵少尉 從五位 林學士 教授 陸軍砲兵中尉 正六位勳六等功五級 林學士 教授 正七位 林學士 助教授 林學得業士 助教授 林學得業士 雇(助手) 林學得業士

石丸文雄 植村恒三郎 三浦第二郎 小泉多三郎 櫛引盛

講師

林政學、森林管理、森林經理、同上實習

雇(助手)

小森彦太郎

林政學 森林法規、法律

東北帝國大學農科大學教授 從五位勳六等 林學博士 從盛岡區裁判所檢事 七位 法學士

武藤益藏 小出房吉 佐藤貞藏

獸醫學部

病理通論、病體解剖、同上實習、細菌學、同上實習、解剖及組織、同上實習、產科、胎生學、生理、同上實習、藥物及調劑法、蹄鐵、衛生學、馬學、英語、外科、外科手術、同上實習、蹄病、病院實習、獸醫警察、同上實習、寄生動物、生理實驗、細菌實驗、蹄鐵實習、細菌實驗、馬學實習

長 教授 陸軍一等獸醫 從五位勳四等 獸醫學博士 教授 從七位 獸醫學士 教授 從七位 獸醫學士 助教授 獸醫學得業士 助教授 獸醫學得業士 助教授 獸醫學得業士 助教授 獸醫學得業士 雇(助手) 獸醫學得業士

可兒岩吉 溝口幸七郎 三宅隆人 小池賢次郎 笠原清太郎 榊尙英 川越勝太郎

內科、外科、病院實習、診斷法

陸軍二等獸醫正
從五位勳四等功四級

獸醫學博士

黒瀬貞次

修身

講師

岩手縣立盛岡中學校教諭

文學士

小笠原敬三

圖書館

長事務取扱

囑託

勳八等
勳七等功七級

阿部景毅
東根五郎
七戸吉三

經濟農場

長教授

正六位 農學士

八鍬儀七郎

現金前渡官吏(兼)助教

農學得業士

大森堅彌

教師

陸軍歩兵少尉正八位

千葉俊三郎

雇

難波京一郎

演習林

長教授

陸軍砲兵中尉
正六位勳六等功五級

林學士

上村勝爾

現金前渡官吏(兼)助教

林學得業士

小泉多三郎

(御明神演習林勤務)

雇

小田一太郎

實驗農場

長教授

正六位 農學士

八鍬儀七郎

特別栽培部主任 教授

正七位

柘植六郎

普通栽培部主任 助教

正八位

横川隆太

農舍部主任 助教

陸軍工兵中尉正七位勳六等

村井善八

(兼) 助教

農學得業士

門前弘多

助教

農學得業士

大森堅彌

雇(助手)

下田榮馬

農場實習、農具
農場實習、作物、園藝、農場實習

植物園

主事(兼)教授

正七位 農學士

松井謙吉

林學實習場

主事(兼)教授

陸軍砲兵中尉
正六位勳六等功五級 林學士

上村勝爾

家畜病院

主事

講師 陸軍二等獸醫正
從五位勳四等功四級

獸醫學博士

黒瀬貞次

助教

獸醫學得業士

小西要

第五章

生徒及得業生

(氏名上ノ小文字、長ハ級長、副ハ副級長、特ハ特待生、依ハ陸軍獸醫部依託生徒ヲ示ス)

第一 生徒及得業生氏名

(大正二年)

○農學科 第三學年

長特齋藤竹次郎茨城、平	副特内田高良德島、平	早乙女泰栃木、平
高橋善導岩手、平	渡邊保之助岩手、平	神谷精一岐阜、平
町井憲二郎栃木、平	原田光山形、平	榎本利助山形、平
菊地政雄宮城、平	槌矢正徹香川、平	五十嵐博福島、平
山主武久山梨、平	石垣茂市宮城、平	荒川靖福島、平
浦壁國雄山形、士	松田政信山形、士	羽田旨靜岡、平
舛添義成福岡、平	赤堀香苗岡山、平	足立行雄靜岡、平
河本澄衛岡山、平	西村英三三重、平	中島德次郎岩手、平

○農學科 第二學年

枝松喜一郎山形、平	永瀬誠一茨城、平	北村貞二石川、平
矢部政保福島、平	上條完夫長野、平	
副深堀隆三郎宮城、平	二宮元孝神奈川、平	井上春吉愛知、平
長管野久一奈良、平	村上林藏鳥取、平	佐々木忠貞福井、平
野澤節郎鳥取、平	神成秀作神奈川、平	遠藤孝太郎秋田、平
蘇原貞助栃木、平	稻葉甲午郎茨城、平	伊藤千春新潟、平
松原英郷愛媛、平	菊池八十吉岩手、平	岡部正己神奈川、平
氣田齊岩手、士	大澤良三石川、平	舞原久雄埼玉、平
高木幸平靜岡、平	工藤麟一郎岩手、士	合志武一熊本、平
園部喜作栃木、平	袋井俊雄奈良、平	尾上四郎埼玉、平
齋藤貞吉山形、平	塚越佐一郎茨城、平	清水末松新潟、平
夏目豊吉愛知、平	園田要助滋賀、平	

○農學科 第一部 第一學年

長荒慶光福島、平	副渡邊五六山梨、平	西原倉一和歌山、平
----------	-----------	-----------

- 本多 六三 靜岡、平 山本 孝岩手、平 横山 貞治 福島、平
- 安達 武雄 山形、平 太田 良治 山口、平 兵藤 時次郎 静岡、平
- 土田 盛宮 城、平 山家 宗兵衛 宮城、平 新渡戸 豊岩手、平
- 豊田 藤一郎 山形、士 山下 伊三郎 京都、平 川見 禎一 兵庫、平
- 高橋 又三 茨城、平 大庭 恭一 静岡、平 宮崎 徹三 茨城、平
- 清水 勝茨城、士 盛田 達三 青森、士 松永 重治郎 新潟、平
- 松村 實京 都、平 千葉 三郎 岩手、平 田中 嘉藏 宮城、平
- 農 學 科 第二部 第一學年 小泉 慶三 岩手、平
- 長柴 田重義 福岡、士 副上 杉勝次 岡山、平 山清 風富山、平
- 齋藤 民次郎 栃木、平 田野 彌三郎 宮崎、平 山本 藤吉 富山、平
- 塚本 政雄 茨城、平 杉尾 秋廣 宮崎、平 谷 謙二 德島、平
- 庄司 卓治 秋田、平 八木 末喜 福島、士 荒井 潤崎 玉、平 宮越 古壽 宮崎、平
- 林 學 科 第三學年 長小平 英二 東京、平 一井 二郎 岩手、平
- 特林 泰治 和歌山、平 長小平 英二 東京、平

- 副四戸 宗夫 岩手、士 小田島 嘉吉 岩手、平 長谷川 信彦 和歌山、士
- 渡邊 治郎 千葉、平 澤田 大鳥 取、平 森 岩太郎 山形、平
- 下田 直太郎 岩手、士 小松 復也 東京、士 相原 言三郎 茨城、平
- 野田 健夫 岩手、平 中村 勝郎 岩手、平 稻内 清二 京都、平
- 佐藤 靜郎 岩手、士 内田 耕作 埼玉、平 田中 綏治 京都、平
- 名人井 政樹 岩手、士 田鎖 鐵郎 岩手、平
- 林 學 科 第二學年 木村 政夫 栃木、士 中込 磨喜榮 山梨、平
- 長特宮 澤清 輔長 野、平 佐々木 甚三郎 宮城、平 澤野 擴藏 兵庫、士
- 副横山 正巳 新潟、平 吉村 豊治 高知、平 谷澤 逸衛 愛知、平
- 井上 太衛 群馬、平 林 彦一 山口、平 加藤 正次 長野、平
- 渡邊 靜福 島、平 林 忠治 新潟、士 井之上 眞熊 鹿兒島、士
- 島 隆介 德島、平 阿久津 周平 栃木、平 若井 勝重 栃木、平
- 安東 勉 岡山、平 坂上一 雄 愛知、平 今野 勇記 宮城、平
- 大昌 治秀 茨城、平 照井 一郎 岩手、士 加藤 清一郎 福井、平
- 市川 三五郎 長野、平

中野秀松岩手、平 宮 騏一郎岩手、士 矢本伊三和歌山、平

○林 學 科 第一學年

長杉村 千代男 北海道、士 副後藤 象三 青森、士 古川 清茨城、士
 岡田 銀治郎 岩手、平 野口 瑛 和歌山、平 篠原 勇造 愛媛、平
 須藤 敏夫 山形、平 佐藤 正一 岩手、平 鈴木 一郎 靜岡、平
 莖田 義雄 愛媛、平 菅谷 德滿 栃木、平 西川 鍊三 青森、平
 入間川 平一郎 宮城、平 長田 健石 石川、平 荒海 文五郎 新潟、平
 村上 與藏 山形、平 伊藤 源治 新潟、平 前 五三郎 奈良、平
 松本 豊光 東京、士 高橋 太郎 岩手、士 萩原 兼男 鹿兒島、士
 山本 長一郎 石川、平 京極 松次郎 愛媛、平 淀川 與喜藏 鳥取、平
 松井 義新 瀧、平 池田 猛 宮城、平 小出 次郎 東京、士
 川真田 素平 德島、士

○獸 醫學 科 第三學年

依長特 依吉谷 茂長崎、士 特副山田 喜平 北海道、平 野木 學 靜岡、平

飯塚和吉 千葉、平 佐々木 治三郎 宮城、平 宮 三郎 岩手、士
 船越 貞夫 岩手、士 藤林 俊基 京都、平 神 貞治 岩手、士
 依植村 卷太郎 京都、平 齋藤 新之助 千葉、平 安藤 親吾 京都、平
 菊池 米右衛門 宮城、平 奥村 豊次郎 京都、平 中村 龜次郎 岩手、平
 仁平 高俊 秋田、士 今西 賤男 岐阜、平 伊藤 佐重 千葉、平
 澤木 淳一 岐阜、士 福海 直幸 熊本、士 埴 弘茨城、平
 山田 力福 島、士 原 清彦 青森、士 仲村 渠信 義沖 緬、平
 吉田 吉太郎 岩手、平

○獸 醫學 科 第二學年

依長特 依森 干雄 長崎、士 副阿部 正一 栃木、平 依井 上六郎 福島、平
 土井 得治 大阪、平 田 鎖直次郎 岩手、平 林 靜青 森、士
 草野 清茂 福島、平 中田 源吉 兵庫、平 田 中近三郎 愛知、平
 市原 舒千葉、平 福田 雅雄 岩手、士 後町 二郎 長野、士
 小野 彦市 大分、平 比江島 師孝 宮崎、士 藤谷 亮三 岩手、平
 豐田 信次郎 愛媛、平

○獸醫學科 第一學年

長金 井伊勢男 琦玉、平	森田 彌四郎 茨城、平	黒川 三治郎 島根、平
中村 榮作 青森、平	河野 成助 宮崎、平	向井田 勘助 岩手、平
和田 保兵庫、平	山本 万治 兵庫、平	原 義亮 長野、平
及川 七三郎 岩手、平	根本 行武 秋田、士	明石 實兵庫、士
小沼 弘義 茨城、平	副嶋 谷種三郎 大阪、平	本田 盛昭 群馬、平
對馬 高麗夫 青森、士	村田 亮一 愛知、平	川村 純義 岩手、平
野邊地 義雄 岩手、平	鳥海 庸雄 山形、士	小原 濟之助 青森、平

撰科生

農學科

明治四十四年入學

權 錫圭 朝鮮京畿道

林學科

大正元年入學

鄭 基琇 朝鮮平安南道

大正二年入學

崔 昌鉉 朝鮮京畿道

獸醫學科

明治四十五年入學

佐久山 五六 岩手、平

村田 七兵衛 岩手、平

大正二年入學

朴 吉浩 朝鮮忠清北道

得業生氏名

明治三十九年四月二十六日得業 (第一回)

農學得業士 (三十一人)

茨城縣日立鑛山煙害試驗部主任 庵原 良介 兵庫、平	盛岡高等農林學校助教授 門前 弘多 福井、平
在南米ブラジル國 橋田 正男 福岡、士	自營 (孫三郎改) 柏倉 九郎 兵庫 山形、平
在南米ブラジル、サンボロ 藤田 克己 滋賀、平	神奈川縣立農學校教諭 吉村 昌二 京都、平
千葉縣立農事講習所技師 酒匂 保二 岩手、平	巖手縣技師、巖手縣農會技師 矢吹 修二 岡山、平

堺磯醴酒粉株式會社七尾分工場 森 愛人 滋賀、平
 鹿兒島縣農業技師 高 原 道生 岡山、平
 東京府技師 阿部 五郎 岩手、士
 新潟縣農事試驗場技師 富士省 三宮城、平
 自 營 千石 順平 宮城、平
 自 營 奧村 謙吾 熊本、平
 樺太廳技師 加賀山 程吉 岡山、平
 靜岡縣郡立小笠原學校長 本間 常吉 靜岡、平
 死 亡 福田 文六 山口、平
 千葉縣君津郡技師 福士 進 青森、平
 在橫濱商店員 大箸 猪輔 靜岡、平
 朝鮮全羅南道技師 田中 榮 山梨、平

明治四十年四月三十日得業 (第二回)

農學得業士 (二十九人)

休職盛岡高等農林學校助教 三宅 千秋 岡山、平
 鹿兒島高等農林學校助教 安齋 眞 宮城、平
 新潟縣立加茂農林學校教諭 高橋 介二 新潟、平
 福岡縣立福岡農學校教諭 南里 辰一 佐賀、士
 山形縣立村山農學校教諭 森 純 山形、平
 自 營 井上 俊一 福岡、平
 專賣局技師 庄司 松次郎 茨城、士
 專賣局京都製造所技師 小南 醇夫 三重、士
 自 營 江波 寛次 青森、士
 自 營 矢木 剛 宮城、平
 宮城縣立農事試驗場技師 西澤 富太郎 新潟、平
 茨城縣日立嶺山事務所 雲野 潔 宮城、士
 茨城縣日立嶺山事務所 武田 清治 山形、平
 千葉縣農業技師 米倉 龍也 長野、平
 大分縣農業技師 小野崎 繁藏 大分、平
 茨城縣立農學校教諭 大月 明 茨城、平
 在米國 味岡 芳次郎 福岡、平
 靜岡縣立農事試驗場技師 鈴木 進一 靜岡、平
 山形縣南村山郡立農學校長 齋藤 利七 山形、平
 群馬縣山田郡役所 劍持 實 群馬、平

明治四十一年三月三十一日得業 (第三回)

農學得業士 (十九人)

群馬縣立農事試驗場技師 神明 靜夫 千葉、平
 秋田縣立秋田農學校教諭 富岡 和郎 群馬、平
 山形縣立村山農學校教諭 加藤 元助 山形、平
 東京品川三共合資會社 大嶽 了 靜岡、平
 宮城縣立農學校教諭 吉岡 信太 鳥取、平
 青森縣立畜產學校教諭 大内 昇 宮城、平
 山形縣立村山農學校教諭 村岡 由助 山形、平
 死 亡 磯山 一二 岡山、平
 廣島縣立農事試驗場技師 熊田 重雄 廣島、士
 死 亡 岡和田 三郎 福島、士
 青森縣立農事試驗場八月分場技師 佐藤 文郷 青森、士
 在米國 高橋 素太郎 群馬、平
 鹿兒島縣立大島農學校教諭 黒木 由之助 宮崎、平
 自 營 本多 松彦 長崎、平
 新潟縣立高田農學校教諭 村上 禮太郎 廣島、平
 福島縣立蠶業學校教諭 定盛 兼助 愛知、平
 茨城縣日立嶺山事務所 鈴木 佐太郎 靜岡、平
 自 營 白砂 郷太郎 廣島、平
 福岡縣郡立嘉穂農學校長 和田 終吉 福岡、士
 青森縣立農學校教諭 中野 新佐久 北海道、平
 自 營 山田 助作 新潟、平
 新潟縣中魚沼郡立實業學校教諭 小野 幹彦 山口、士
 佐賀縣立佐賀農學校教諭 藤 與三 福岡、平

明治四十二年三月三十日得業 (第四回)

農學得業士 (二十五人)

鹿兒島高等農林學校助教 金井 眞澄 長野、平
 鹿兒島高等農林學校助教 (岩切改) 河邊 仲藏 宮崎、平
 福岡縣農事試驗場技手 福谷 柳治 鳥取、平
 宮城縣技手 相澤 庸治 宮城、平
 靜岡縣郡立小笠農學校教諭 白石 信文 愛媛、士
 專賣局茂木支局專賣局技手 樋口 誠 愛知、平
 三重縣立農林學校教諭 佐藤 啓一 岩手、平
 岩手縣技手 佐藤 慶一 靜岡、平
 ラサ島燐礦合資社技師 池田 良介 茨城、士
 自 營 森 永 晋五郎 廣島、平
 大分縣立農學校教諭 櫻井 半左衛門 山形、平
 山形縣立庄内農學校教諭 矢萩 賢德 茨城、士
 在南米アルゼンチン 石川 倉次郎 茨城、平

支那保定府高等農業學堂 山崎 隆一 長野、平
 秋田縣立秋田農業學校教諭 半田 信一 群馬、平
 宮城縣農會技手 米倉 又記 宮城、平
 自 營 關根 莊一 埼玉、平
 自 營 河野 長六 山梨、平
 千葉縣千葉郡農業技手 西村 綽兵衛 平
 青森縣立畜産學校教諭 山田 彌重 靜岡、平
 死 亡 森 本 信人 熊本、平
 熊本縣立球磨農業學校教諭 井上 啓二 山口、士
 岩手縣技手 (德右衛門改) 古川 篤 島根、平
 支那保定府高等農業學堂 木原 金一 岡山、平
 宮城縣柴田郡農業技手 櫻田 實 宮城、平

明治四十三年三月二十八日得業 (第五回)

農學得業士 (二十八人)

在獨逸國 小野寺伊勢之助 岩手、平
 軍馬補充部六原支部 安原 龜次 石川、平

千葉縣立園藝專門學校助教諭 (額賀改)

湯淺 四郎 茨城、平
 青森縣農事試驗場技手 齋藤 幅 宮城、平
 關東醇曹株式會社 濱田 章 埼玉、平
 死 亡 末木 幸一 山梨、平
 大分縣立農學校教諭 金本 忠太 秋田、平
 伏木肥料株式會社技師 森本 楯雄 奈良、平
 上田蠶絲專門學校講師 工藤 文太郎 岩手、平
 樺太廳大泊支廳技手 關根 敏雄 埼玉、平
 滋賀縣立長濱農學校教諭 三堀 龜吉 神奈川、平
 高知縣農業技手 安岡 秀彦 高知、士
 自 營 福田 善孝 岩手、平
 栃木縣芳賀郡立農學校教諭 小野 政道 栃木、平
 山形縣農會技師 萬年 莊吉 山形、士

福岡縣三潁郡役所 瀬戸 廣 福岡、平
 死 亡 齋藤 佐乙 宮城、平
 滋賀縣神崎郡農業技手 勢藤 源典 富山、平
 岩手縣農會技手 村社 新島根、平
 宮城縣立農學校教諭 川合 秋一 岐阜、平
 大坂府三島郡阿武稻村奈佐原安村 佐藤 安久 岡山、士
 宮城縣立佐沼中學校 菅原 稔 宮城、平
 愛媛縣宇摩郡立農林學校教諭 小郷 近 德島、士
 自 營 山田 正三郎 宮城、平
 自 營 玉手 棄陸 宮城、士
 自 營 佐々木 治 德島、平
 栃木縣技手 大木 源太郎 山形、平
 千葉縣山武郡農業技手 武田 宗二 千葉、平

明治四十四年三月三十日得業 (第六回)

農學得業士 (三十一人)

農商務省農事試驗場技手 益田 伍一 福岡、平
 岩手縣膽澤郡立農學校教諭 吉田 伊兵衛 岩手、平
 自 營 櫻井 德次郎 山形、平

自 營 館野 英 栃木、平
 宮城縣立農學校教諭 橋本 綱太郎 福井、士
 香川縣立農林學校教諭 立間 直人 岡山、平

第五章 生徒及得業生

一六二

盛岡高等農林學校助教授 大森 堅彌 岩手、士
 長崎縣耕地整理課 合屋 環 福岡、平
 自 營 新井 敬貴 埼玉、平
 在 米 國 稻村 要八 埼玉、平
 岩手縣江刺郡立蠶業學校教諭 三井 總治郎 山形、平
 岩手縣師範學校教諭 中山 幸作 栃木、平
 宮崎縣兒湯郡立農業學校教諭 有井 藤馬 山口、平
 軍馬補充部三本木支部技手 大澤 進 茨城、平
 愛媛縣廳 上原 榮次郎 福井、平
 自 營 工 藤 清藏 青森、平
 自 營 安田 虎勝 和歌山、平
 北海道廳土木技手 廣瀬 貞次 新潟、平
 長野縣立木曾山林學校教諭 大場 慎六 山形、平

臺灣總督府農事試驗場技手 松田 八平 愛媛、平
 長崎縣立諫早農學校教諭 菊池 二 岩手、平
 山口縣立農業學校教諭 掛飛 辨作 岡山、士
 茨城縣廳耕地整理 加計 三千二 廣島、平
 山形縣立新莊中學校教諭 內田 九兵衛 岩手、平
 自 營 深澤 榮伴 山梨、平
 月寒種畜牧場遊谷分場 佐藤 總吉 岩手、平
 自 營 田口 哲彌 岩手、士
 自 營 齋藤 重太郎 新潟、平
 自 營 國吉 左門 山口、平
 山梨縣立農林學校教諭 高山 榮一郎 宮城、平
 自 營 曾木 翁助 鹿兒島、士

明治四十五年三月三十日得業 (第七回)

農學得業士 (二十人)

新潟縣立高田農學校教諭 雨谷 安之丞 茨城、平
 宮城縣立農事試驗場技手 武井 誠一 茨城、平
 岩手縣立農學校教諭 高橋 武雄 群馬、平

神野 幾馬 愛媛、平
 ラサ島嶼聯合資會社 大田 重雄 兵庫、平
 青森縣立農學校教諭 都谷 森國 雄 青森、士

大正二年三月二十二日得業 (第八回)

農學得業士 (三十二人)

岩手縣東磐井郡立蠶業學校教諭 矢口 誠 茨城、士
 兵庫縣有馬郡立農學校教諭 岩木 龜彦 鹿兒島、平
 河合 藤左衛門 静岡、平
 岩手縣東磐井郡立蠶業學校教諭 福原 廣治 新潟、平
 自 營 石幡 義夫 福島、平
 自 營 宗形 直藏 福島、平
 自 營 永井 新右衛門 千葉、平

朝鮮總督府農商工部 小島 幹吾 長野、平
 長野縣更級郡立農學校教諭 中村 武 栃木、平
 自 營 奧田 彌一 大阪、平
 自 營 鈴木 泰七 福島、平
 宮城縣立小牛田農林學校教諭 西宮 季九藏 秋田、士
 岩手縣紫波郡農業技手 香取 鴻 千葉、平
 鹿兒島縣薩摩郡立蠶業學校教諭 中尾 眞峯 鹿島、士

盛岡高等農林學校教諭 西門 義一 大阪、平
 田子 文忠 群馬、平
 岩手縣立農學校教諭 刈谷 吉郎 岩手、士
 自 營 木村 功集 香川、平
 月寒種畜牧場遊谷分場 池内 武芳 山形、士
 青森縣立畜產學校 小川 信一 静岡、平
 靜岡縣駿東郡御外十箇村學校 高澤 二郎 新潟、平
 組合立御殿場農業學校教諭 安達 新一郎 奈良、平
 奈良縣添上郡々立第一農林學校教諭 安達 新一郎 奈良、平
 自 營 一ノ倉 則文 岩手、平

山形縣立莊内農學校教諭 岡本 格郎 愛知、平
 サラ島嶼聯合資會社 加藤 光政 栃木、平
 自 營 小川 眞徳 埼玉、平
 日高種馬牧場 小林 貫一 京都、平
 福岡縣郡立嘉穂農學校教諭 古宇田 清平 茨城、平
 日高種馬牧場 岩野 未末 新潟、平
 醸造試驗場 佐野 米三郎 茨城、平
 自 營 奧藤 弘 兵庫、平
 愛知縣幡豆郡立農蠶學校教諭 堀 喜作 新潟、平

福岡縣立農學校教諭 河合 得 東京、士
自 營 佐藤 祐之 宮城、平

兵 役 大澤 安行 埼玉、平
前木 正三 東京、士

明治三十九年四月二十六日得業 (第一回)

林學得業士 (二十五人)

樺太廳技手 佐々木 隆次郎 岩手、平
青森大林区署青森製材所 湊 賢治 青森、士
秋田大林区本莊小林區署長 吉野 五郎 山形、士
盛岡高等農林學校助教授 小泉 多三郎 東京、士
鹿兒島高等農林學校助教授 增野 成助 島根、平
熊本大林区署長 仁田 利助 兵庫、平
東京大林区署山林技手 神代 彌左衛門 福岡、平
鹿兒島大林区署山林技手 佐藤 善吉 山形、平
青森大林区署山林技手 原田 健二 愛媛、士
鹿兒島大林区署山林技手 橫澤 四郎 岩手、士
鹿兒島大林区署山林技手 芳賀 眞幸 宮崎、士
青森大林区署山林技手 目時 政忠 岩手、士
鹿兒島大林区署山林技手 藤次郎 山梨、平

盛岡高等農林學校助教授 三浦 第二郎 石川、士
日本醋酸製造株式會社 小玉 辨一郎 秋田、平
青森大林区署山林技手 須田 浩 宮城、士
農商務省山林局農務技手 永井 萬吉 山形、士
山口縣技手 中山 發 山口、士
朝鮮總督府臨時土地調查局技手 田上 重喜 熊本、士
死 亡 遠藤 喜藏 岩手、士
死 亡 安村 信一 山口、平
茨城縣技手 小部 彌三郎 佐賀、平
鹿兒島大林区署山林技手 太田 奈其治 宮崎、平
沖繩縣技手 今井 峯八 群馬、平
支那江蘇縣鴨綠江 探木公司 帽兒山分局 平賀 敬三 岩手、平

明治四十年四月三十日得業 (第二回)

林學得業士 (三十一人)

自 營 松島 隨 群馬、平
農商務省山林局農務技手 氏家 守廉 福島、士
北海道廳振興王子製紙株式會社 梅澤 源吉 栃木、士
青小牧分社 島中 福八 高知、平
朝鮮總督府臨時土地調查局技手 森井 三省 神奈川、士
福島縣那麻郡日本硫黃株式會社 東 文吉 青森、平
自 營 金子 敏雄 長野、平
山形縣技手 荒川 眞文 福島、士
東京大林区署六日町小林區署長 平戸 六三郎 茨城、平
鹿兒島大林区署山林技手 穴戸 群介 山口、士

熊本大林区署山林技手 神谷 德 島根、士
宮城縣立農學校教諭 長 瀨 道耶 岩手、士
東京大林区署山林技手 深田 雅治 高知、平
滋賀縣立水口農林學校教諭 關本 豊年 茨城、士
栃木縣上都賀郡立農林學校教諭 根守 常夫 岩手、士
臺灣總督府殖產局技手 伊藤 太右衛門 熊本、平
岡山縣立農學校教諭 室谷 節藏 石川、平
山形縣技手 鯉 淵 直 茨城、平
臺灣總督府農事試驗場技手 荒 卯三郎 福島、平

明治四十一年三月三十一日得業 (第三回)

林學得業士 (二十四人)

神奈川縣技手 西 力造 島根、平
島根縣立農林學校教諭 内田 繁太郎 島根、平
京都府立農林學校教諭 佐藤 源作 靜岡、平
奈良縣立農林學校教諭 鈴木 要 山形、平

青森縣技師 遠藤 邦之輔 岩手、士
 伊豫國別子銅山中七番山 西尾 三治 長野、平
 東京大林區署山林技手 大塚 小郎 山形、士
 宮崎縣立農業學校教諭 橫田 光夫 徳島、士
 福岡縣立福岡農學校教諭 櫻井 新一 静岡、平
 群馬縣技師 野村 雪 宮崎、士
 東京大林區署山林技手 川添 善徳 豊島、士
 臺灣總督府嘉義廳 作花 寛作 山口、平
 徳島縣立農業學校教諭 都築 泉馬 高知、士
 岩手縣技師 横山 長藏 福島、平
 朝鮮川崎農場 早坂 弘 宮城、平
 住友別子鑛業所山林課 齋藤 敬太郎 山形、平
 臺灣總督府殖産局技手 古川 真雄 鹿兒島、平
 宮崎縣技師 有村 勝好 宮崎、平
 熊本大林區署木折平官行 長島 巖門 福岡、平
 新伐事務所 山林技師 下斗米 忠 岩手、士
 東京府技師 渡部 勝意 福島、平
 新潟縣技師 關口 信介 山形、平
 鹿兒島大林區署山林技手 伊藤 資二 豊島、士

明治四十二年三月三十日得業 (第四回)

林學得業士 (二十三人)

東京大林區署山林技手 山田 熹一 愛知、平
 青森大林區署山林技手 加藤 孝二 愛知、平
 秋田大林區署毛内小林區署 兼子 善九郎 愛知、平
 山形縣技師 古田 清一 山口、平
 樺太廳大泊支廳技師 古田 清一 山口、平
 東京府小笠原島廳技師 豊島 恕清 豊島、士
 秋田大林區大館小林區署山林技手 並河 眞三 京都、平
 神奈川縣技師 佐藤 正秀 青森、平
 樺太敷香支廳技師 山本 直治 高知、平
 茨城縣日立銅山事務所 長戸 貞 愛知、士
 茨城縣日立銅山事務所 橋本 龍三郎 山形、士
 長野縣立小縣蠶業學校教諭 松本 秀男 長野、士
 死 亡 笹島 秀雄 山形、平

明治四十三年三月二十八日得業 (第五回)

林學得業士 (二十五人)

青森大林區署三戸小林區署長山林技手 清野 正爾 岩手、士
 死 亡 佐野 猪太郎 静岡、平
 三浦 恒男 栃木、平
 青森大林區署 岩田 廣金 愛知、士
 朝鮮京畿道廳技師 藏石 勝廣島、士
 秋田大林區秋田小林區署山林技手 北村 勝吉 高知、平
 宮城縣立小牛田農林學校教諭 沼田 清五郎 宮城、平
 青森大林區川内小林區署長山林技手 男 村井 長八郎 石川、華
 山形縣技師 瀨尾 啓次郎 山形、平
 千葉縣君津郡林業技師 豊田 政雄 千葉、士
 神奈川縣技師 白井 好文 奈良、士
 山形縣技師 屋代 蕃 山形、平
 青森大林區佐井小林區署長山林技手 西宮 梯八 秋田、士
 秋田縣阿仁鑛山 赤木 樟一 岡山、平
 秋田大林區早口小林區署山林技手 丸岡 繁治郎 山形、平
 秋田大林區早口小林區署山林技手 田中 朝尾 岩手、士
 青森縣技師 辻本 多三郎 青森、平
 東京大林區沼田小林區署山林技手 齋藤 睦郎 岩手、平
 北海道廳拓殖部林業技師 女鹿 哲男 青森、平
 秋田大林區署山林技手 荒川 義一 山形、士
 熊本大林區署山林技手 高橋 讓 宮崎、士
 青森大林區花卷小林區署山林技手 岩間 清水 岩手、士

第五章 生徒及得業生

福岡縣朝倉郡技手 小坂夏太 岡山、平
帝室林野管理局盛岡出張所技手 田中 潔 青森、士
高知大林區本山小林區署山林技手 藤吉 二太郎 宮城、士

明治四十四年三月三十日得業 (第六回)

林學得業士 (二十四人)

東京府技手 阿部元作 宮城、士
和歌山縣有田郡廣津村山林事務所 津村 嘉四郎 和歌山、平
東京大林區署山林技手 飯島 浩 茨城、平
山形縣技手 齋藤 巖 山形、士
朝鮮總督府慶尚南道廳 桑原 尹 廣島、士
青森大林區總務少澤小林區署 青田 雄八 福島、士
秋田大林區大館小林區署山林技手 駒林 廣彌 山形、士
死 亡 金 雅治 秋田、平
宮崎縣立農業學校教諭 安部 清太郎 大分、平
岩手縣立工業學校教諭 小川 興治 新潟、士
朝鮮京畿道廳 (木改) 近藤 增太郎 福岡、平
北海道廳拓殖部林業技手 伊勢谷 正一 青森、平
山梨縣技手 酒井六郎 愛知、士
青森縣技手 對馬源吉 岩手、平
大阪大林區署黑部小林區署 彌永 善藏 福岡、平
岩手縣立農業學校教諭 村澤 茂 長野、平
島根縣立農林學校教諭 北村喜三 佐賀、士
死 亡 佐藤 鎮信 大分、平
玉那覇 一雄 沖繩、平
栃木縣足尾銅山事務所 淺井 圓治 愛知、平
山形縣技手 星野 龍雄 山形、士
石川縣技手 小島 勇 石川、士
死 亡 田邊 讓 大分、士
新潟縣技手 鶴賀 泰吉 青森、平

大阪大林區署山林技手 樋渡 清榮 鹿兒島、士
茨城縣立農業學校教諭 篠崎 幾至 栃木、平

明治四十五年三月三十日得業 (第七回)

林學得業士 (二十三人)

岩手縣技手 北川 魏 岩手、士
石附 貫平 新潟、平
朝鮮總督府雇員 太田 耕助 青森、平
山口縣立農業學校教諭 大可 有為 愛媛、平
海外實業練習生(三井物產會社員) 今泉 知四郎 愛知、平
青森大林區署山林技手 村上 源吾 茨城、士
松本 秀雄 東京、士
千葉縣技手 千葉 源太郎 岩手、平
相馬 俊一 秋田、平
愛知縣砂防森林課 谷口 三郎 茨城、平
長野縣更級郡立農業學校教諭 石井 廣虎 新潟、士
山形縣技手 久慈 隆元 北海道、士
蛇口 哲三 岩手、平
市川 隆太 山形、平
白鳥 幸之丞 宮城、平
山形縣立莊内農學校教諭 宇野 政次郎 茨城、平
山形縣技手 德永 喜三次 福岡、平
長野縣上高井郡立農學校教諭 菅原 壽七 岩手、平
大阪大林區三田尻小林區署山林技手 齋藤 鐵之助 山形、平
長野縣北佐久郡立農科農學校教諭 齋藤 銀次 千葉、平
青森縣技手 河原崎 忠五郎 靜岡、平
自 營 蛇沼 牧男 岩手、士

大正二年三月二十二日得業 (第八回)

林學得業士 (二十六人)

朝鮮總督府農工商務部山林課 若井 浩 京都、士
生徒及得業生
兵 役 福田 建策 栃木、平

第五章 生徒及得業生

一七〇

山形縣技手 高橋 喜七郎 宮城、平
 青森大林區署山林技手 松平 忠正 靜岡、士
 兵 役 山添 善之助 東京、平
 青森大林區盛岡小林區署山林技手 中村 貞平 靜岡、平
 青森大林區署在勤 村木 經夫 岩手、士
 松井 武任 青森、士
 青森大林區署在勤 長田 謙爾 石川、平
 高橋 正己 石川、平
 木船 直藏 京都、平
 小林 庄之助 宮城、平
 伊藤 敬二郎 岩手、平
 杉本 正義 東京、平
 宮城縣立小牛田農林學校教諭 小 林 庄之助 宮城、平
 宮城縣立小牛田農林學校教諭 伊藤 敬二郎 岩手、平
 杉本 正義 東京、平
 秋田大林區署山林技手 齋藤 初治 山形、平
 大阪大林區署山林技手 佐藤 信一 岩手、平
 兵 役 渡會 信吉 山形、平
 青森大林區署在勤 岩本 慶之丞 山形、平
 藏岡 永喜 熊本、平
 朝鮮總督府平安南道廳 鈴木 覺司 靜岡、平
 兵 役 三宅 清廉 愛媛、士
 伊藤 永四郎 宮城、平
 栗原 直道 茨城、士
 風間 篤 新潟、平
 金枝 光雄 栃木、士
 芳賀 金彌 山形、平

明治三十九年四月二十六日得業 (第一回)

獸醫學得業士 (十六人)

富山縣技手 佐々木 夏 岩手、平
 新潟縣立加茂農林學校教諭 栗山 光雄 佐賀、平
 (豊橋)騎兵二六聯隊陸軍二等獸醫 安藤 馨 茨城、士
 兵庫縣技手 久合田 米三郎 兵庫、平
 盛岡高等農林學校助教授 小西 要 兵庫、平
 鹿兒島縣技手 高橋 勇 高知、平
 福島種馬所在勤馬政局技手 及川 榮藏 岩手、平
 近衛砲兵聯隊附陸軍一等獸醫 堀合 幸三郎 岩手、士

福島種馬所在勤馬政局技手 沖 四平 東京、士
 樺太廳種畜場技手 小田島 末藏 岩手、士
 (在朝鮮)第八師團獸醫部員(上田改) 足立 弘三 兵庫、平
 (在朝鮮)第八師團獸醫部員 立花 哲郎 岩手、士
 軍馬補充部高鍋支部附陸軍一等獸醫 松永 信敬 東京、平
 自營 熱海 啓輔 宮城、平
 青森縣技手 石下 幸平 石川、平

明治四十年四月三十日得業 (第二回)

獸醫學得業士 (十人)

軍馬補充部大山支部赤崎派出部附 陸軍二等獸醫 菅 藤三 兵庫、士
 自營 山本 一 福島、平
 宮崎縣技師 竹中 武吉 岐阜、平
 兵庫縣立農學校教諭 岩田 廣次 香川、平
 北海道廳立空知農學校教諭 古田 盛治 秋田、士
 (名古屋)第三師團獸醫部員 沼田 鐵男 茨城、平
 (弘前)第八師團獸醫部員 松本 幸藏 岩手、平
 (高田)第十三師團獸醫部員 須田 俊彦 群馬、平
 死亡 岡 清重 島根、平

明治四十一年三月三十一日得業 (第三回)

獸醫學得業士 (十九人)

(盛岡)騎兵第二十三聯隊附 陸軍二等獸醫 季村 正治 岩手、平
 鳥取縣立農學校教諭 牧野 亮一 鳥取、平
 陸軍中央幼年學校附 陸軍一等獸醫 山本 乙松 福島、平
 軍馬補充部釧路支部音別派出部附 陸軍二等獸醫 松山 英太郎 三重、平
 (金澤)騎兵第九聯隊附 陸軍一等獸醫 吉田 正己 石川、士
 生徒及得業生

第五章 生徒及得業生

(中野)陸軍電信大隊附 小原三吉 香川、平
陸軍重砲兵射擊學校附 佐藤勝三郎 栃木、平
陸軍一等獸醫 山形縣技手 池野寛次 新潟、平
山形縣技手 森重平 香川、平
香川縣技手 青森縣衛生技手 三橋英一郎 新潟、平
(千葉)野砲兵第十八聯隊附 中原哲四郎 山口、士
陸軍一等獸醫 宮崎縣兒湯郡立農業學校教諭 小針省至 福島、平

(横須賀)重砲兵第一聯隊附 佐藤忠信 福島、平
陸軍二等獸醫 陸軍(東京)野砲兵第一聯隊附 海野雅岩手、平
陸軍補充部高鍋支部高原派出部 嶽村敬喜 熊本、平
陸軍一等獸醫 太田鉉作 静岡、平

(久留米)輜重兵第十八大隊附 齋藤清左衛門 青森、士
陸軍二等獸醫 七塚原種畜牧場農務省技手 參木普七郎 栃木、平

明治四十二年三月三十日得業 (第四回)

獸醫學得業士 (二十二)

盛岡高等農林學校助教諭 菊池賢次郎 岩手、平
(善通寺)野砲兵第十一聯隊附 松本弘 福島、平
陸軍一等獸醫 陸軍(宇都)陸軍機械支隊附 櫻井卓郎 宮城、平
陸軍二等獸醫 福岡縣立農學校教諭 水口伴藏 福岡、平
(廣島)野砲兵第五聯隊附 高木憲吉 廣島、平
陸軍軍馬補充部秋野支部 角田一平 群馬、平
治谷澤派出部陸軍三等獸醫 永島二郎 石川、士
七塚原種馬牧場在勤 臺灣總督府殖産局農務課 藤澤正豊 長野、平
宮城種馬所在勤馬政局技手 伊藤小一郎 秋田、平

北海道廳種畜場技手 岩清水惣市 静岡、平
死 亡 佐々木伴宮城、平
(世田ヶ谷)近衛砲兵聯隊附 松本宗八 埼玉、平
陸軍一等獸醫 河原田次雄 秋田、士
鹿兒島縣立鹿屋農學校教諭 小平九市 栃木、平
(下關)重砲兵第六聯隊附 笠原範 埼玉、平
陸軍(國府)野砲兵第十五聯隊附 藤原哲夫 兵庫、平
陸軍一等獸醫 月寒種畜牧場在勤 工藤重佐 山形、平
廣島縣立西條農學校教諭 阿部折八 群馬、平

明治四十三年三月二十八日得業 (第五回)

獸醫學得業士 十八人

在南米アルゼンチン國 寺岡義郎 山形、平
熊本縣立阿蘇農業學校教諭 井上良義 山形、平
警視廳衛生技手 伴 東島根、士
石川縣衛生技手 飯田清之介 茨城、平
軍馬補充部三本木支部 中山派出部陸軍三等獸醫 三宅龜吉 香川、平
大分縣衛生技手 片山省三 廣島、平
青森縣立農學校教諭 荒川義作 山形、平
警視廳衛生技手 丸山葵進 埼玉、平
臺灣總督府研究所技手 佐藤廣胖 宮城、平
自營 江田浩 岩手、士
在米國 稻用精藏 宮崎、士

宮崎縣技手 池田秀 宮崎、平
(習志野)騎兵第十四聯隊附 阿部戊 群馬、士
陸軍三等獸醫 岩手縣衛生技手 足澤勉 岩手、士
臺灣總督府宜蘭廳 臺灣總督府宜蘭廳 小島一生 東京、平
三重縣衛生技手 日下惣三郎 宮城、平
自營 (永田改) 高木長作 静岡、平
石川縣立農學校教諭 濱岡賢了 石川、平
青森縣衛生技手 盛田勝次郎 岩手、平

明治四十四年三月三十日得業 (第六回)

獸醫學得業士 (二十一人)

(岡山)輜重兵第十七大隊附 陸軍三等獸醫 芝 貞二 兵庫、平

小岩井農場在勤 泥谷重雪 宮崎、平

第五章

生徒及得業生

一七四

(在朝鮮)野砲兵第八聯隊附
陸軍三等獸醫 坂詰 雄次郎 新潟、平

(盛岡)騎兵第二十四聯隊附
陸軍三等獸醫 辻 信次 山口、平

鹿兒島種馬所在勤馬政局技手 橋本 健治 宮城、平

種馬育成所在勤 夏村 武 岩手、士 (熊本)輜重兵第六大隊附陸軍三等獸醫 中村 松之助 靜岡、平

自 營 樋口 重次郎 山形、士

(岡山)騎兵第二十一聯隊附
陸軍三等獸醫 多田 捨次郎 石川、士

自 營 長崎縣衛生技手 楠 秀吉 大阪、平

自 營 木村 忠 宮城、平

石川種馬所在勤 邊見 十郎 福島、平

自 營 三橋 信 千葉、平

盛岡高等農林學校教師 榑 尚英 茨城、士

岩手縣技手 國分 義七郎 岩手、士

高橋 敬一郎 岩手、平

秋田縣立農林學校技手 加藤 庄五郎 福島、平

板橋 德治 宮城、平

宮城縣產牛馬組合 大場 喜平 宮城、平

群馬縣勢多郡立農林學校技手 島田 多一 群馬、平

明治四十五年三月三十日得業

(第七回)

獸醫學得業士 (二十四人)

(豊橋)騎兵第九聯隊附陸軍三等獸醫 山根 定吉 島根、平

小岩井農場在勤 縣 誠 靜岡、士

宮崎縣兒湯郡立農學校技手 佐藤 新一 福島、平

自 營 相澤 久治 岩手、平

兵 役 青田 利藏 福島、平

岩手縣衛生技手 綾織 清三郎 岩手、士

(豊橋)野砲兵第二十一聯隊附
陸軍三等獸醫 竹原 貞治 長野、士

京都府技手 松田 芳助 山形、平

佐々木 四郎 大分、平

(仙臺)輜重兵第二大隊附陸軍三等獸醫 阿部 寅吉 宮城、平

群馬縣警察部 栗田 大士 山形、士

北海道廳結核検査員 菅野 龍策 岩手、平

(下關)重砲兵第五聯隊附陸軍三等獸醫 澤田 壯吉 岩手、平

富山縣產牛馬組合聯合技手 俵田 浩 岩手、平

鹿兒島縣立鹿屋農學校技手 高橋 源六 岩手、平

石川種馬所在勤 大内 一男 宮城、平

臺灣總督府臺北廳在勤 山田 稔 埼玉、平

兵 役 中倉 保 新潟、平

大正二年三月二十二日得業 (第八回)

獸醫學得業士 (二十一人)

(名古屋)輜重兵第三大隊附
陸軍三等獸醫 松原 茂 平 靜岡、平

月寒種畜牧場澁谷分場在勤 桑島 源一 宮城、平

青森縣屠畜検査技手 矢萩 三郎 山形、平

自 營 笠原 重五郎 岩手、平

兵 役 石川 常次郎 茨城、平

奧羽種馬牧場在勤 松原 虎雄 鳥取、平

平野 富藏 岩手、平

愛知種馬所在勤 大賀 正一 靜岡、平

豐澤 泰雄 福岡、平

村井 喜四郎 岩手、平

渡邊 高之助 山形、平

岩手縣立農學校技手 青野 秀男 宮城、士

廣島縣技手 中島 周藏 廣島、平

山名 壽三 廣島、平

種馬育成所在勤 安部 重滿 山形、平

兵 役 外岡 吳郎 岩手、平

兵 役 大澤 健哉 福島、士

高橋 利吉 宮城、平

山梨縣警察部 塚越 實 山梨、平

在米國 成澤 健治郎 山形、平

第五章

生徒及得業生

一七五

研究生修了者

農業動物學	門前弘多	農業經濟及作物	橋田正男	農藝化學 (四月改)阿部五郎
農藝化學	富士省三	農藝化學	奥村謙吾	畜產學
農藝化學	森本楷雄	農藝化學	小野寺伊勢之助	相澤庸治

撰科修了者氏名

農學科

明治四十年四月三十日修了
北洋農務學堂教務長直隸提學司 實業課長農工商部諮議官 黃立猷 支那湖北省
 湖北省農業學堂教習兼農業總會會長 程 蔭南 支那湖北省

明治四十二年三月三十日修了
直隸省保定府高等農業學堂教習 成 振春 支那江蘇省
直隸省保定府高等農業學堂教習 周 藻祥 支那江蘇省

明治四十三年三月二十八日修了
 王 澄清 支那湖北省

明治四十四年三月三十日修了
 麥 應端 支那廣東省

明治四十五年三月三十日修了
 曾 公智 支那湖南省
 田 汝弼 支那山西省

大正二年三月二十二日修了
 沈 贊 支那江蘇省
 耿 臻顯 支那山西省
 楊 澤 支那山西省

林學科

劉家璠 支那直隸省

明治四十年四月三十日修了
湖北省農業學堂教習 兼林業公所副辦 徐 天叙 支那湖北省

明治四十二年三月三十日修了
直隸省保定府高等農業學堂教習 黃 錫齡 支那江蘇省

明治四十二年七月三十日修了
 湯 翼 支那江蘇省

明治四十三年三月二十八日修了
 楊 兆圖 支那江蘇省
 嚴 少陵 支那湖北省
 虞 訓 支那湖南省

明治四十五年三月三十日修了
 鄧 鎮編 支那湖北省

大正二年三月二十二日修了
 獸醫學科
 陳 善 支那浙江省

明治四十三年三月二十八日修了
 楊 世傑 支那湖北省

大正二年三月二十二日修了
 生徒及得業生

(大正二年四月)

種別	農			科			林			獸			醫			學		
	第一部	第二部	第一學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年
最	二十五年	二十三年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十六年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年
高	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年
最	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年
低	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年	十八年
平	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年
均	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年	二十年

備考 本表ノ平均ハ最高最低ノ平均ニアラスシテ全生徒ノ平均年齢ナリ
 在學生徒府縣別 (大正二年四月)

道廳府縣	中學校出身者			農業學校出身者			總計	道廳府縣	中學校出身者			農業學校出身者			總計
	農	林	獸	農	林	獸			農	林	獸	農	林	獸	
北海道廳	—	—	—	—	—	—	—	道廳府縣	—	—	—	—	—	—	—
東京府	—	—	—	—	—	—	—	東京府	—	—	—	—	—	—	—
京都府	—	—	—	—	—	—	—	京都府	—	—	—	—	—	—	—
大阪府	—	—	—	—	—	—	—	大阪府	—	—	—	—	—	—	—
神奈川縣	—	—	—	—	—	—	—	神奈川縣	—	—	—	—	—	—	—
兵庫縣	—	—	—	—	—	—	—	兵庫縣	—	—	—	—	—	—	—
長崎縣	—	—	—	—	—	—	—	長崎縣	—	—	—	—	—	—	—
新潟縣	—	—	—	—	—	—	—	新潟縣	—	—	—	—	—	—	—
埼玉縣	—	—	—	—	—	—	—	埼玉縣	—	—	—	—	—	—	—
群馬縣	—	—	—	—	—	—	—	群馬縣	—	—	—	—	—	—	—
千葉縣	—	—	—	—	—	—	—	千葉縣	—	—	—	—	—	—	—
茨城縣	—	—	—	—	—	—	—	茨城縣	—	—	—	—	—	—	—
栃木縣	—	—	—	—	—	—	—	栃木縣	—	—	—	—	—	—	—
奈良縣	—	—	—	—	—	—	—	奈良縣	—	—	—	—	—	—	—
三重縣	—	—	—	—	—	—	—	三重縣	—	—	—	—	—	—	—
愛知縣	—	—	—	—	—	—	—	愛知縣	—	—	—	—	—	—	—
靜岡縣	—	—	—	—	—	—	—	靜岡縣	—	—	—	—	—	—	—
總計	—	—	—	—	—	—	—	總計	—	—	—	—	—	—	—

	山形縣	青森縣	巖手縣	福島縣	宮城縣	長野縣	岐阜縣	滋賀縣	山梨縣	靜岡縣	愛知縣	三重縣	奈良縣	和歌山縣	兵庫縣	神戶縣	大阪府	京都府	東京府	北海道廳	道廳府縣
一回	一	一	二	二	二	二	二	一	二	一	一	一	二	二	二	二	一	一	一	一	一
二回	四	二	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三回	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四回	一	一	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五回	二	三	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六回	三	一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七回	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八回	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	四	五	四	四	六	四	一	二	四	九	三	一	二	五	二	四	六	七	九	一	一
一回	三	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二回	一	一	二	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三回	四	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四回	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五回	四	四	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六回	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七回	一	二	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八回	四	一	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	三	三	三	六	二	四	二	八	八	一	五	八	二	二	五	一	一	一	一	一	一
一回	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二回	一	一	二	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三回	三	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四回	一	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五回	一	三	二	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六回	二	二	七	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七回	四	四	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八回	二	三	七	二	五	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	四	八	二	〇	二	二	七	五	一	二	三	三	六	一	六	四	四	一	一	一	一

第五章

生徒及得業生

	長崎縣	兵庫縣	神奈川縣	大阪府	京都府	東京府	北海道廳	道廳府縣
一回	一	一	一	一	一	一	一	一
二回	一	一	一	一	一	一	一	一
三回	一	一	一	一	一	一	一	一
四回	一	一	一	一	一	一	一	一
五回	一	一	一	一	一	一	一	一
六回	一	一	一	一	一	一	一	一
七回	一	一	一	一	一	一	一	一
八回	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一
一回	一	一	一	一	一	一	一	一
二回	一	一	一	一	一	一	一	一
三回	一	一	一	一	一	一	一	一
四回	一	一	一	一	一	一	一	一
五回	一	一	一	一	一	一	一	一
六回	一	一	一	一	一	一	一	一
七回	一	一	一	一	一	一	一	一
八回	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一
一回	三	一	一	一	一	一	一	一
二回	一	一	一	一	一	一	一	一
三回	一	一	一	一	一	一	一	一
四回	一	一	一	一	一	一	一	一
五回	一	一	一	一	一	一	一	一
六回	一	一	一	一	一	一	一	一
七回	一	一	一	一	一	一	一	一
八回	一	一	一	一	一	一	一	一
計	六	一	一	一	一	一	一	一
總計	一	二	二	六	九	二	一	一

得業生府縣別

(大正二年)

	福岡縣	高知縣	愛媛縣	香川縣	德島縣	和歌山縣	山口縣
一回	二	一	二	一	一	一	一
二回	一	一	一	一	一	一	一
三回	一	一	一	一	一	一	一
四回	一	一	一	一	一	一	一
五回	一	一	一	一	一	一	一
六回	一	一	一	一	一	一	一
七回	一	一	一	一	一	一	一
八回	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一
一回	一	一	一	一	一	一	一
二回	一	一	一	一	一	一	一
三回	一	一	一	一	一	一	一
四回	一	一	一	一	一	一	一
五回	一	一	一	一	一	一	一
六回	一	一	一	一	一	一	一
七回	一	一	一	一	一	一	一
八回	一	一	一	一	一	一	一
計	三	一	五	一	五	五	二
一回	六	一	一	一	一	一	一
二回	六	二	一	一	一	一	一
三回	四	一	一	一	一	一	一
四回	一	六	二	二	一	一	一
五回	三	八	二	一	一	一	一
六回	一	九	一	一	一	一	一
七回	二	三	一	一	一	一	一
八回	八	〇	一	三	二	一	一
計	二	四	一	二	五	二	一

第五章

生徒及得業生

第五章 生徒及得業生 得業生得業後ノ狀況

種別	農學科	林學科	獸醫學科	計
技術官吏	五	二	五	二
農業學校教員	七	七	三	一七
師範學校教員	一	一	一	三
中學校教員	二	一	一	四
工業學校教員	一	一	一	三
陸軍獸醫官	一	一	一	三
會社等ノ技術員	一	一	一	三
兵役	一	一	一	三
在外	八	一	一	一〇
自營	七	一	一	九
職業未定	六	一	一	八
死亡	七	一	一	九
計	一九五	一九二	一五二	五三七

第六章 敷地、建物、經濟農場及演習林

本校ノ敷地ハ岩手縣盛岡市上田及岩手縣岩手郡米内村ニ跨リ其面積ハ九萬八千四百九十九坪七合五勺ニシテ之ニ建設セル建物ハ左ノ如シ

- 一、農學教室及實驗室 木造平家一棟 二百二十坪
- 二、農藝化學、物理學教室、實驗室及理化學特別教室 同 一棟 二百十六坪五合(内煉瓦造一ヶ所)
- 三、林學教室及實驗室 同 一棟 二百十坪
- 四、獸醫學教室及實驗室 同 一棟 二百五坪
- 五、倉庫 木造張瓦塗家二階建一棟 二十四坪七合五勺
- 六、假講堂 木造平家一棟 五十九坪五合
- 七、便所 同 三棟 二十四坪
- 八、小使室、湯呑所 同 三棟 二十七坪七合五勺
- 九、物置 同 一棟 十五坪
- 十、金庫置場 同 一棟 七合五勺